

福岡市 教育データブック

(平成25年度版)



福岡スタンダードキャラクター
「スタンバード」

福岡市教育委員会

はじめに

平成21年6月に策定した「新しいふくおか教育計画」において、「基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志を持ち、心豊かにたくましく生きる子どもをはぐくむ」ことを福岡市の教育の目標として定め、4年が経過しました。

今後は、「新しいふくおか教育計画」のこれまでの取組を検証し、課題を明らかにするとともに、その解決に向けてさらなる取組を検討し、実施していく必要があります。そのためには、学校教育に関するさまざまな事象を数量的にとらえ、分析・評価することが必要不可欠です。

本冊子は、「新しいふくおか教育計画」資料編で示した「基礎データ」に、平成19年度から実施された全国学力・学習状況調査結果や平成22年度からの生活習慣・学習定着度等調査等の統計データを加え、構成したものです。

編集や構成にあたっては、視覚的にとらえ、数年の経年も比較し易くなるようにグラフで示すなど、本市の子どもたちの教育に関するデータを紹介しています。

今後も教育に関するデータを集約し、教育施策検討の際の資料になるよう努めていきたいと考えています。

平成25年7月

福岡市教育委員会
総務部教育政策課

も く じ

I 子ども

1 基本的生活習慣	2
2 学力	7
3 学習習慣・家庭学習	19
4 進路状況	26
5 自尊意識・規範意識	29
6 体格・疾病	32
7 体力・運動能力	35
8 メディアとの接触	38
9 不登校・いじめ・暴力行為	40

II 学校

1 学校数等	43
2 学校施設の状況	46
3 特色ある教育	47
4 地域の人材活用状況	50
5 学校情報の提供	52
6 特別支援教育	53
7 ICT環境	58
8 その他の状況	60

III 教職員

1 教職員	63
2 教職員の研修状況	65
3 教員の休職状況	66
4 体罰・処分	67

IV 家庭・地域

1 家庭状況	69
2 子どもとのかかわり	70

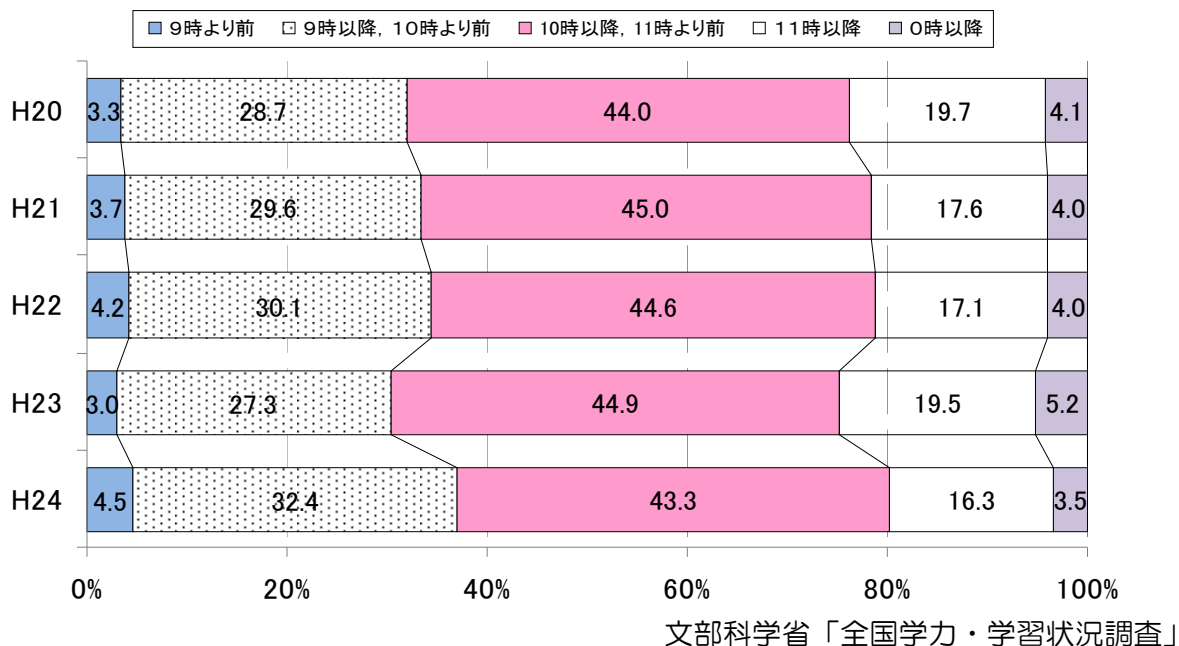
利用にあたって

- 四捨五入の関係で、計と内訳の合計が一致しない場合があります。
- 平成23年度の全国学力・学習状況調査は、東日本大震災の関係で9月に行われています。

I 子 ど も

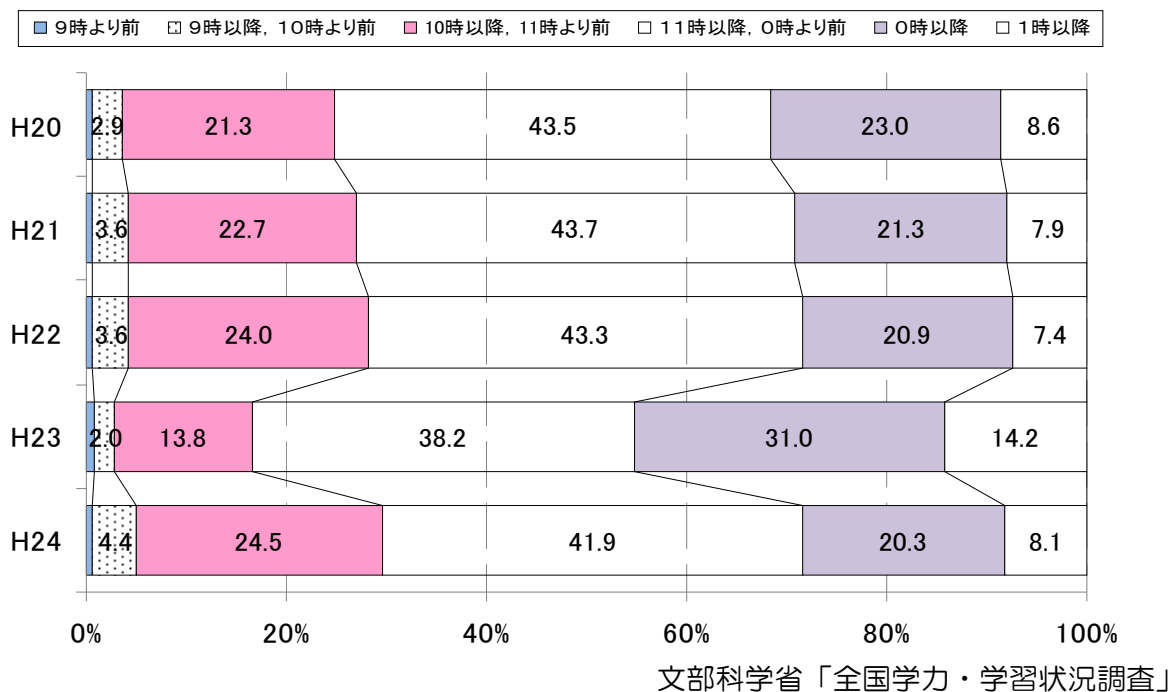
I－1 基本的生活習慣

I－1－1 就寝時刻（小学校6年）



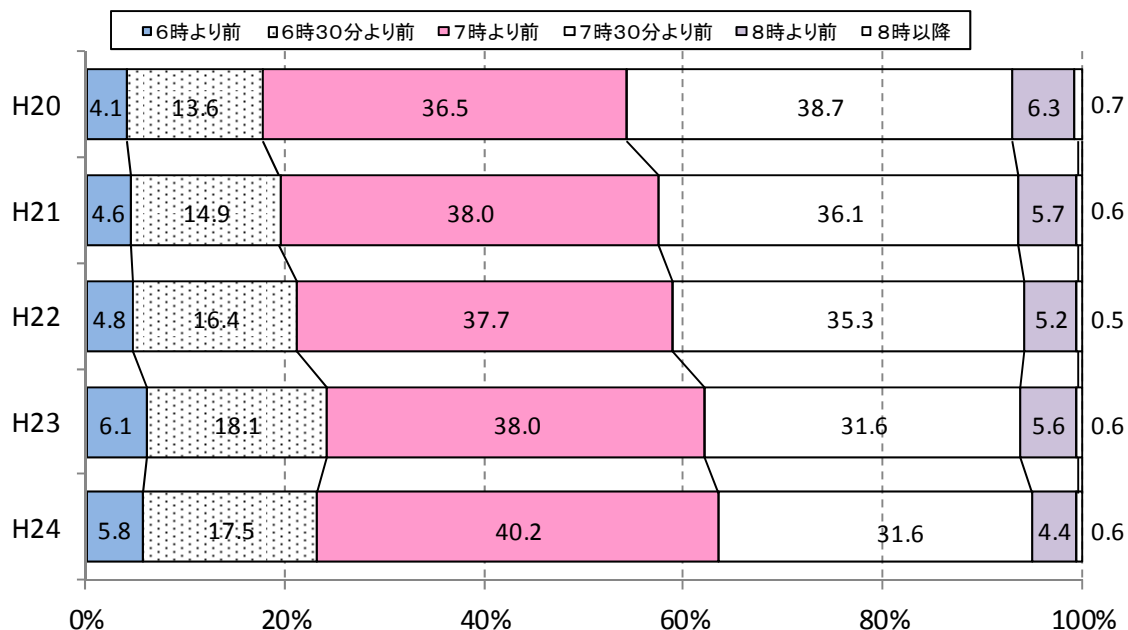
○10時より前に就寝する小学校6年の割合が、増加傾向にある。

I－1－1 就寝時刻（中学校3年）



○11時より前に就寝する中学校3年の割合が、微増傾向にある。

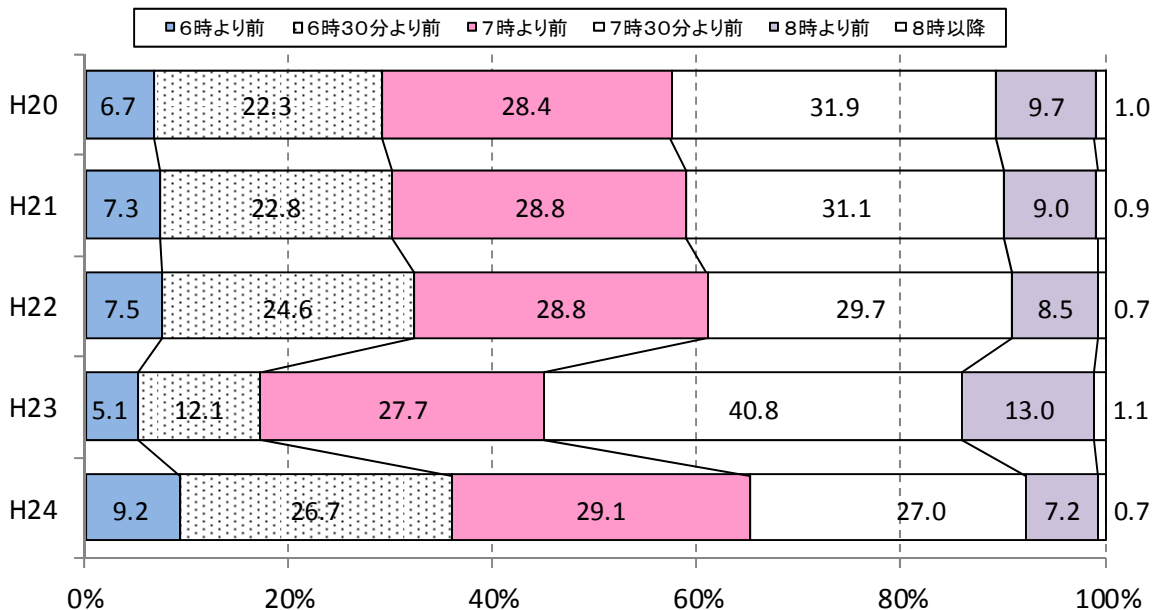
I-1-2 起床時刻（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○早い時刻に起床する小学校6年の割合が、増加傾向にある。

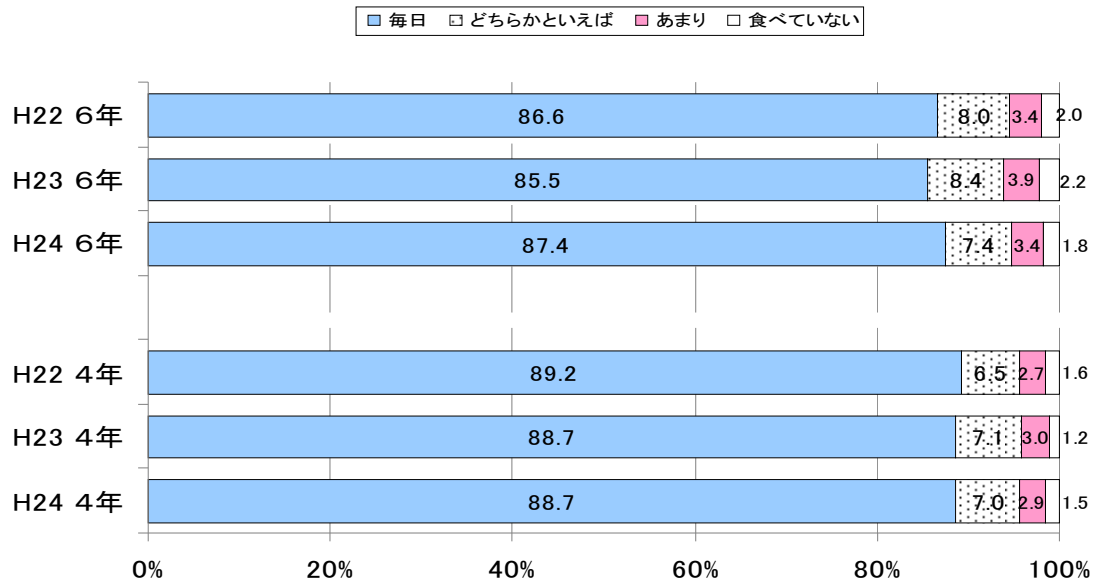
I-1-2 起床時刻（中学校3年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○平成23年度を除いて、早い時刻に起床する中学校3年の割合が、増加傾向にある。

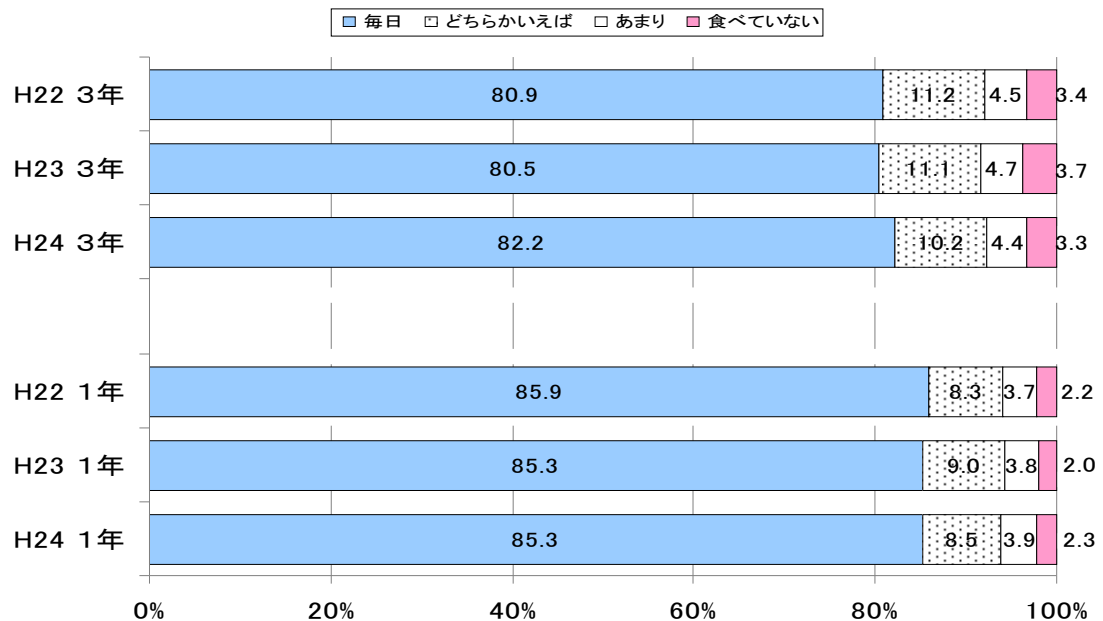
I－1－3 朝食の摂取（小学校4・6年）



「生活習慣・学習定着度調査」

○毎日朝食を食べる児童の割合は、小学校4，6年とも90%弱であり，安定した割合で推移している。

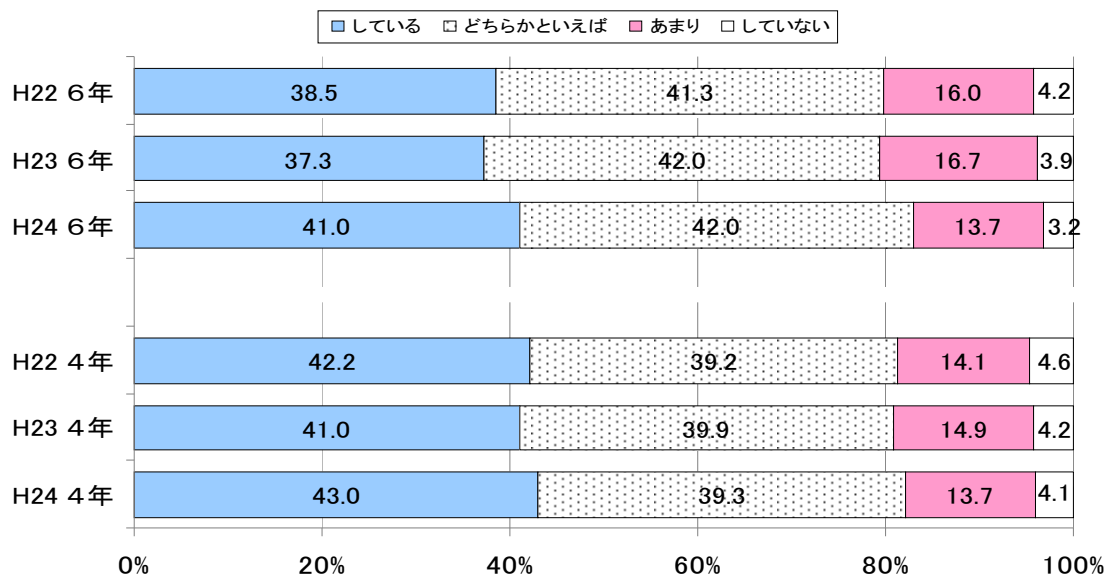
I－1－3 朝食の摂取（中学校1・3年）



「生活習慣・学習定着度調査」

○毎日朝食を食べる生徒の割合は，中学校1，3年とも80%強である。

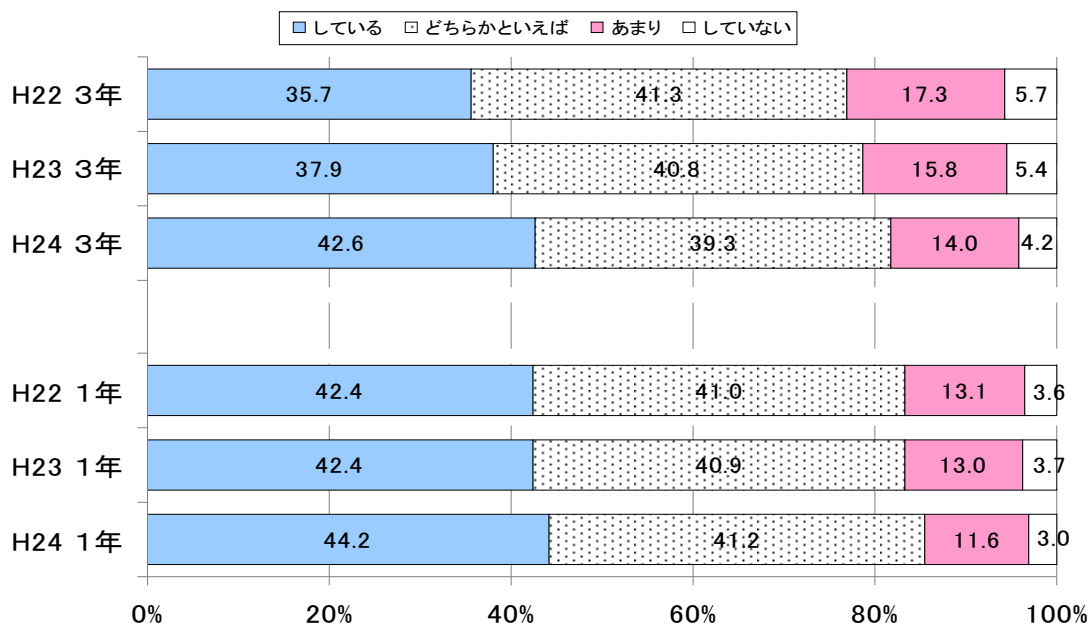
I-1-4 近所の人へのあいさつ（小学校4・6年）



「生活習慣・学習定着度調査」

○近所の人へあいさつを「している」「どちらかといえばしている」小学校4年，6年の児童の割合は，80%前後で推移している。

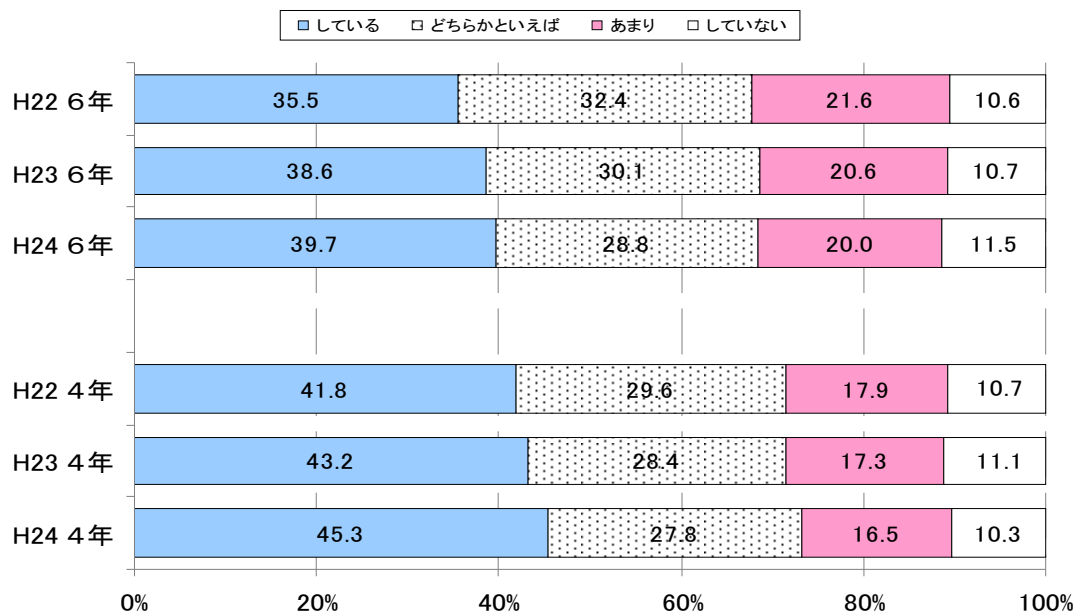
I-1-4 近所の人へのあいさつ（中学校1・3年）



「生活習慣・学習定着度調査」

○近所の人へあいさつを「している」「どちらかといえばしている」中学校1，3年の生徒の割合は，増加傾向にある。

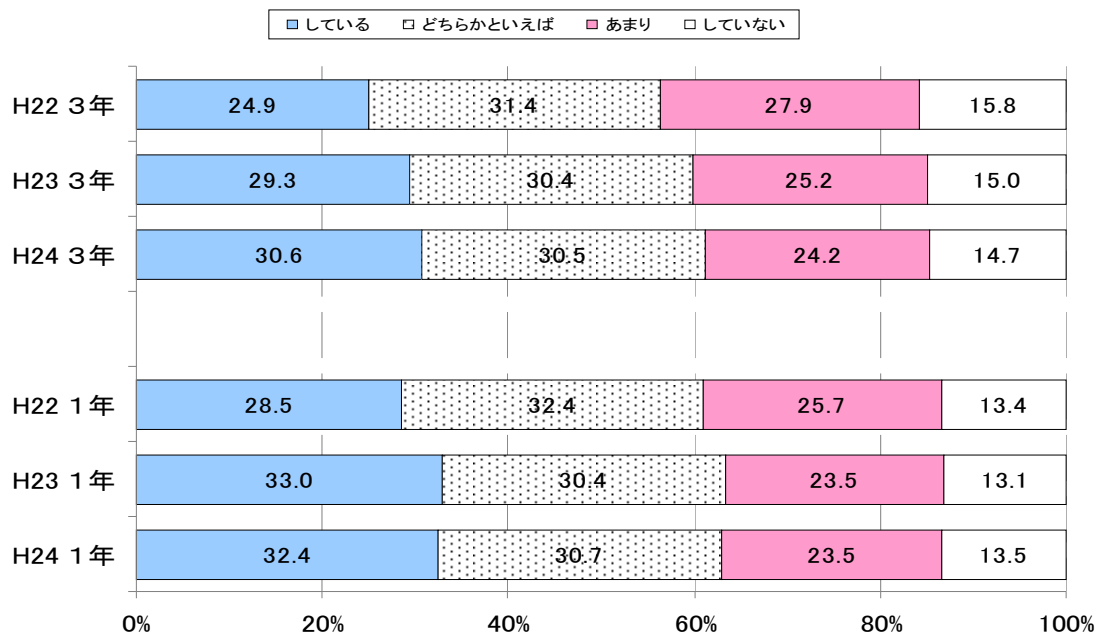
I－1－5 家の手伝い（小学校4・6年）



「生活習慣・学習定着度調査」

○小学校4年，6年で家の手伝いを「している」割合が増加している。「していない」割合は，いずれも約10%強で推移している。

I－1－5 家の手伝い（中学校1・3年）

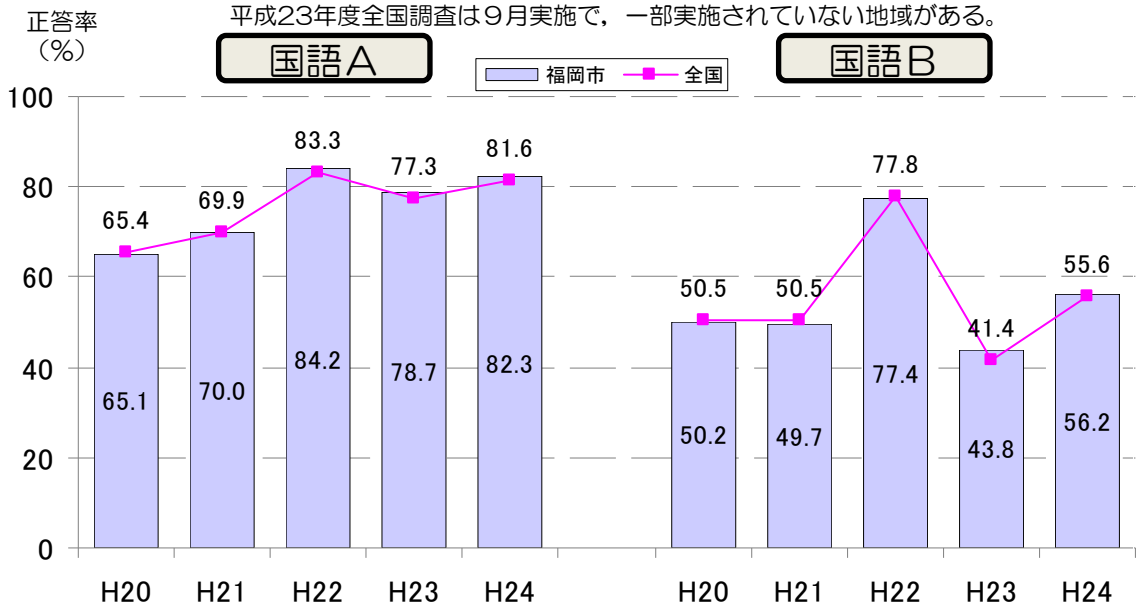


「生活習慣・学習定着度調査」

○中学校3年の家の手伝いを「している」「どちらかといえばしている」生徒の割合は，増加傾向にある。

I-2 学力

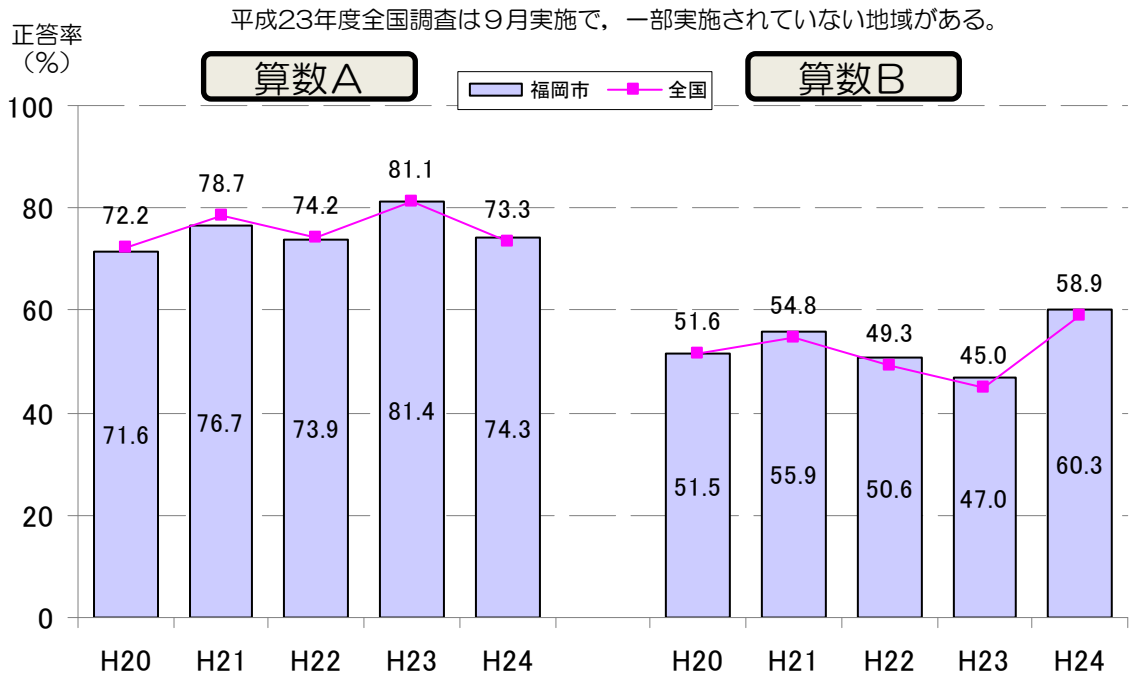
I-2-1 国語A・Bにおける平均正答率の推移（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○平成24年度の国語A、B問題の正答率は、全国平均をやや上回っている。

I-2-1 算数A・Bにおける平均正答率の推移（小学校6年）



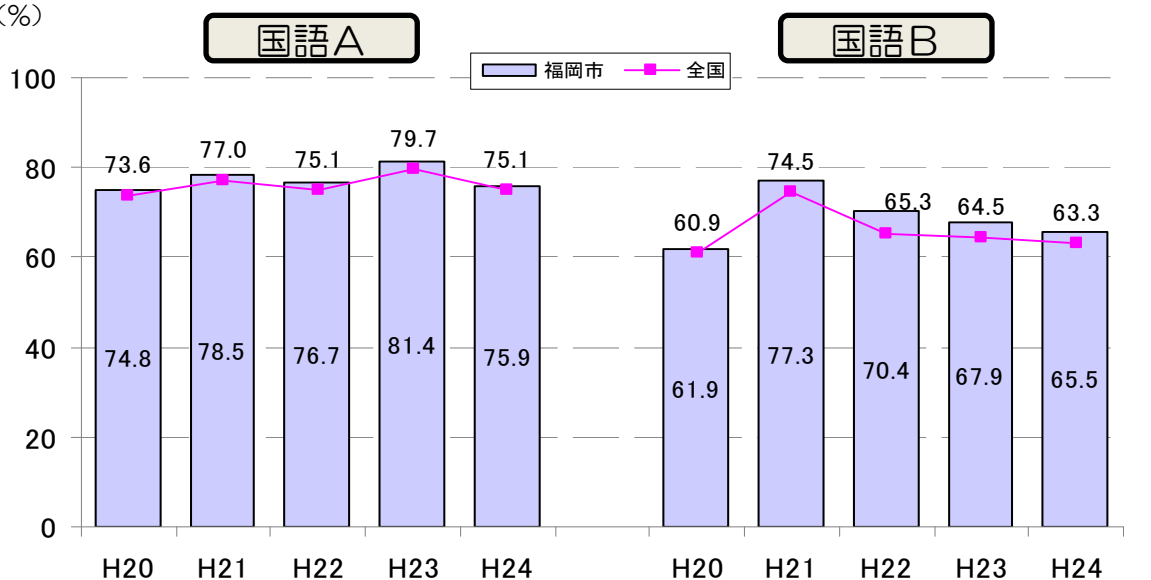
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■平成24年度の算数A、Bの正答率は、全国平均をやや上回っている。

I－2－2 国語A・Bにおける平均正答率の推移（中学校3年）

正答率
(%)

平成23年度全国調査は9月実施で、一部実施されていない地域がある。



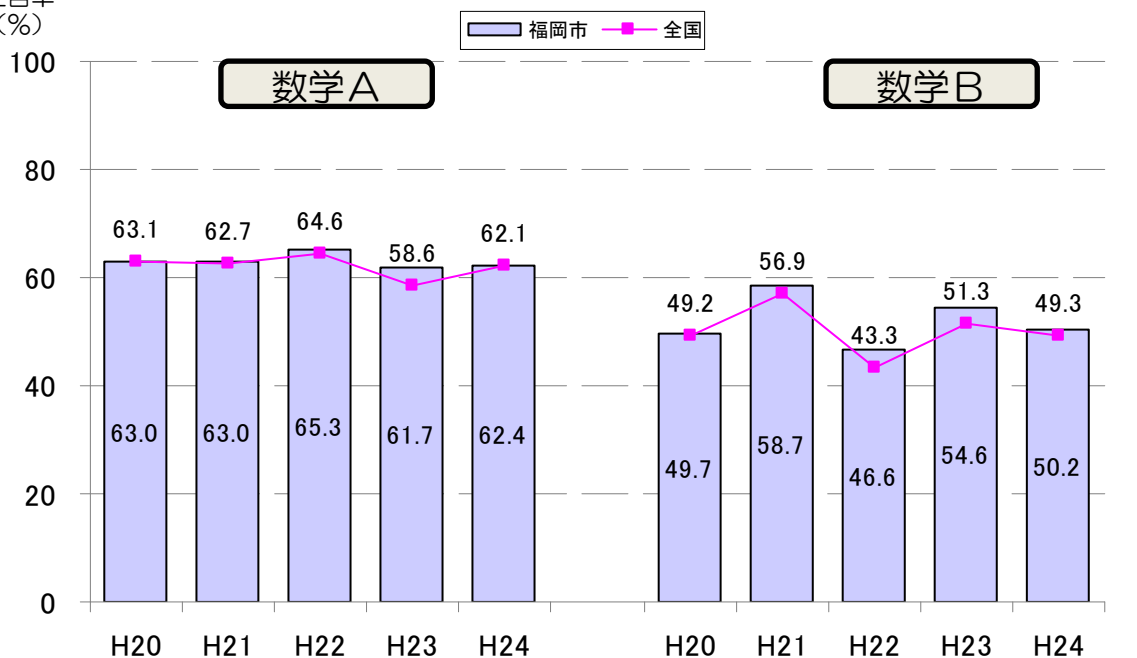
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■平成24年度の 国語 A, Bの正答率は、全国平均をやや上回っている。

I－2－2 数学A・Bにおける平均正答率の推移（中学校3年）

正答率
(%)

平成23年度全国調査は9月実施で、一部実施されていない地域がある。



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■平成24年度までは 数学A, Bの正答率は、全国平均をやや上回っている。

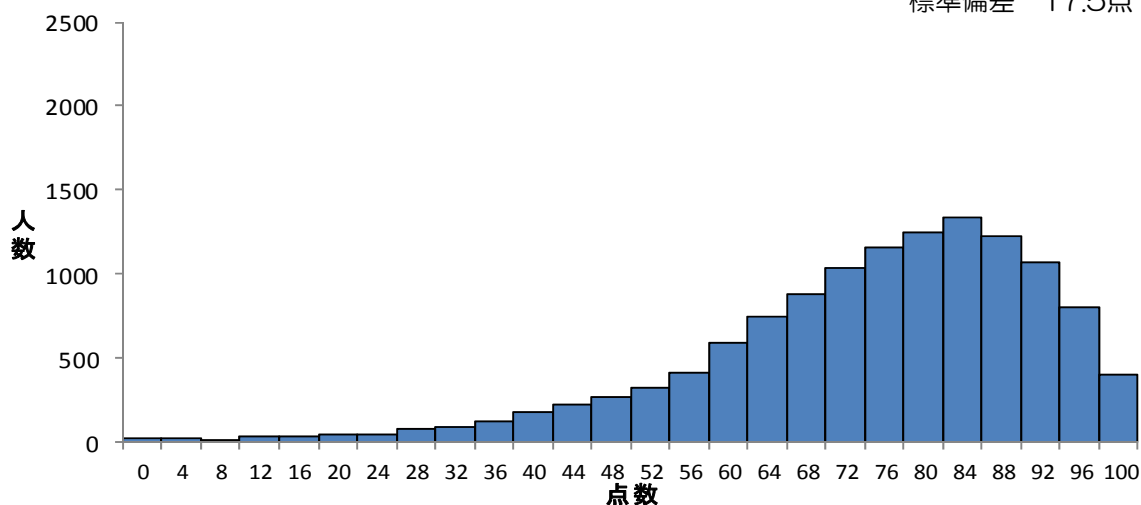
I-2-3 定着度調査集計結果（小学校4年 国語）

n：12,367人（調査を受けていない児童は除く）

H24小4国語

平均 73.3点

標準偏差 17.5点



※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■国語は、84点前後の児童の割合が最も多い。

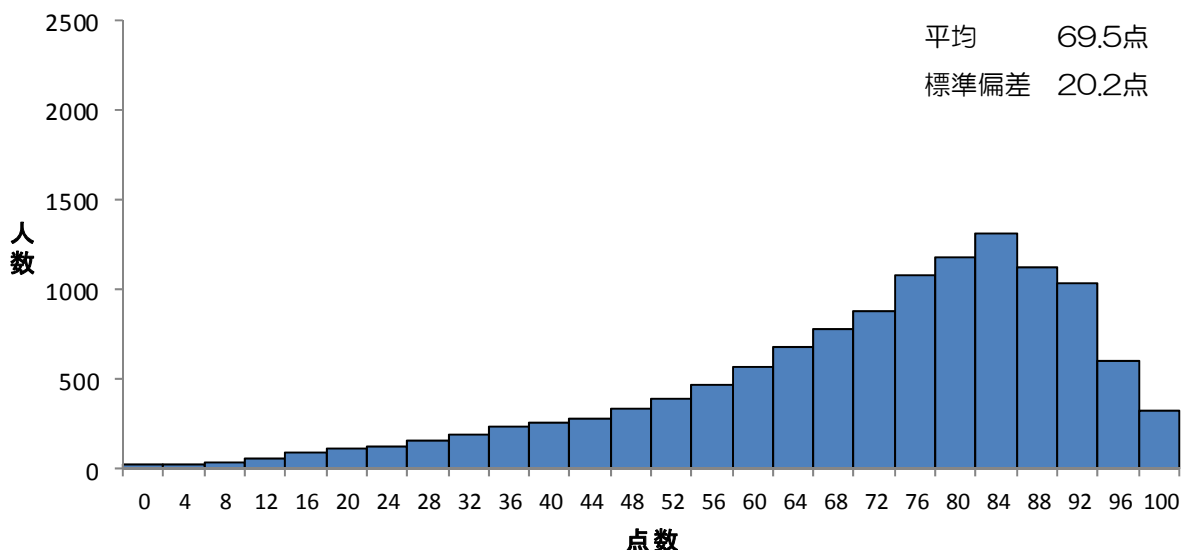
I-2-3 定着度調査集計結果（小学校4年 社会）

n：12,364人（調査を受けていない児童は除く）

H24小4社会

平均 69.5点

標準偏差 20.2点

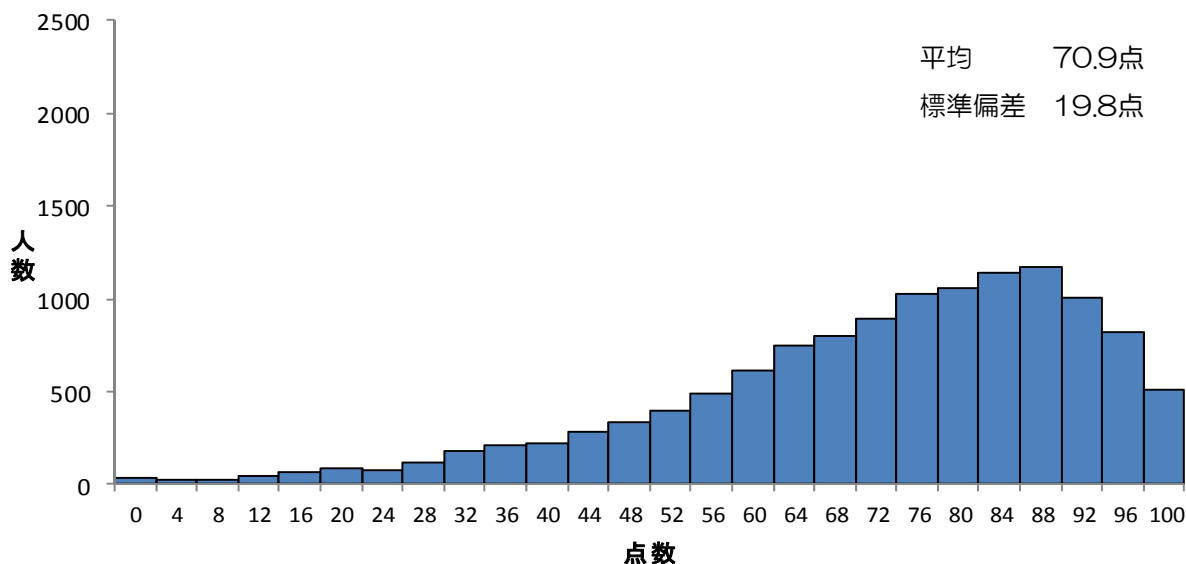


※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■社会では、84点前後の児童の割合が最も多い。

I-2-3 定着度調査集計結果（小学校4年 算数）

n：12,373人（調査を受けていない児童は除く）
H24小4算数



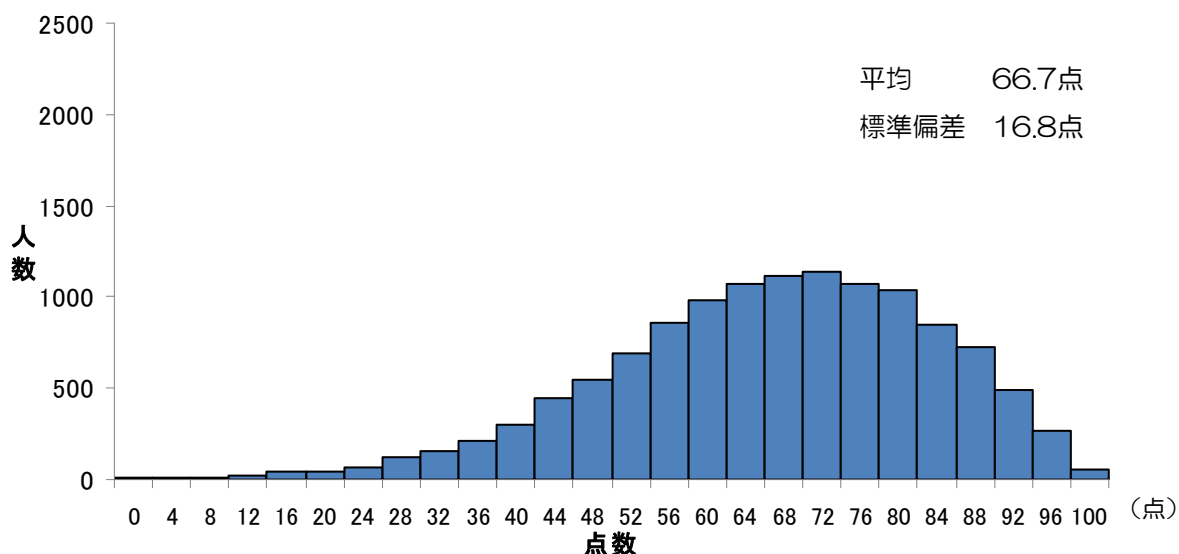
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■算数は、88点前後の児童の割合が最も多く、バラツキが大きい。

I-2-3 定着度調査集計結果（小学校4年 理科）

n：12,369人（調査を受けていない児童は除く）

H24小4理科

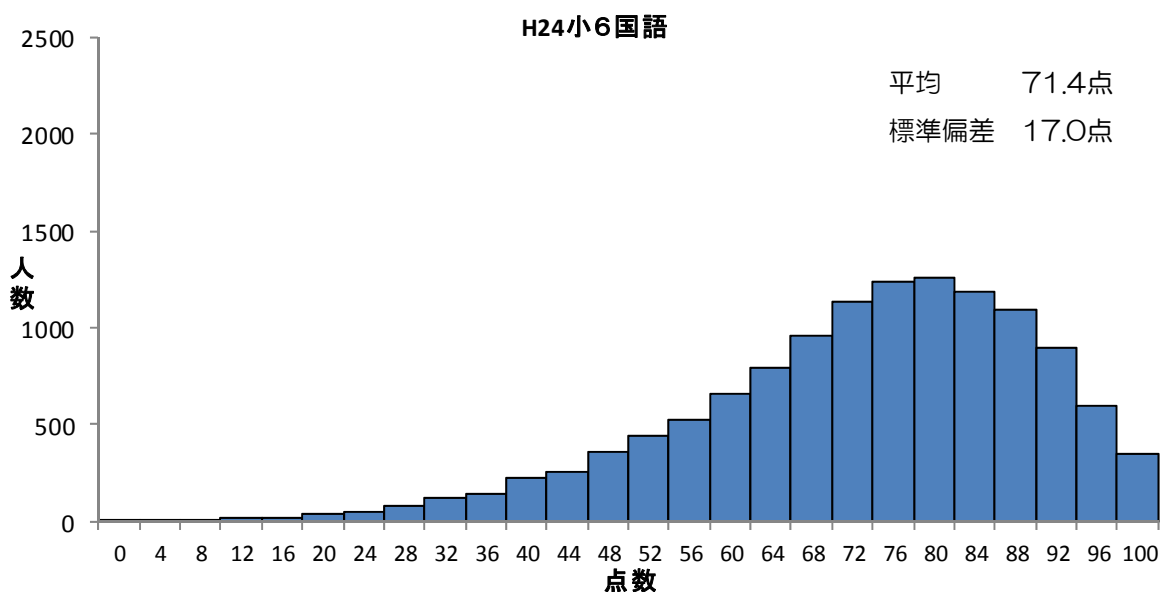


※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■理科は、72点前後の児童の割合が最も多い。

I-2-4 定着度調査集計結果（小学校6年 国語）

n：12,446人（調査を受けていない児童は除く）

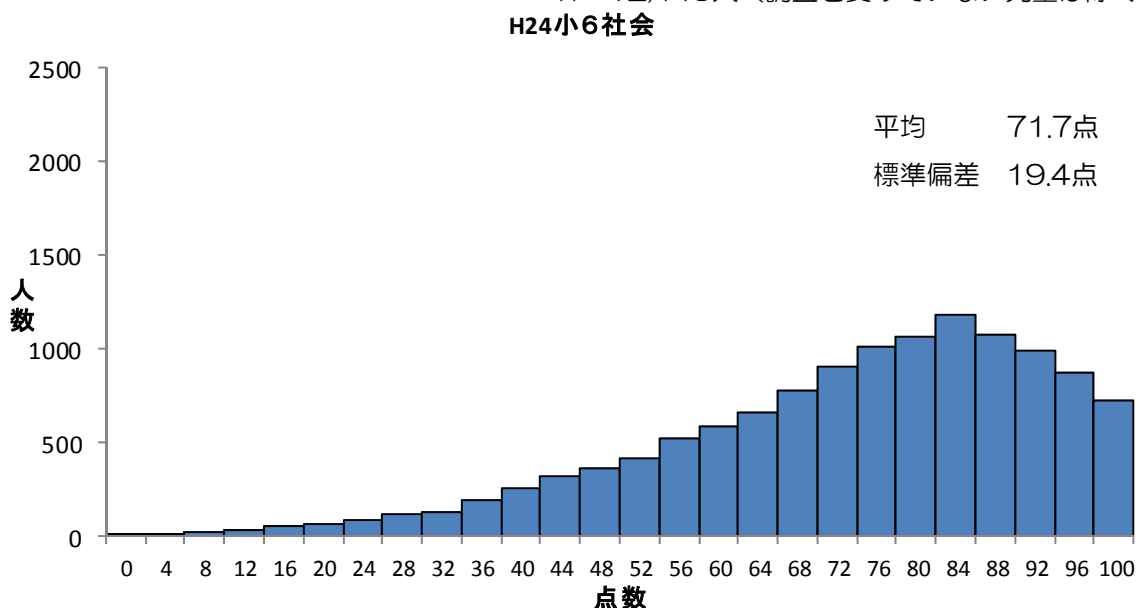


※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■国語は、80点前後の児童の割合が最も多い。

I-2-4 定着度調査集計結果（小学校6年 社会）

n：12,445人（調査を受けていない児童は除く）

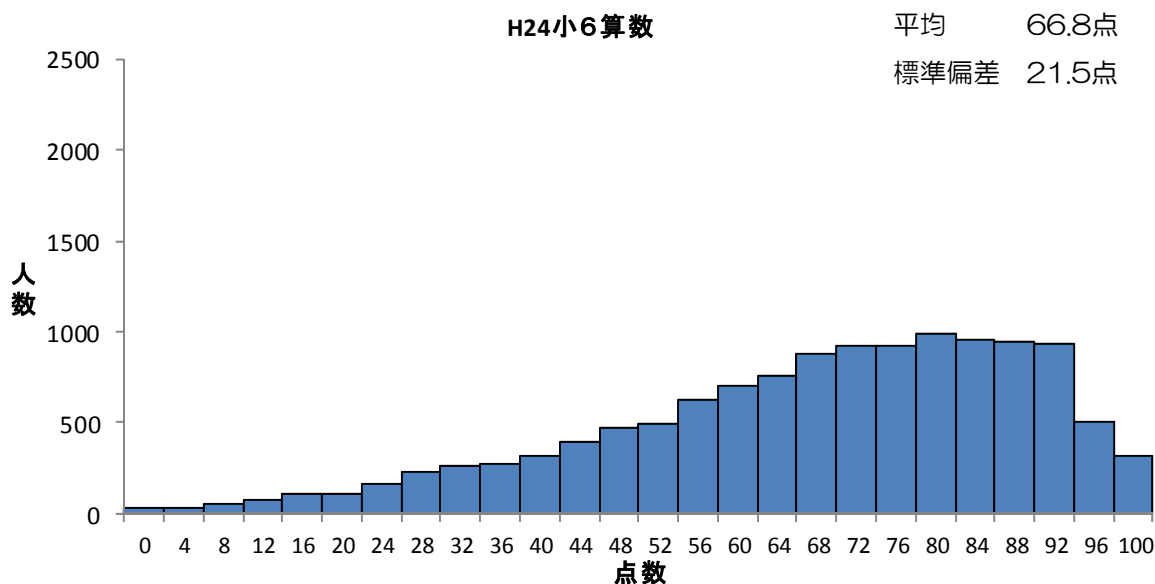


※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■社会は、84点前後の児童の割合が最も多い。

I－2－4 定着度調査集計結果（小学校6年 算数）

n：12,449人（調査を受けていない児童は除く）

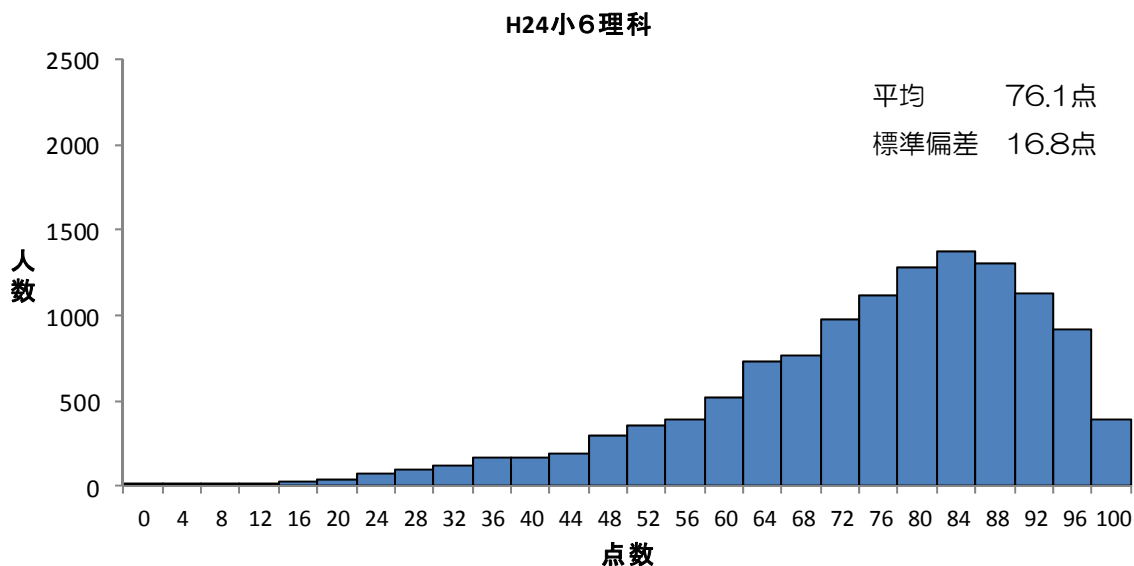


※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■算数は、80点前後の児童の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I－2－4 定着度調査集計結果（小学校6年 理科）

n：12,446人（調査を受けていない児童は除く）



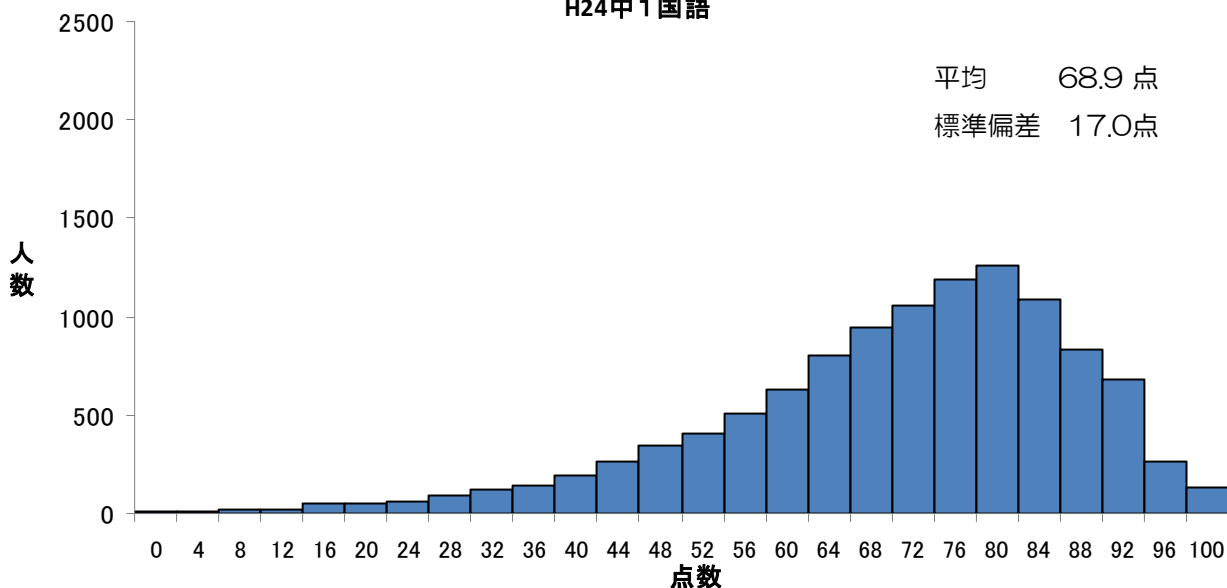
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■理科は、84点の児童の割合が多い。

I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 国語）

n：11,174人（調査を受けていない生徒は除く）

H24中1国語



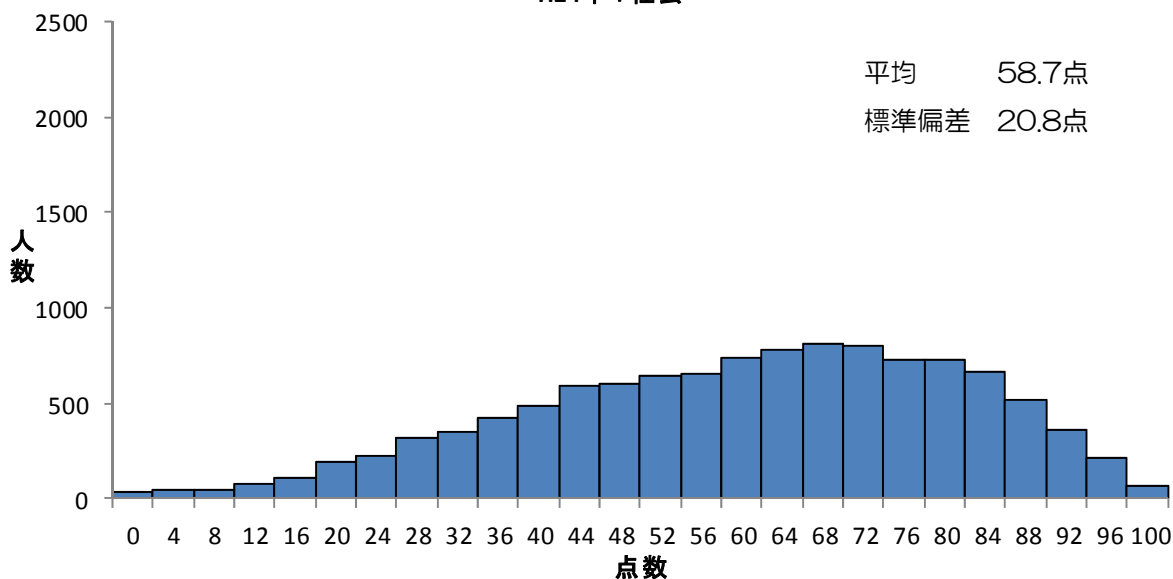
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■国語は、80点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 社会）

n：11,184人（調査を受けていない生徒は除く）

H24中1社会



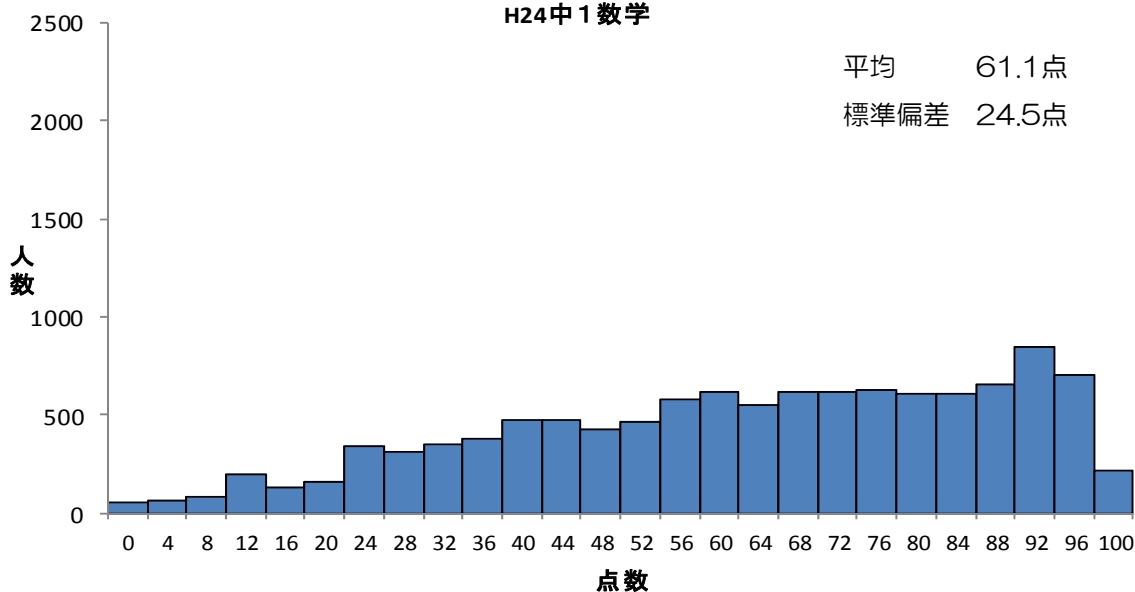
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■社会は、70点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 数学）

n：11,177人（調査を受けていない生徒は除く）

H24中1 数学



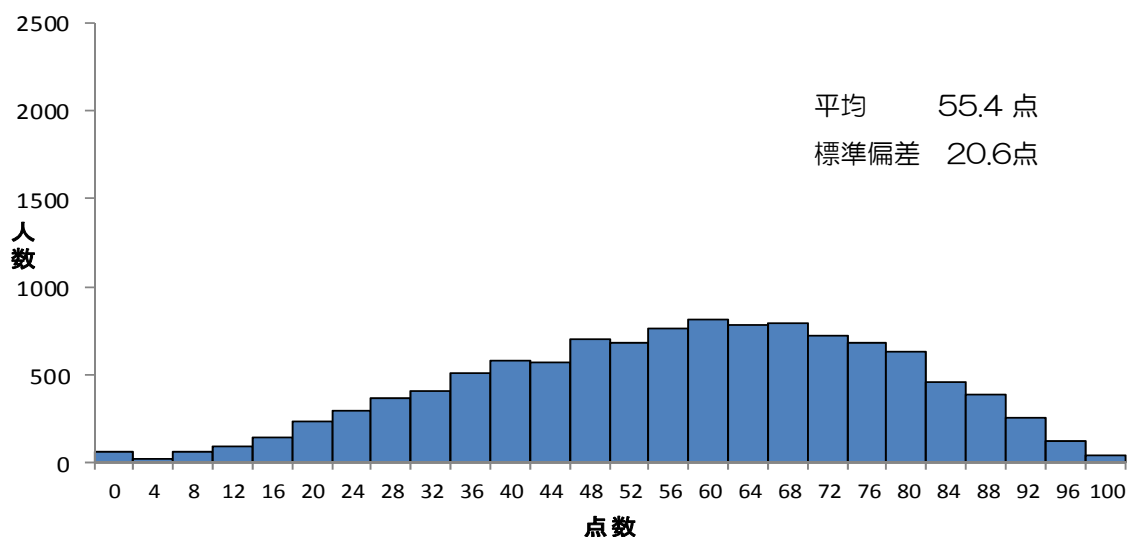
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■数学は、92点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 理科）

n：11,182人（調査を受けていない生徒は除く）

H24中1 理科

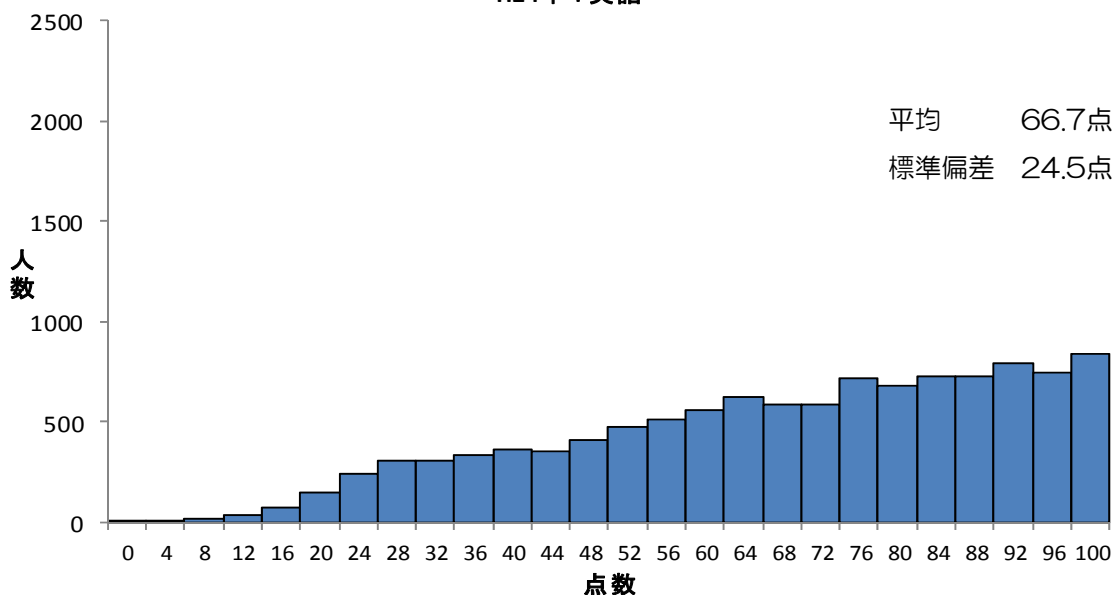


※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■理科は、60点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 英語）

n：11,173人（調査を受けていない生徒は除く）
H24中1英語

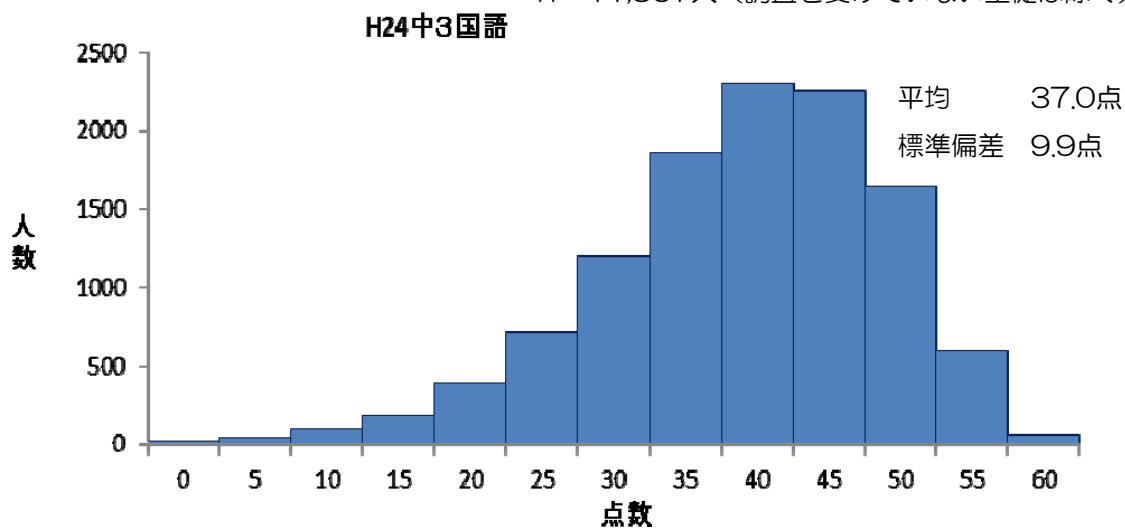


※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上4点未満） 平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■英語の点数のばらつきは大きい傾向にある。

I-2-6 定着度調査集計結果（中学校3年 国語）

n：11,367人（調査を受けていない生徒は除く）



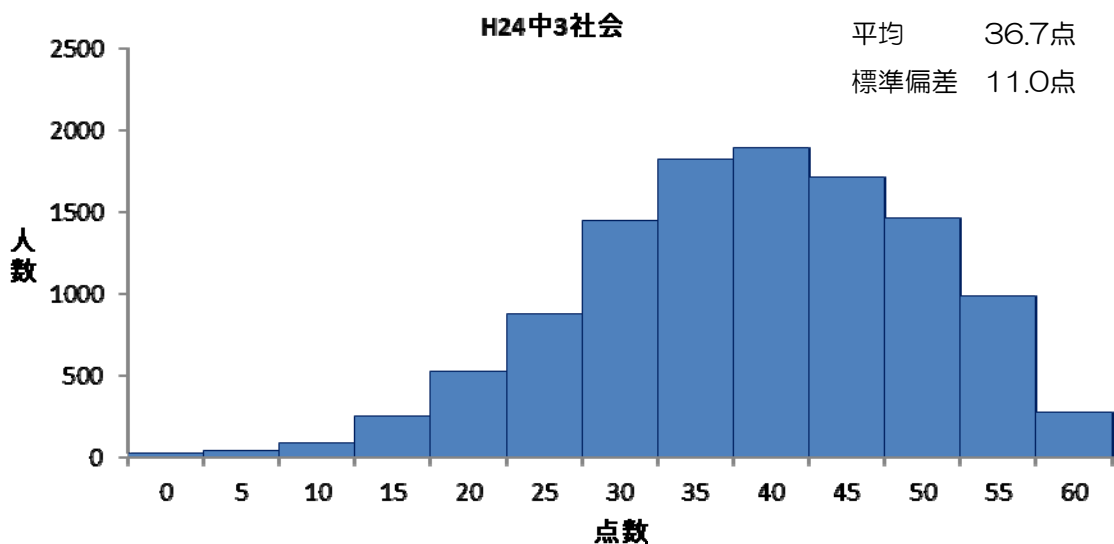
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上5点未満）※中3は60点満点

平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■国語は、40点前後の生徒の割合が多い。

I-2-6 定着度調査集計結果（中学校3年 社会）

n：11,363人（調査を受けていない生徒は除く）



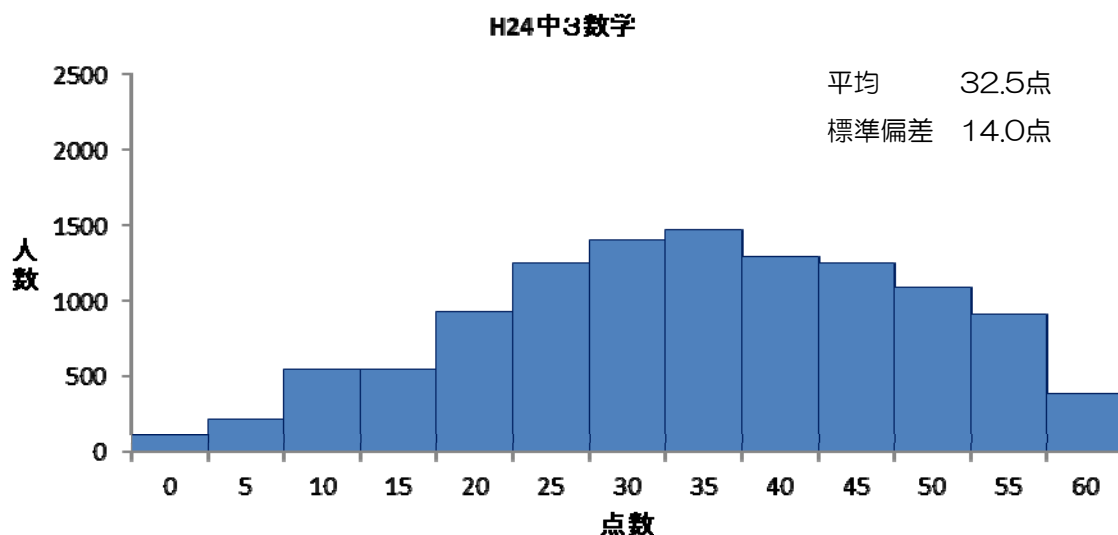
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上5点未満）※中3は60点満点

平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■社会は、40点前後の生徒の割合が多い。

I-2-6 定着度調査集計結果（中学校3年 数学）

n：11,361人（調査を受けていない生徒は除く）



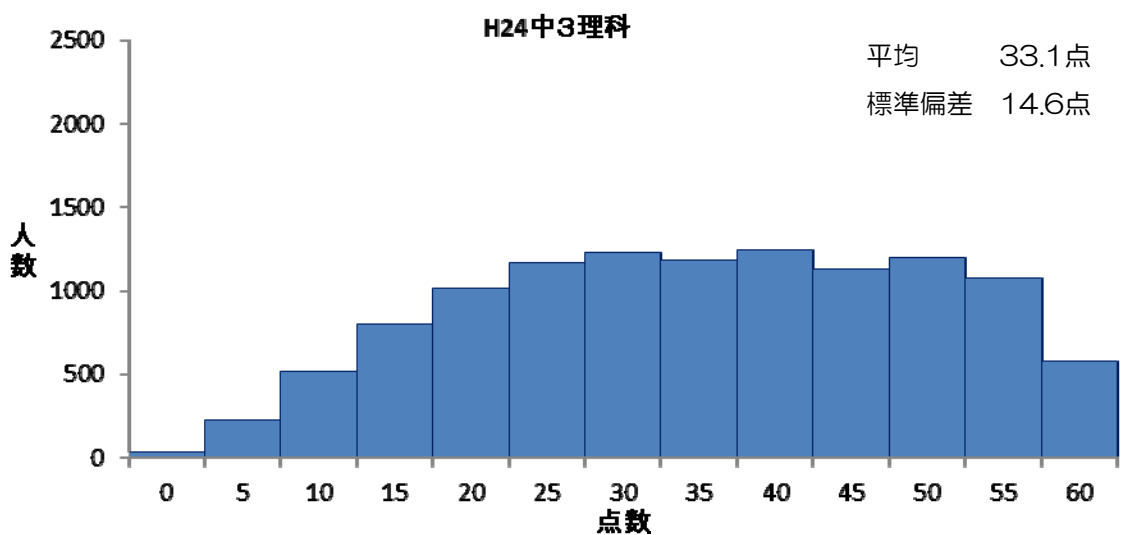
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上5点未満）※中3は60点満点

平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■数学は、35点前後の生徒の割合が多く、低い得点の生徒の割合も多い。

I-2-6 定着度調査集計結果（中学校3年 理科）

n：11,363人（調査を受けていない生徒は除く）



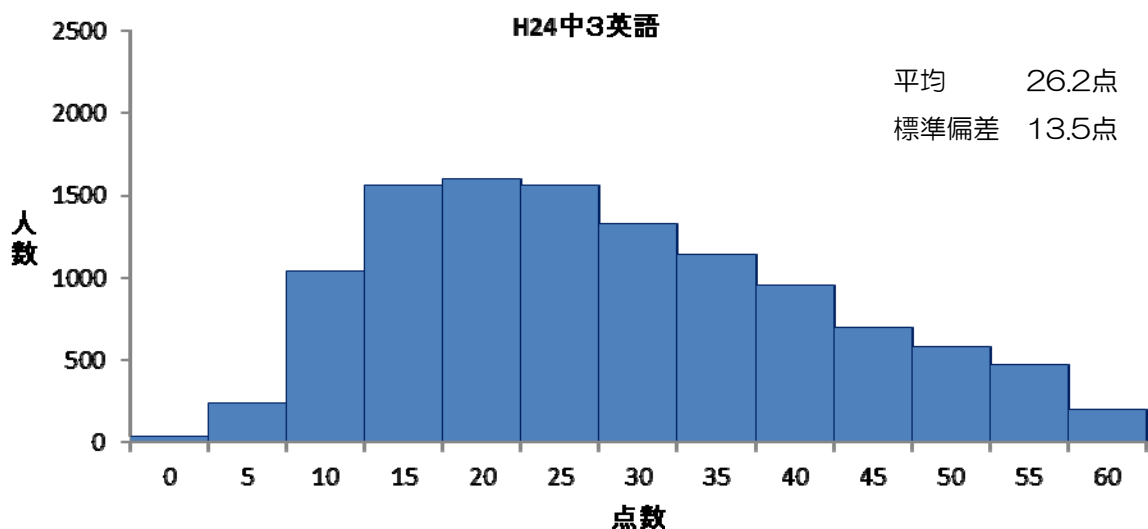
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上5点未満）※中3は60点満点

平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

■理科は、30～40点の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-6 定着度調査集計結果（中学校3年 英語）

n：11,373人（調査を受けていない生徒は除く）

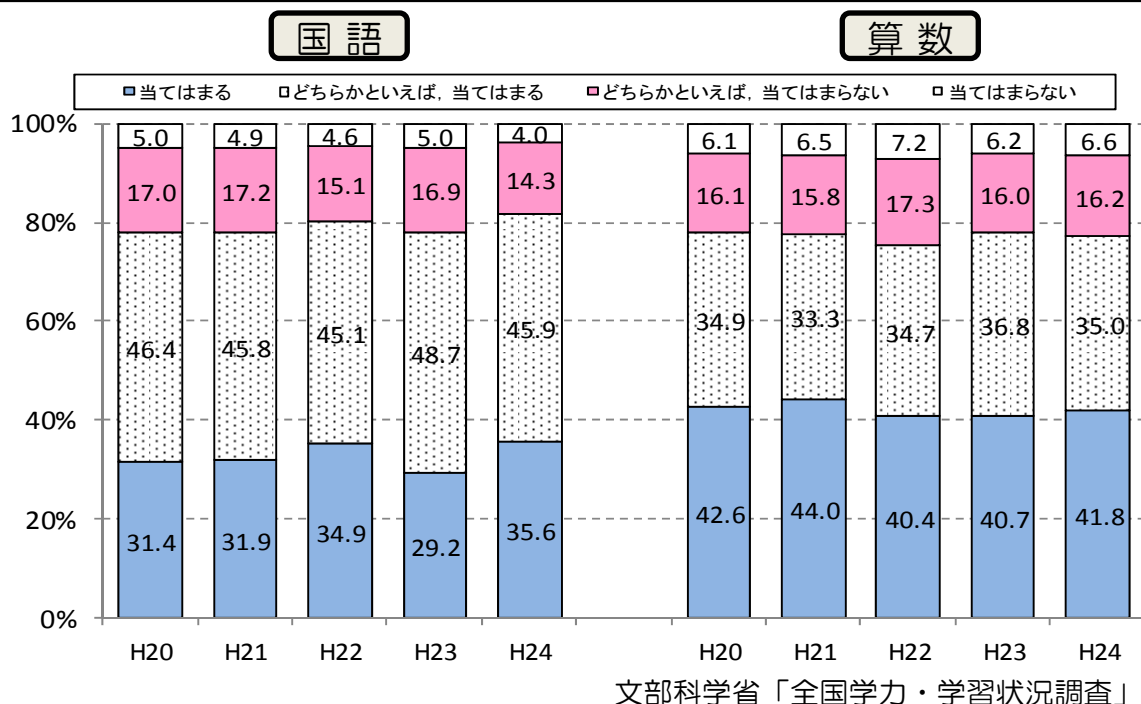


※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上5点未満）※中3は60点満点

平成24年度「生活習慣・学習定着度調査」

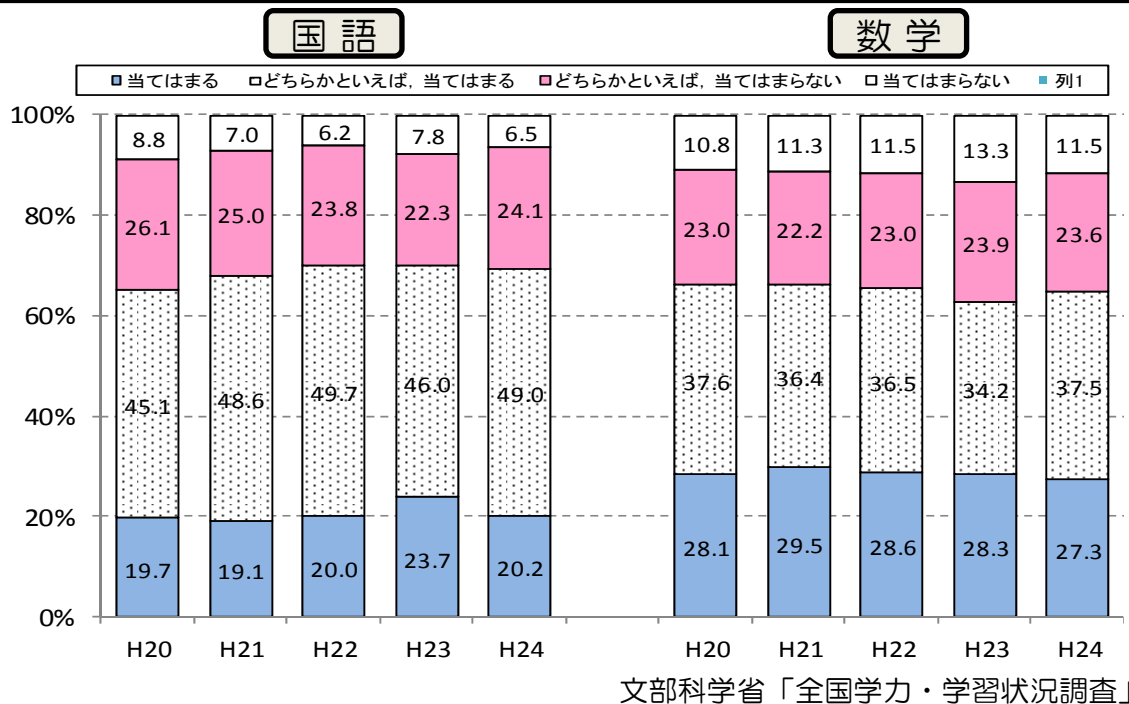
■英語は、20点前後の生徒の割合が多い。

I-2-7 授業内容の理解（小学校6年）



○国語の授業内容が「よく分かる」小学校6年生の割合は、増加傾向にある。

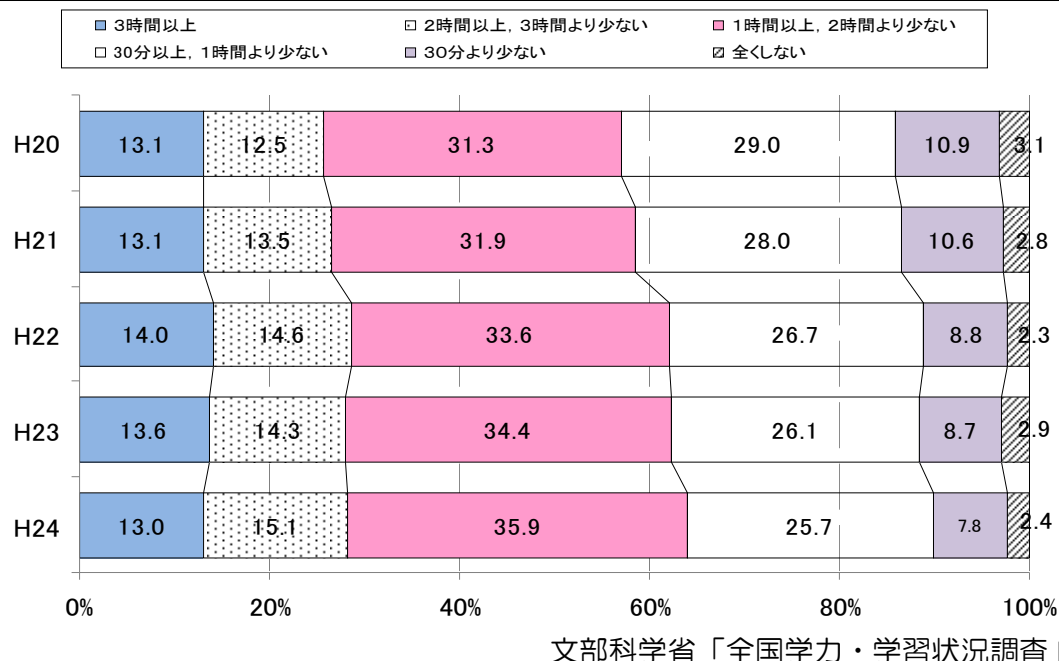
I-2-7 授業内容の理解（中学校3年）



○国語、数学ともに授業内容が「よく分かる」生徒の割合は、ほぼ横ばいである。

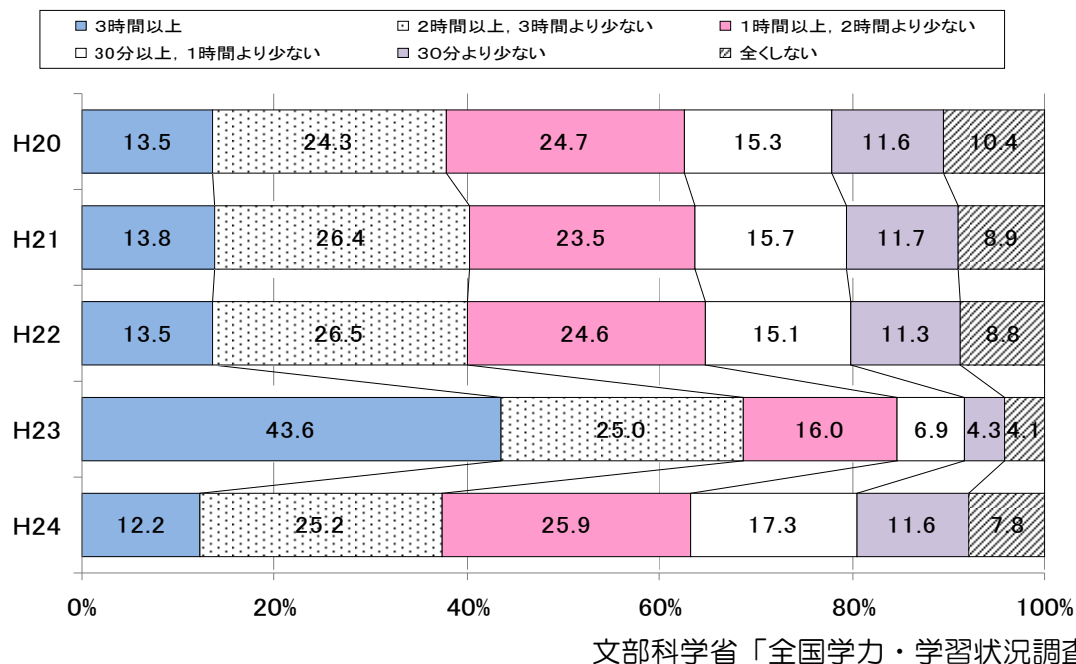
I－3 学習習慣・家庭学習

I－3－1 普段（月～金曜日）の勉強時間（小学校6年） ※塾・家庭教師を含む



○ 1時間以上勉強する小学校6年の割合が、増加傾向にある。

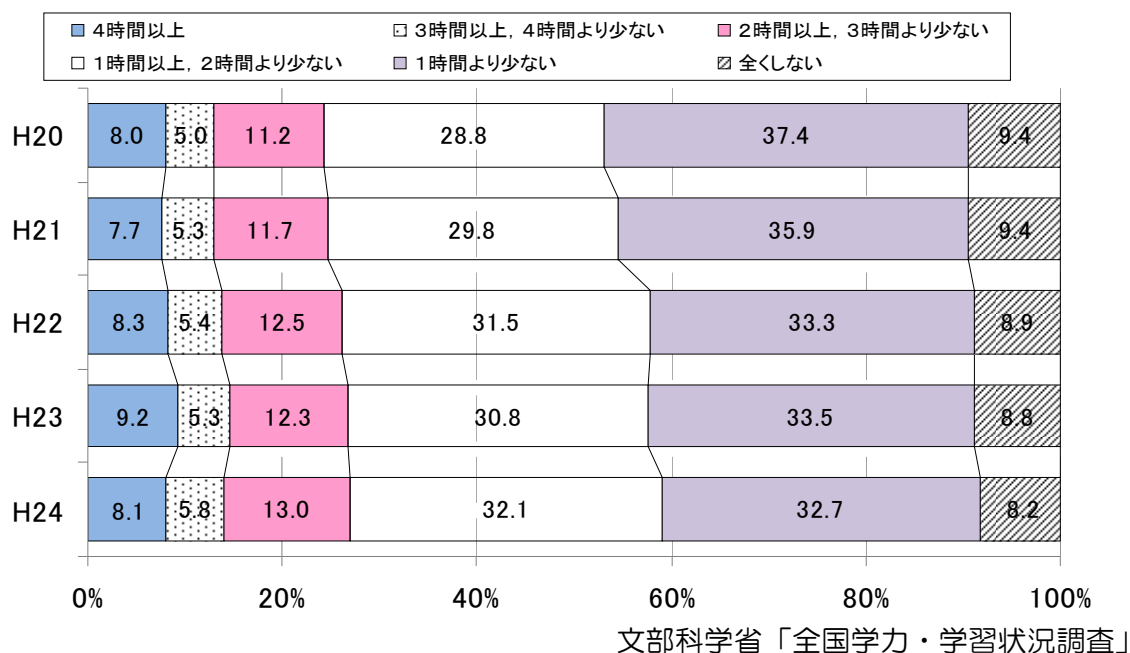
I－3－1 普段（月～金曜日）の勉強時間（中学校3年） ※塾・家庭教師を含む



○ 平成23年度（調査時期が異なる）を除き、2時間以上勉強する中学校3年の割合が、やや減少傾向にある。

I-3-2 土日など学校が休みの日の勉強時間（小学校6年）

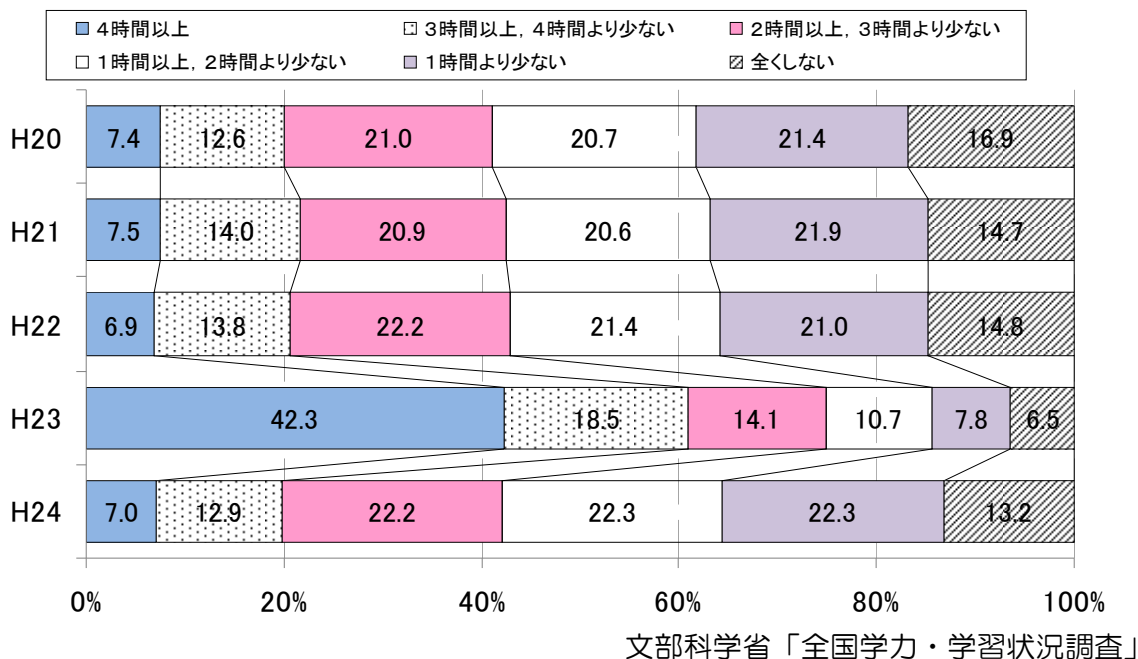
※塾・家庭教師を含む



○学校が休みの日に家で1時間以上勉強する小学校6年の割合が、増加傾向にある。

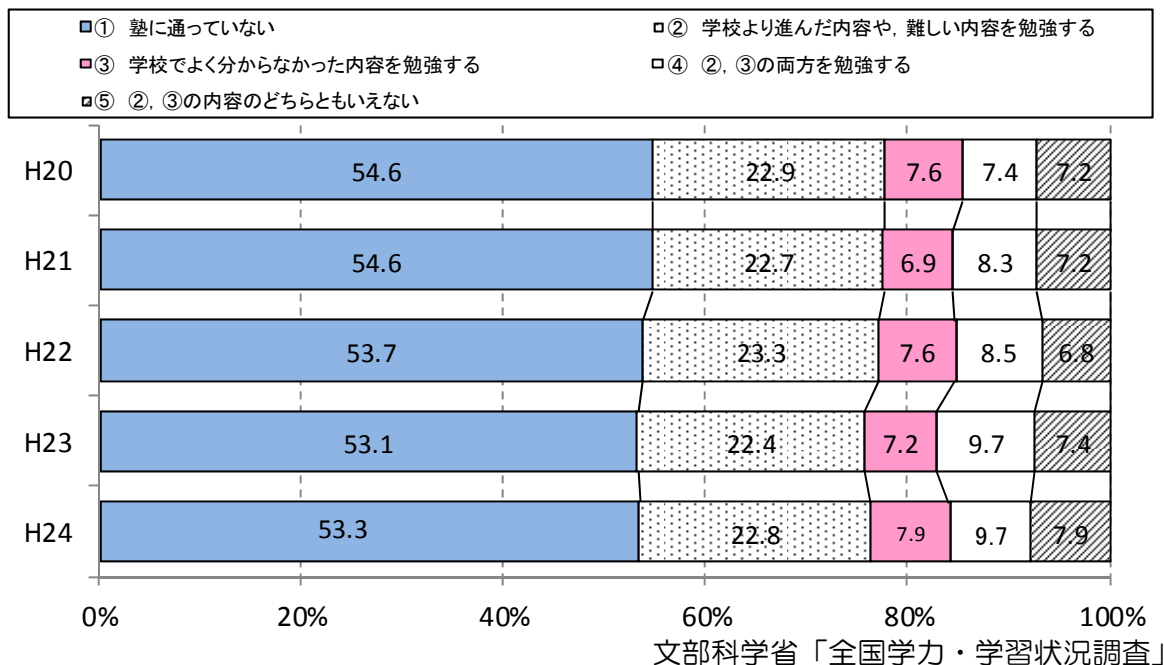
I-3-2 土日など学校が休みの日の勉強時間（中学校3年）

※塾・家庭教師を含む



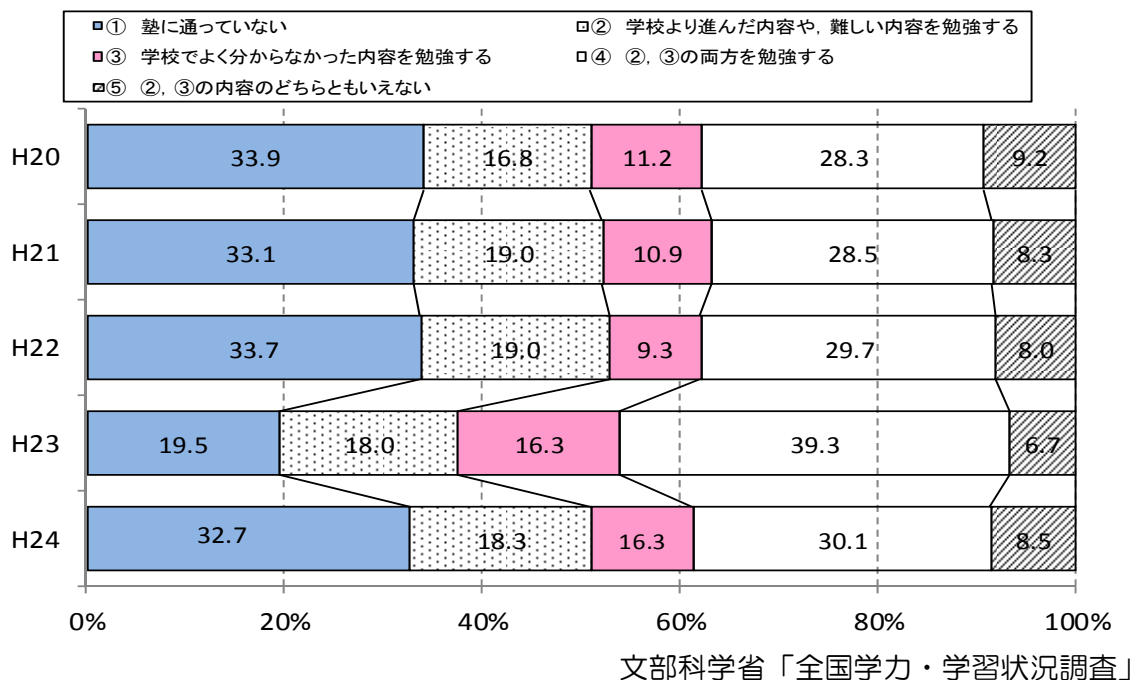
○平成23年度（調査時期が異なる）を除き、学校が休みの日の家庭での勉強時間に大きな変化は見られない。

I-3-3 学習塾（家庭教師を含む）での勉強（小学校6年）



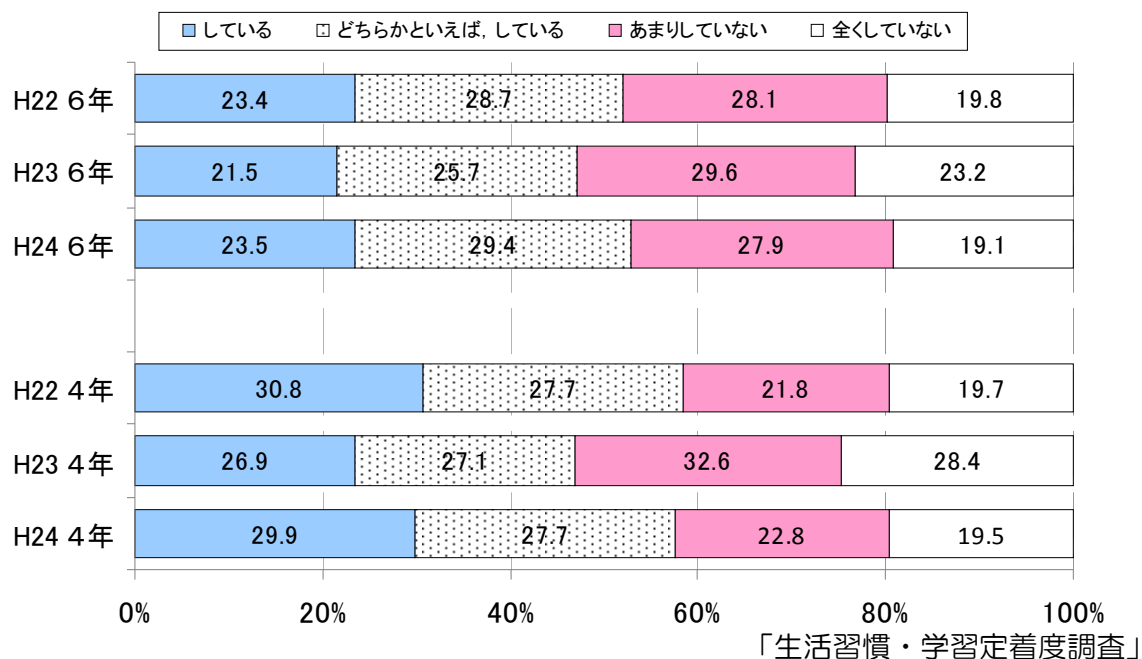
○「塾に通っていない」小学校6年の割合に大きな変化は見られない。

I-3-3 学習塾（家庭教師を含む）での勉強（中学校3年）



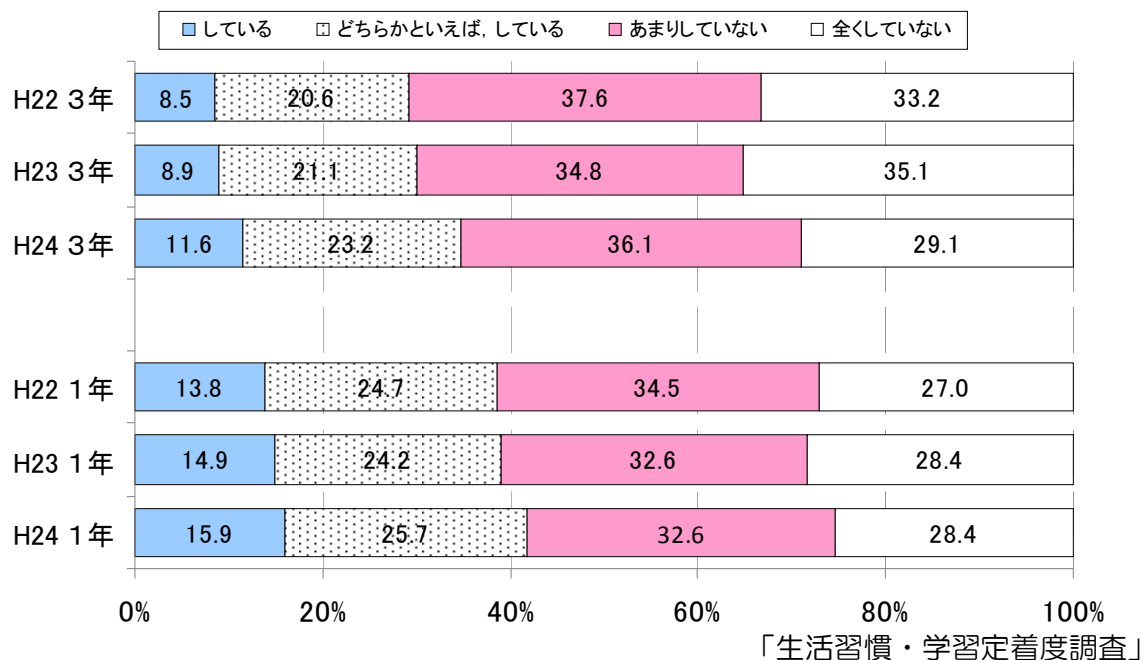
○平成23年度（調査時期が異なる）を除き、「塾に通っていない」中学校3年の割合に大きな変化は見られない。

I－3－4 計画的な家庭学習（小学校4・6年）



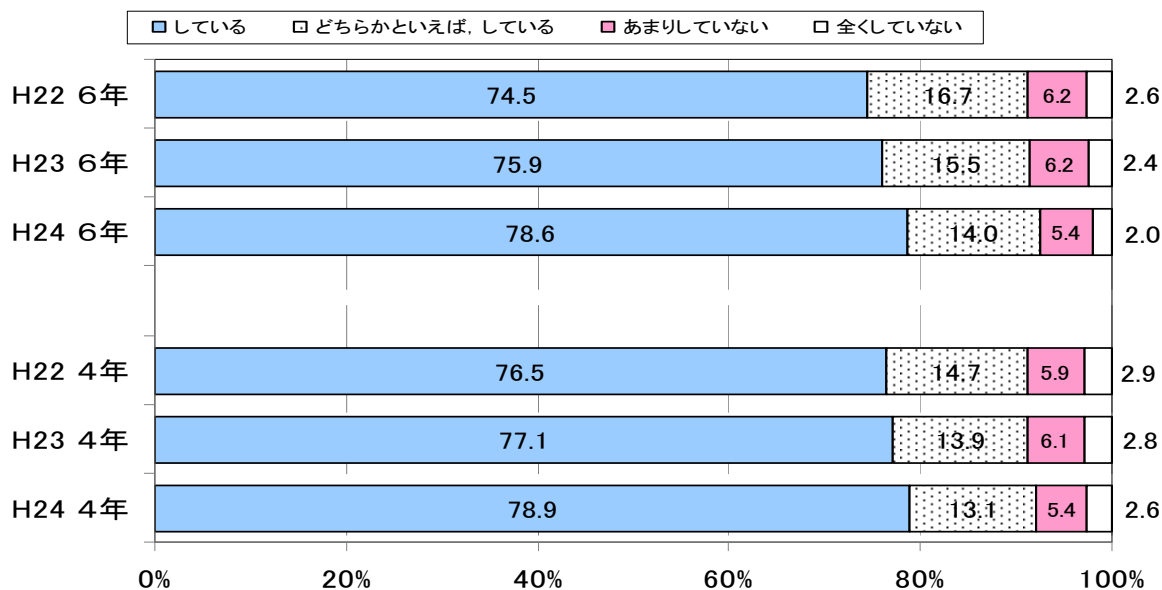
○「自分で計画を立てて、家庭で勉強している」「どちらかといえばしている」小学校6年の割合は50%前後で推移している。

I－3－4 計画的な家庭学習（中学校1・3年）



○「自分で計画を立てて、家庭で勉強している」「どちらかといえばしている」中学1，3年の割合が，増加傾向にある。

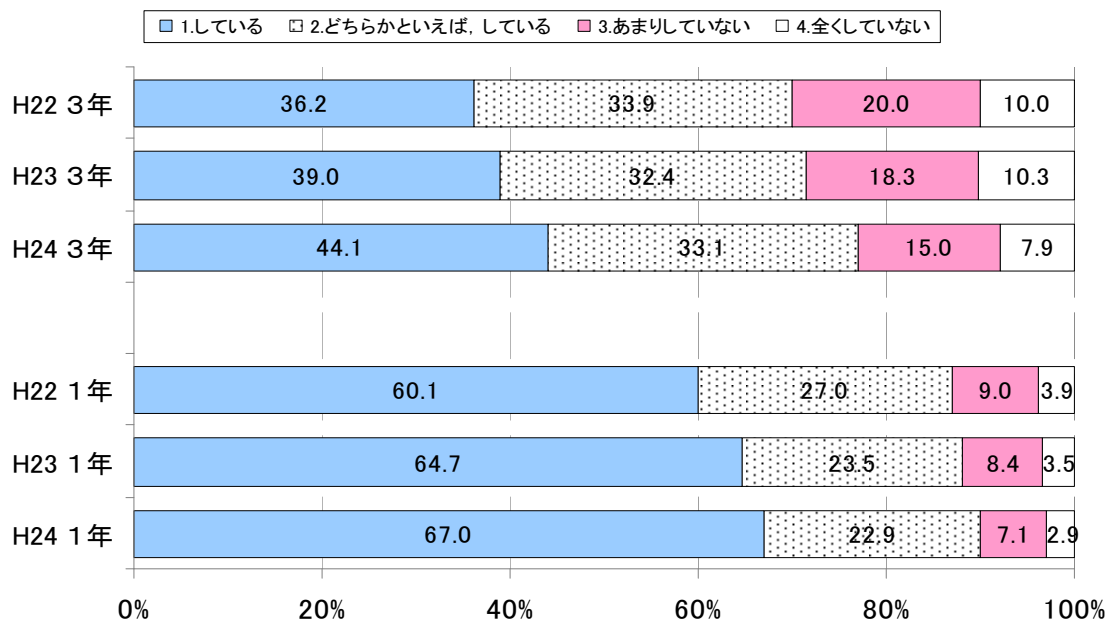
I-3-5 宿題（小学校4・6年）



「生活習慣・学習定着度調査」

○家庭で学校の宿題をしている小学校4年、6年の割合が、増加傾向にある。

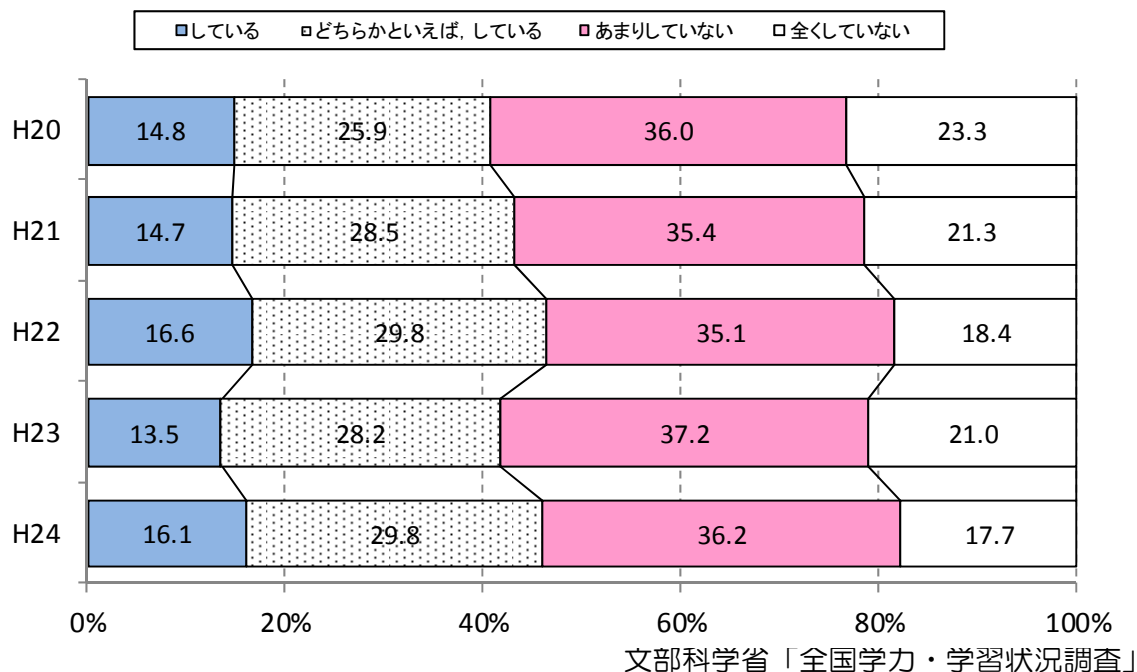
I-3-5 宿題（中学校1・3年）



「生活習慣・学習定着度調査」

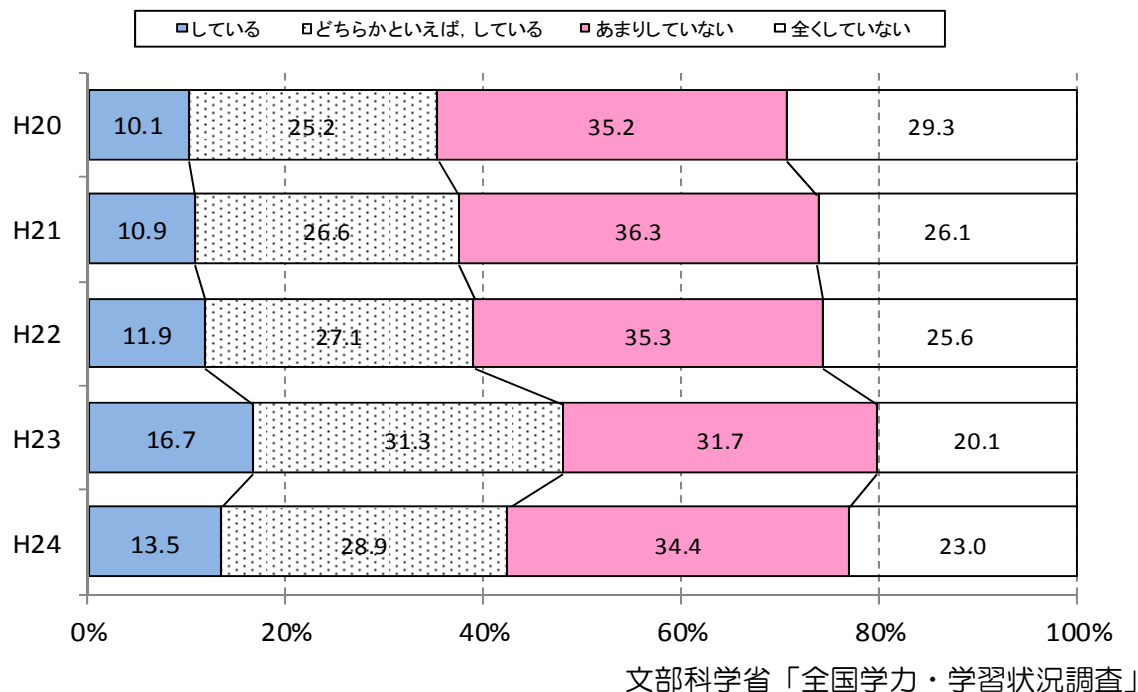
○家庭で学校の宿題をしている中学校1年、3年の割合が、増加傾向にある。

I-3-6 授業の復習（小学校6年）



○家庭で学校の授業の復習を「している」「どちらかといえば、している」小学校6年の割合が増加傾向にある。

I-3-6 授業の復習（中学校3年）

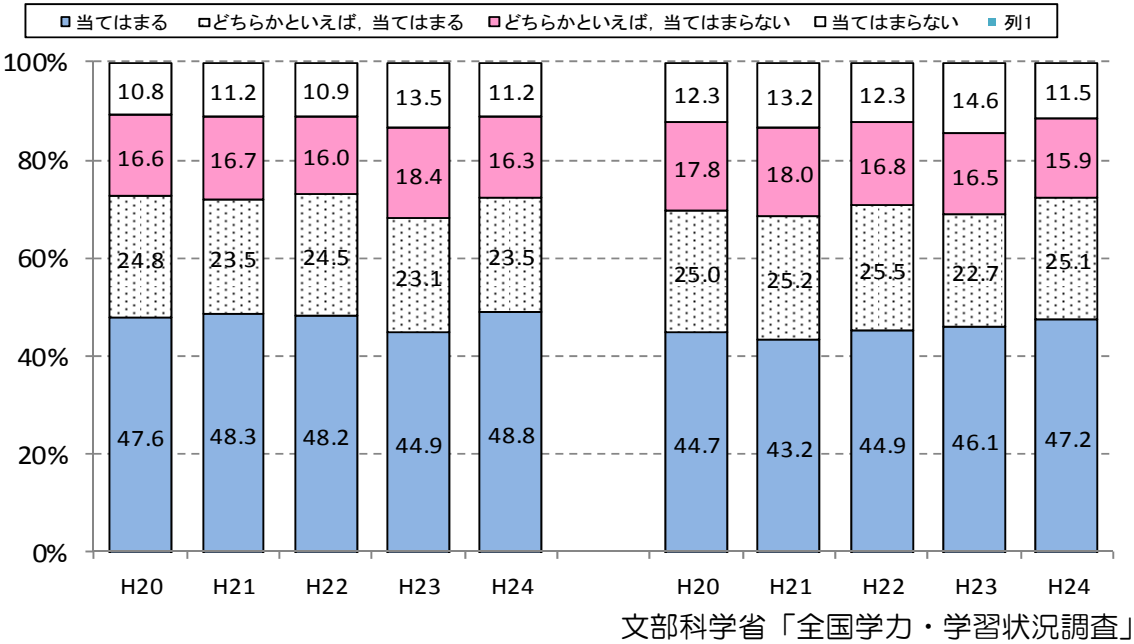


○平成23年度（調査時期が異なる）を除くと、家庭で学校の授業の復習を「している」「どちらかといえば、している」中学校3年の割合が増加している。

I-3-7 読書

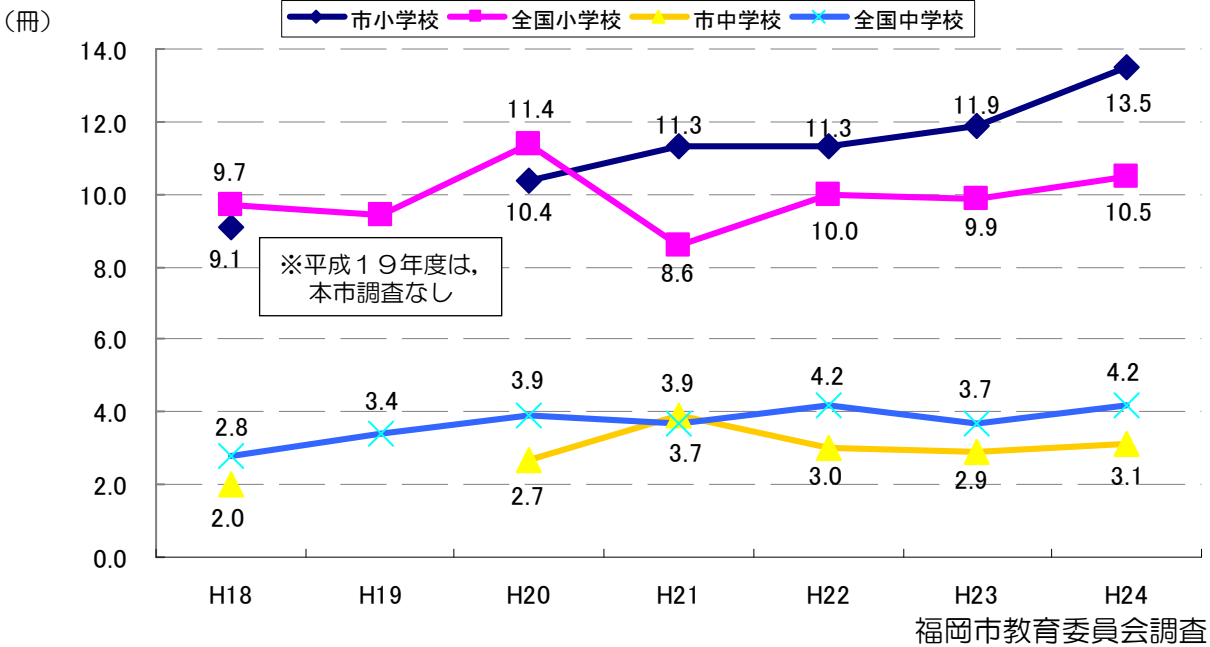
小 6

中 3



○「読書が好き」と回答している小学校6年の割合はほぼ横ばい，中学校3年の割合はわずかに増加傾向にある。

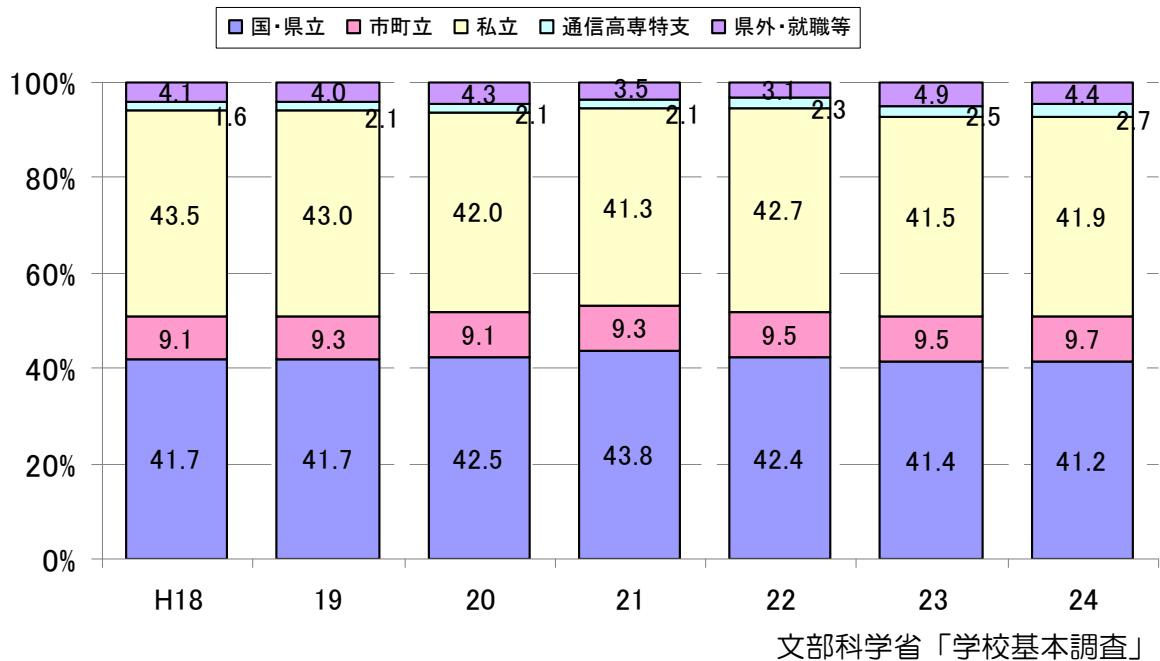
I-3-8 1か月の平均読書冊数（小・中学校）



■本市小学校では全国小学校の1ヶ月平均読書冊数を上回り，増加傾向にある。

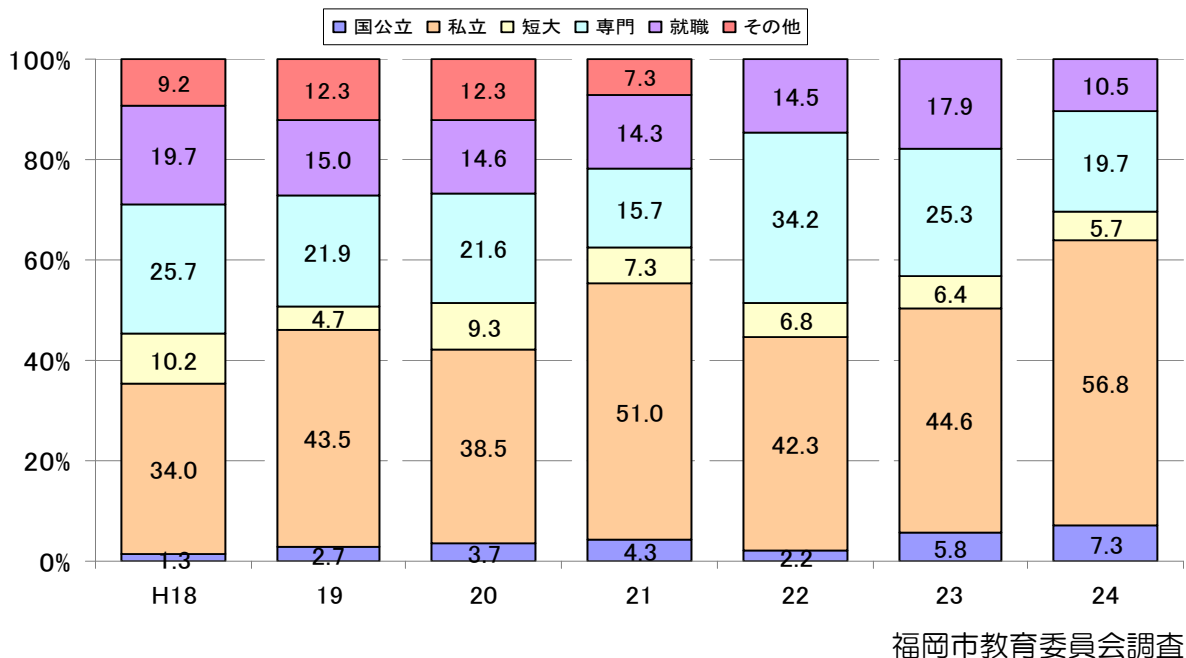
I－4 進路状況

I－4－1 中学校卒業者の進路状況



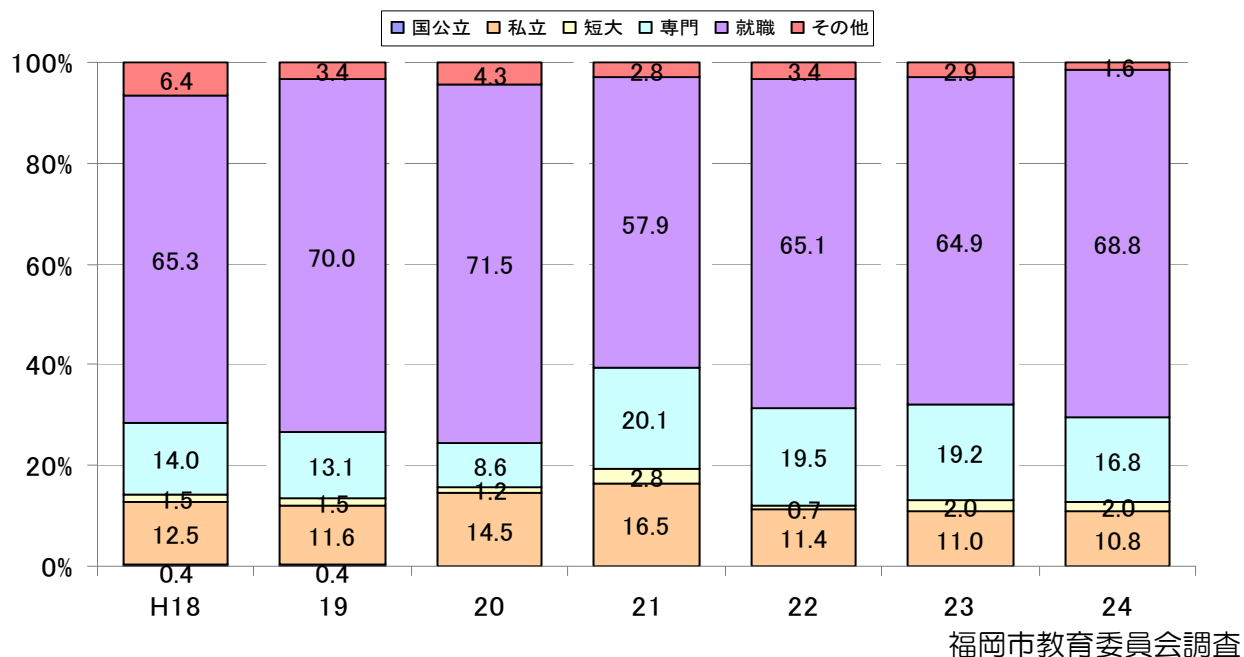
■中学校卒業者の進路状況に、ほとんど大きな変化は見られない。

I－4－2 福岡市立福翔高等学校卒業者の進路状況



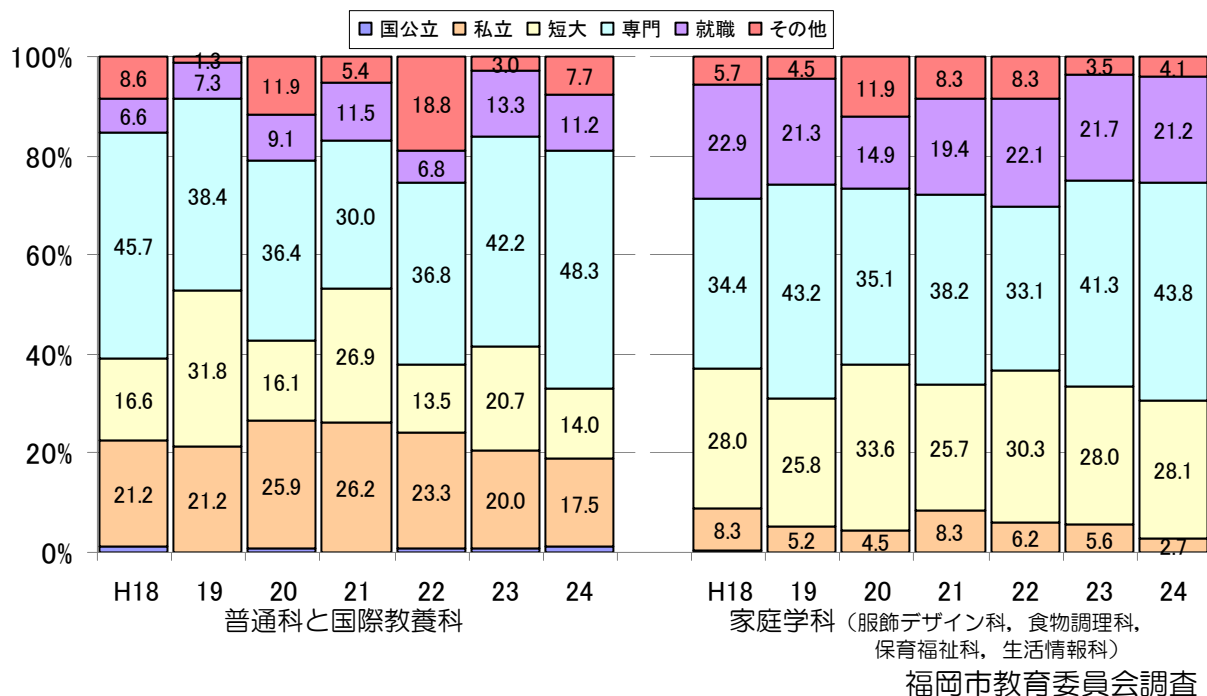
■平成22年度以降、四年制大学（国公立、私立ともに）への進学割合が増加傾向にある。

I-4-3 福岡市立博多工業高等学校卒業者の進路状況



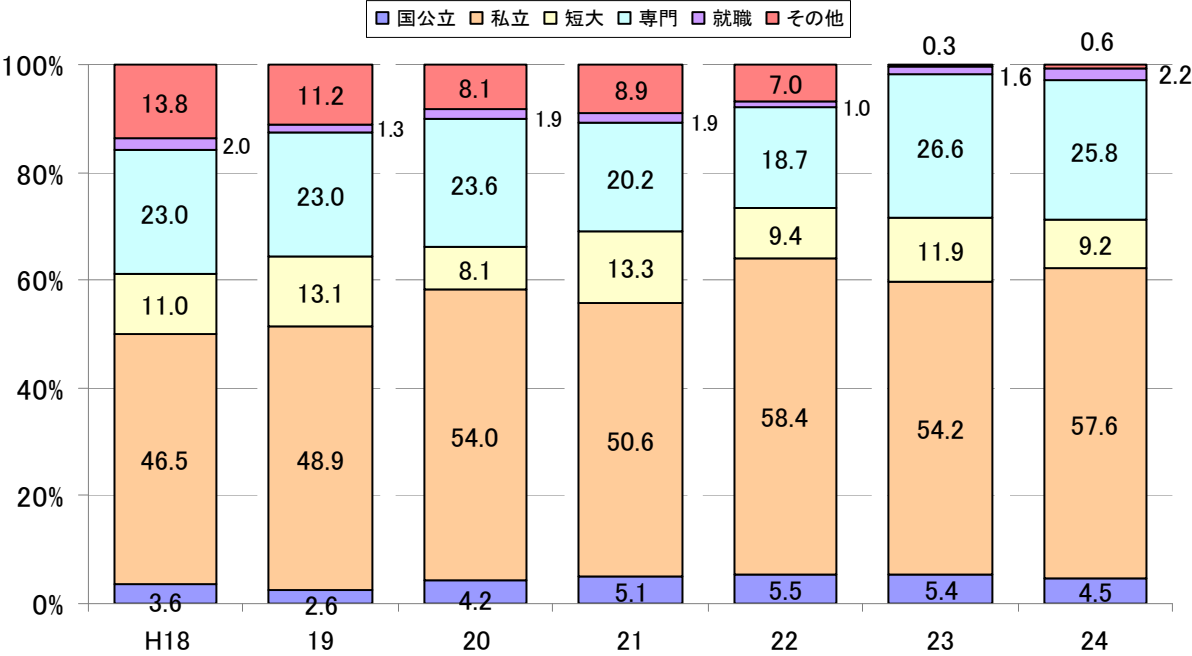
■平成22年度以降、卒業者の進路状況に大きな変化は見られない。

I-4-4 福岡市立福岡女子高等学校卒業者の進路状況



■専門学校への進学割合が増加傾向にある。

I－4－5 福岡市立福岡西陵高等学校卒業者の進路状況



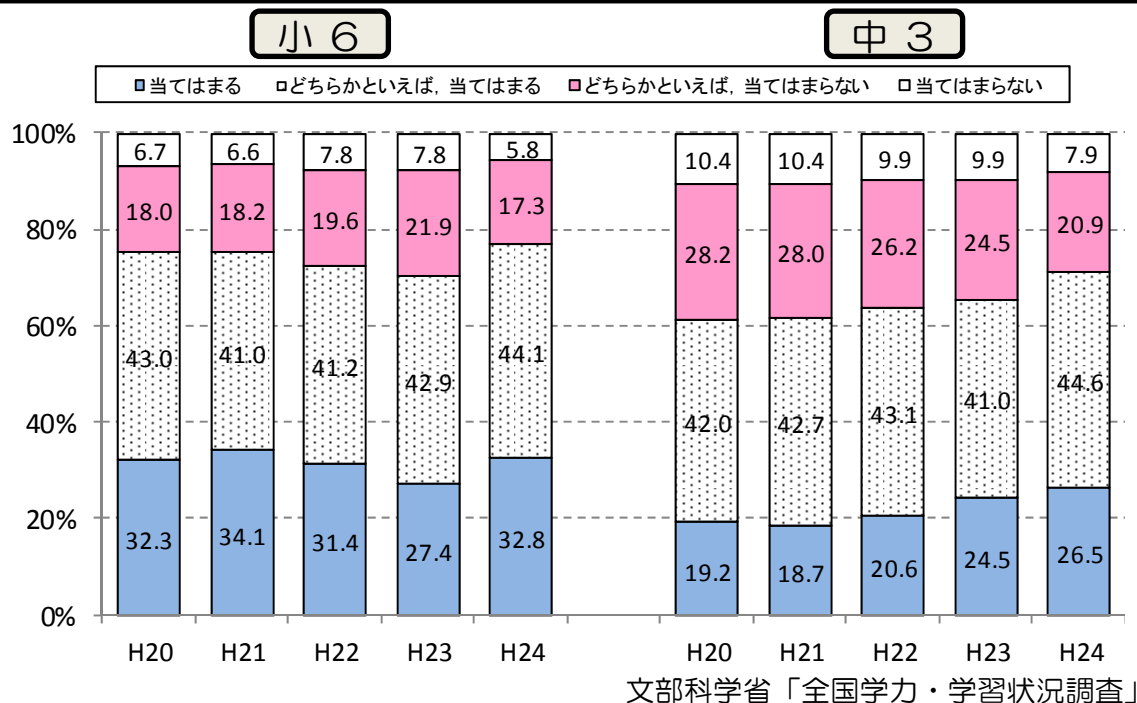
福岡市教育委員会調査

■平成22年度以降，四年制大学（国公立＋私立）への進学割合が約60%前後で推移している。



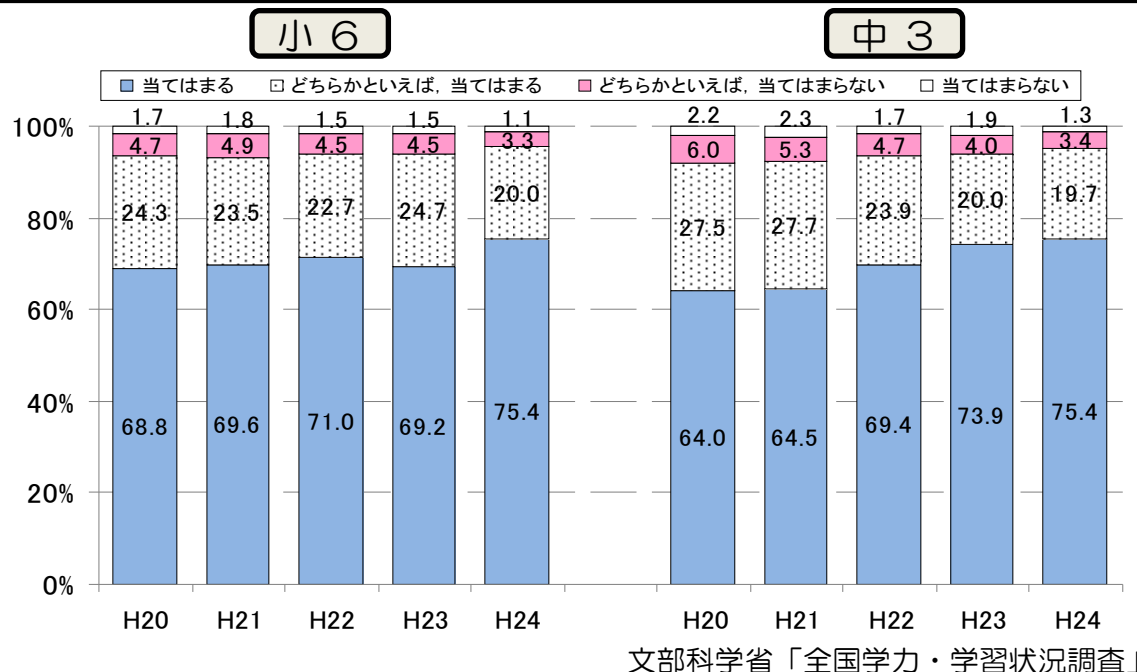
I-5 自尊意識・規範意識

I-5-1 自分のよさ



○「自分にはよいところがある」と思っている小学校6年，中学校3年の割合は，ともに増加傾向にある。

I-5-2 人の役に立つ人間への志向

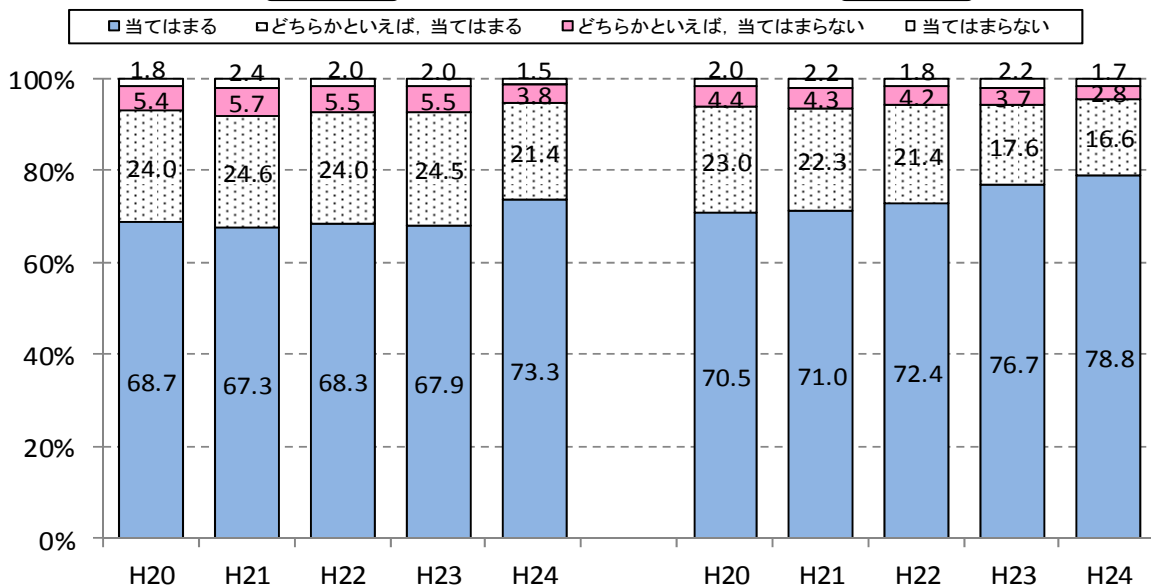


○「人の役に立つ人間になりたい」小学校6年，中学校3年の割合は，ともに増加傾向にある。

I-5-3 人の気持ちがわかる人間への志向

小 6

中 3



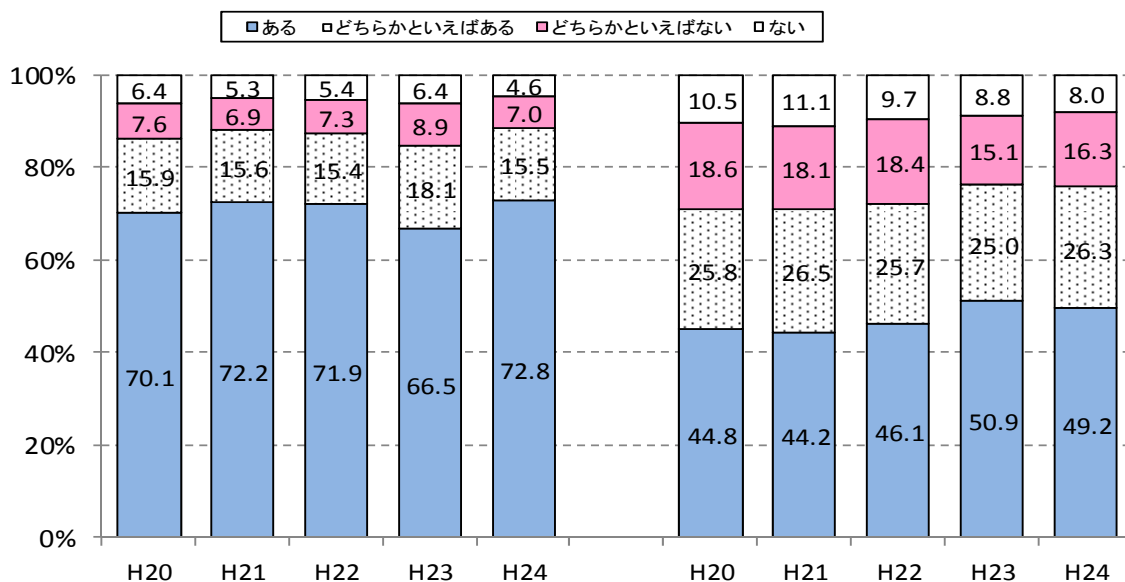
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○「人の気持ちがわかる人間になりたい」小学校6年，中学校3年の割合は，ともに増加傾向にある。

I-5-4 将来の夢や目標

小 6

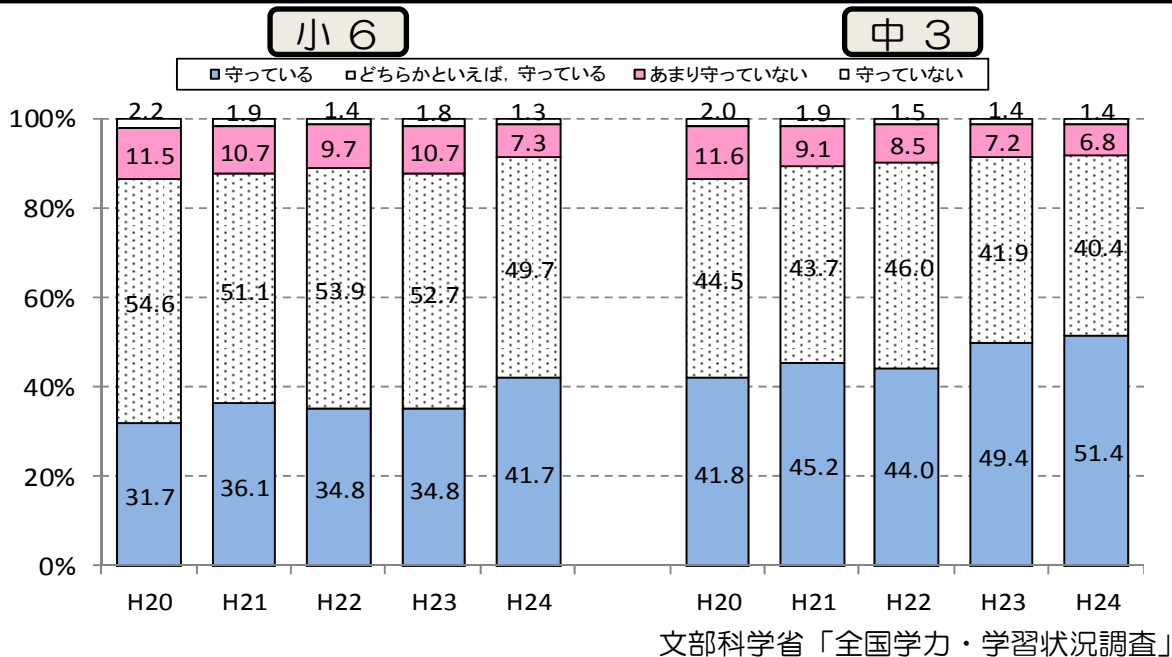
中 3



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

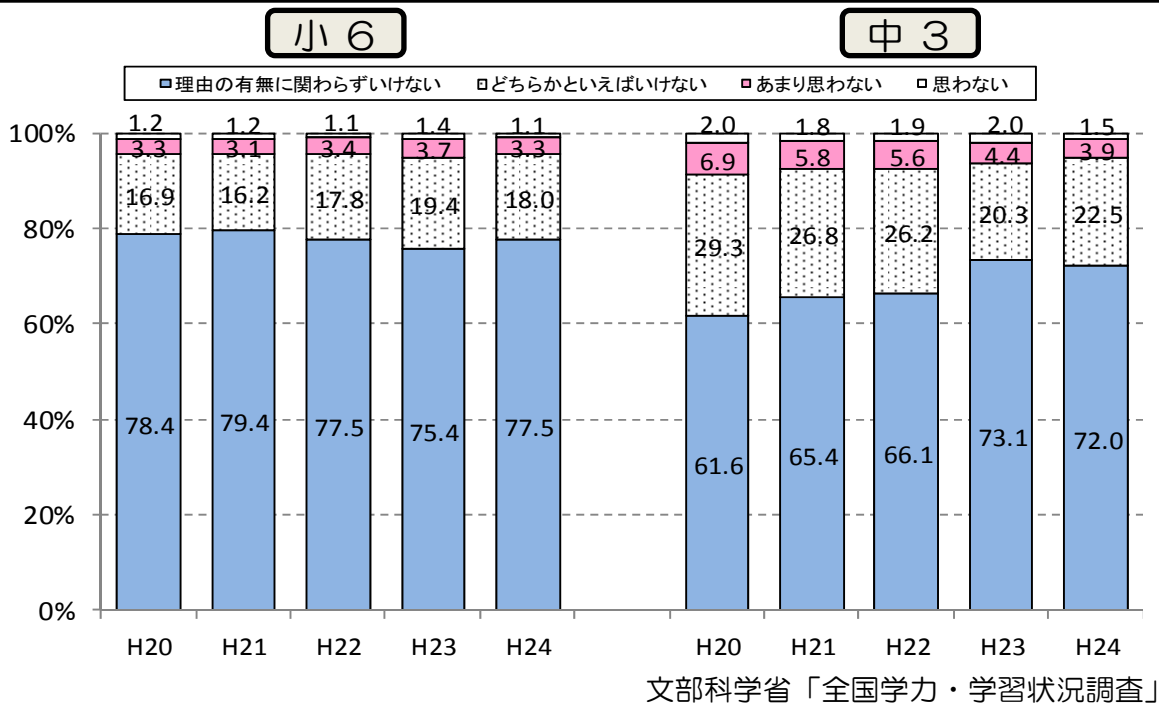
○「将来の夢や目標を持っている」小学校6年，中学校3年の割合は，ともに増加傾向にある。

I-5-5 学校のきまりの順守



○「学校のきまりを守っている」と回答した小学校6年，中学校3年の割合は，増加傾向にある。

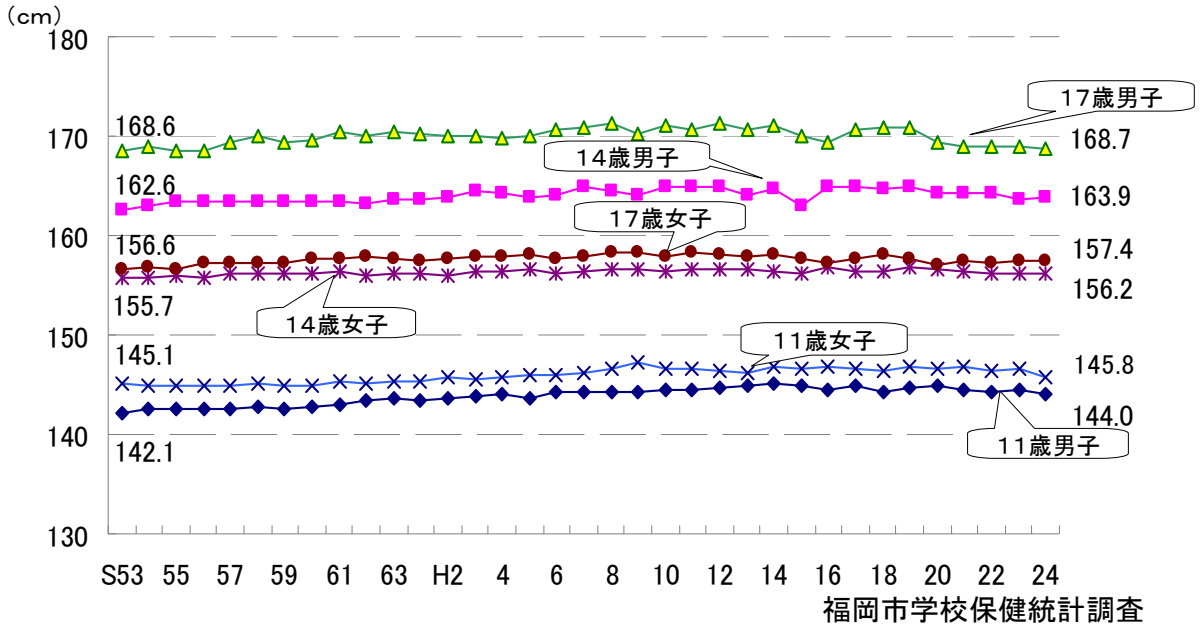
I-5-6 いじめの認識



○「いじめは理由の有無に関わらずいけないことである」と回答した中学校3年の割合は増加傾向にある。

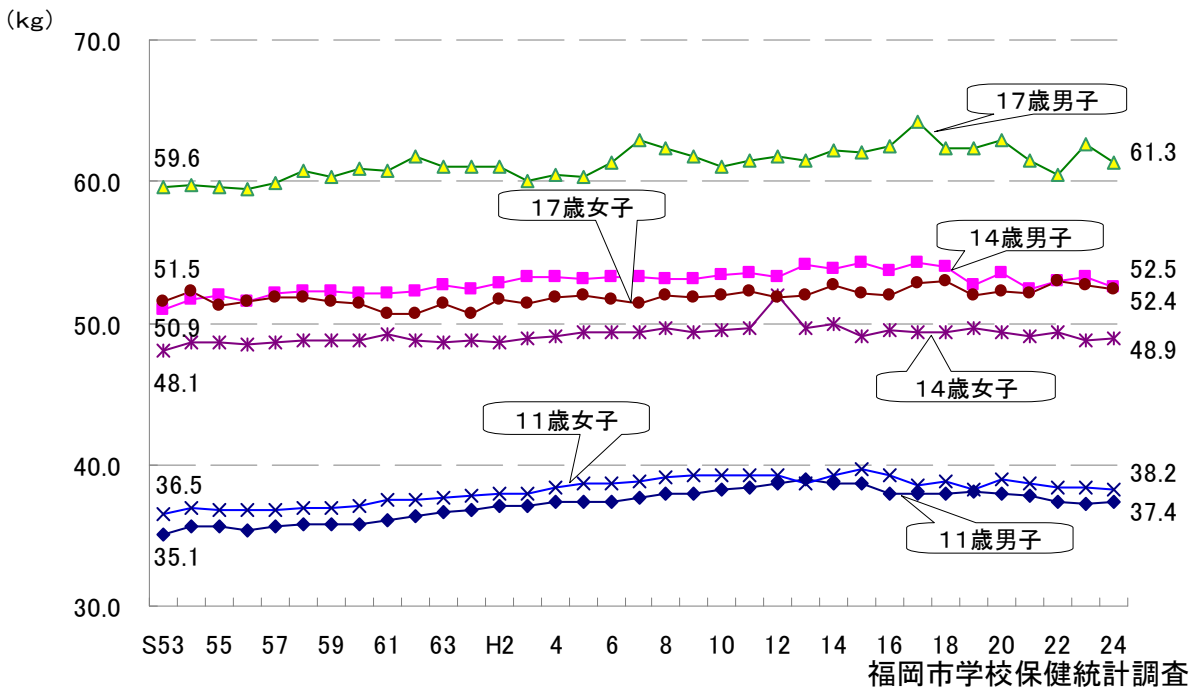
I－6 体格・疾病

I－6－1 平均身長の推移



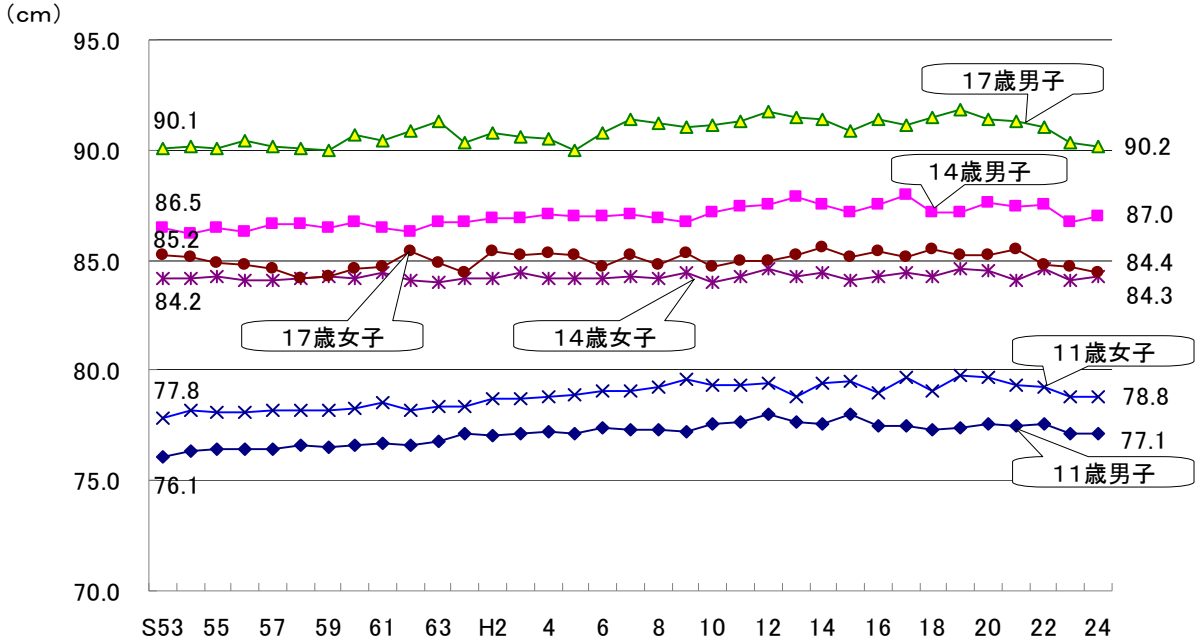
■どのグループも、ほとんど変化なく推移している。

I－6－2 平均体重の推移



■どのグループも増加傾向にあったが、ここ数年は若干減少している。

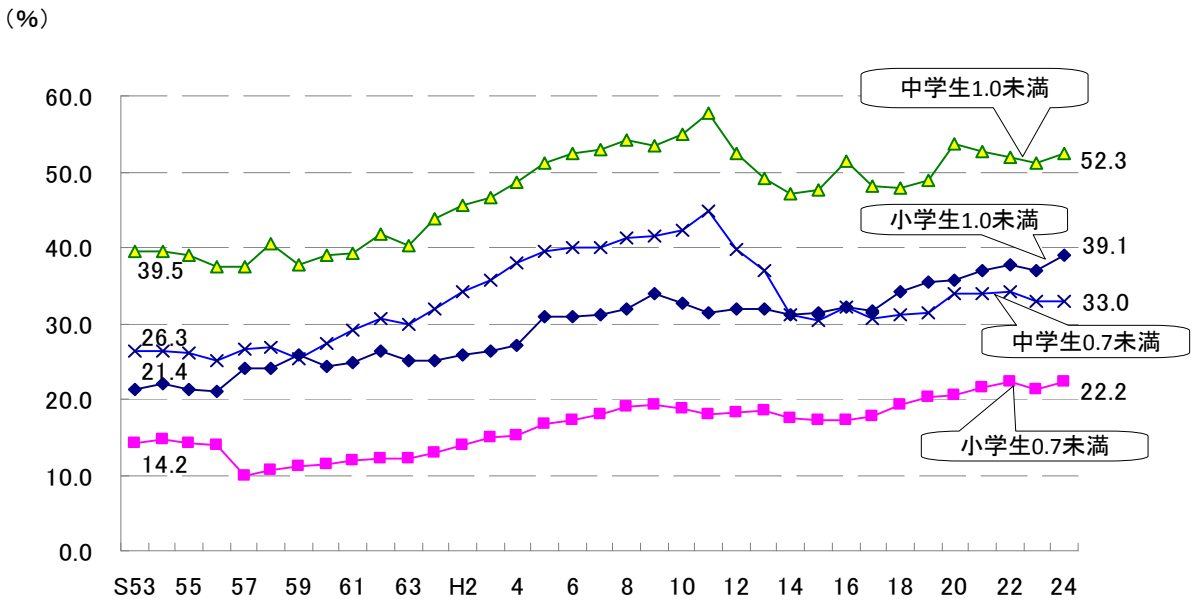
I-6-3 平均座高の推移



福岡市学校保健統計調査

■どのグループも、ほとんど変化なく推移している。

I-6-4 裸眼視力(小・中学生)

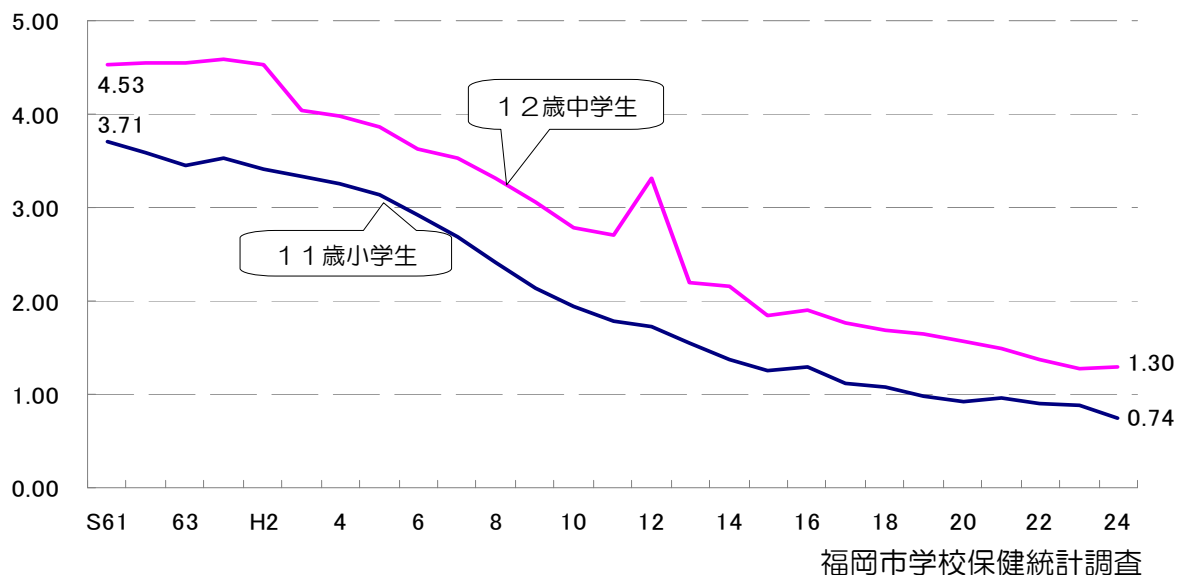


福岡市学校保健統計調査

■ここ数年は、中学生の割合がわずかに減少傾向にある。

I-6-5 DMF指数（小・中学生）

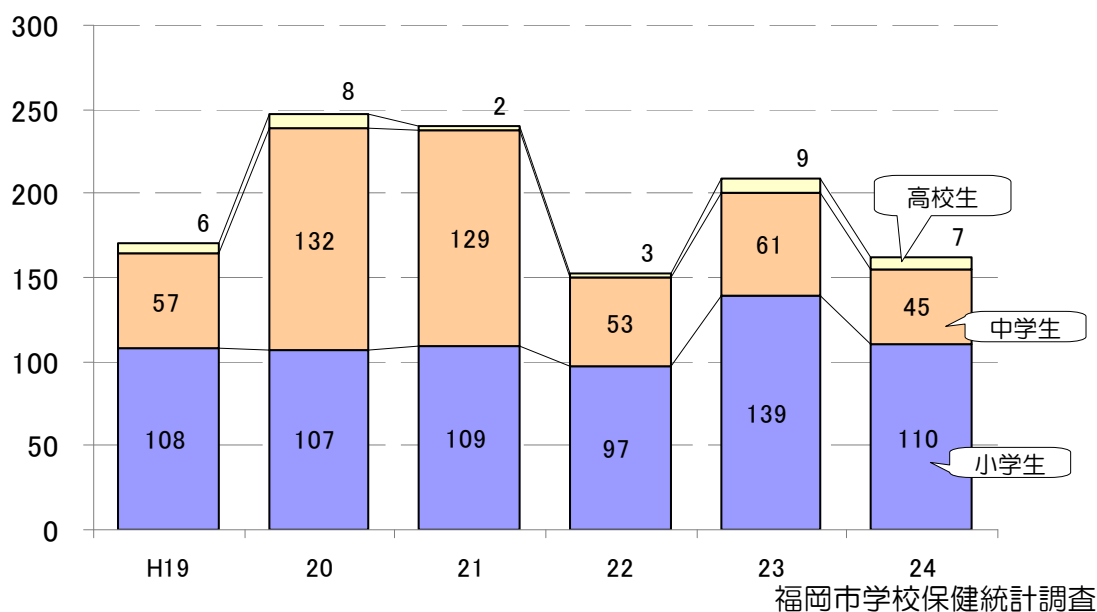
※DMF指数・・・子ども一人における永久歯の虫歯の本数（処置されたものも含む）



■ 11歳小学生・12歳中学生とも一貫して減少傾向にある。

I-6-6 保健室登校の人数（小学生・中学生・高校生）

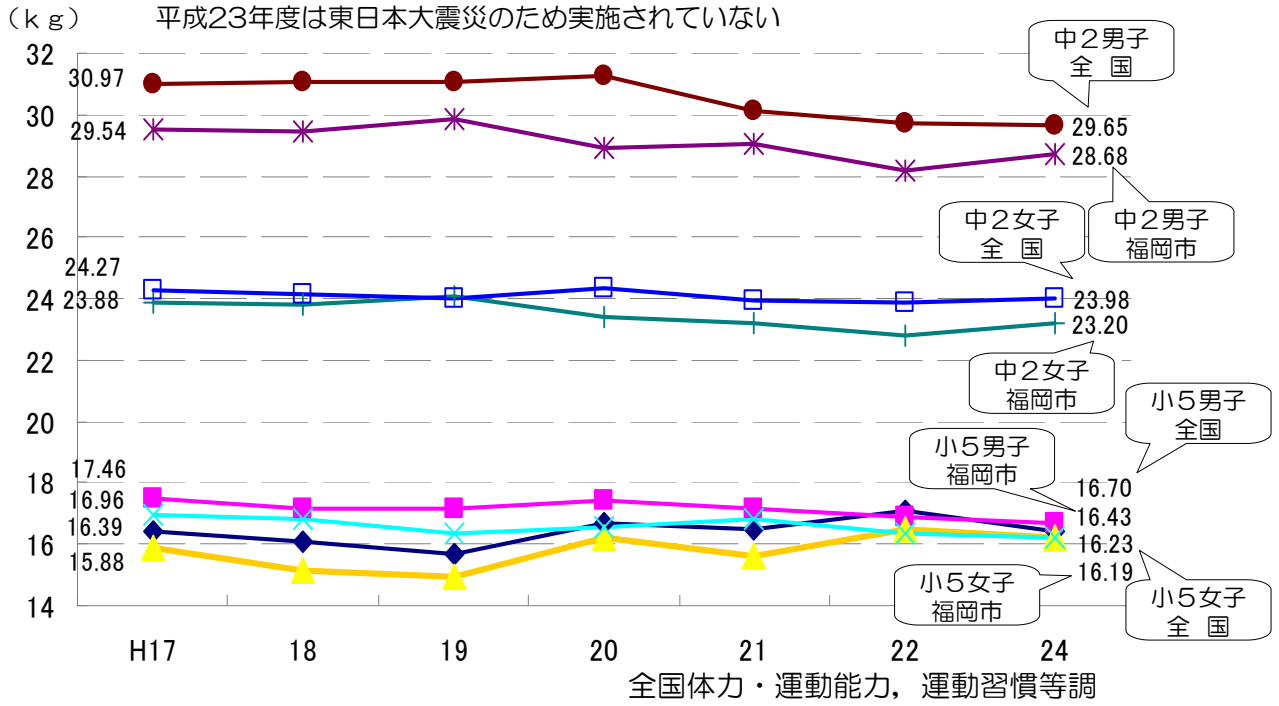
※高校生には、特別支援学校高等部を含む



■ 平成23年度の高校生の保健室登校の人数は、小・中・高校生ともに増加傾向となっている。

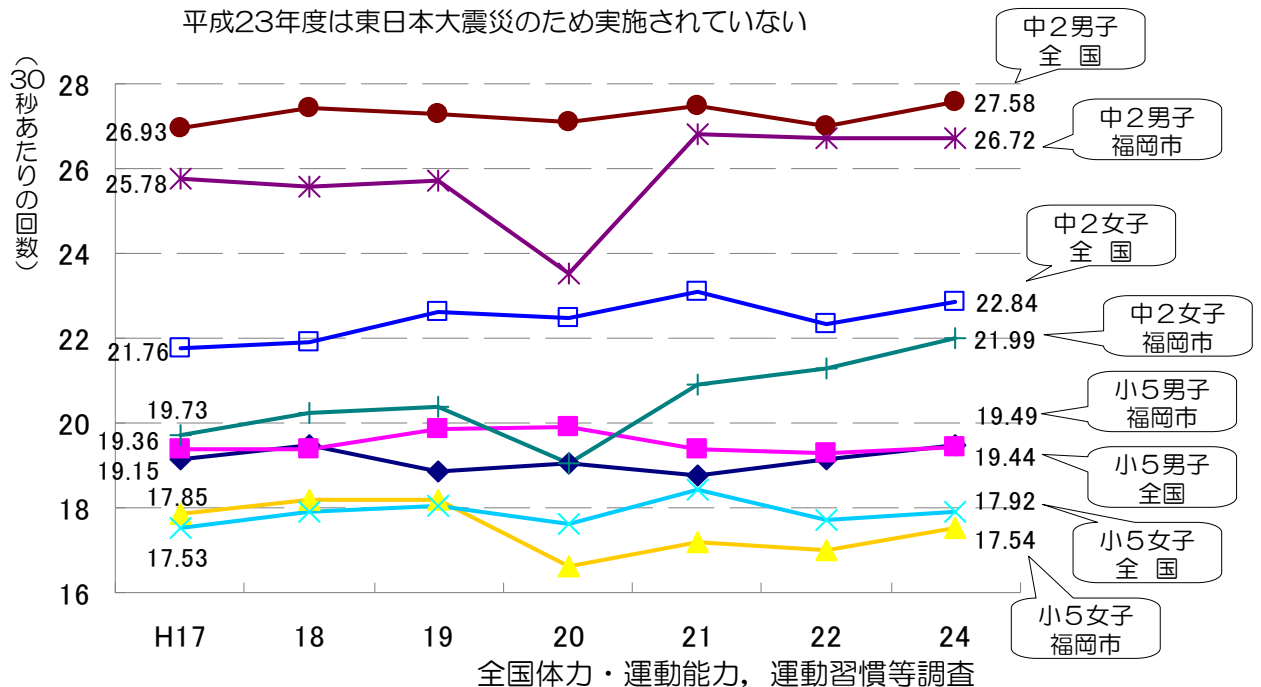
I-7 体力・運動能力

I-7-1 握力の推移（筋力）



■全体にほぼ横ばい傾向にある。いずれも全国平均をわずかに下回っている。

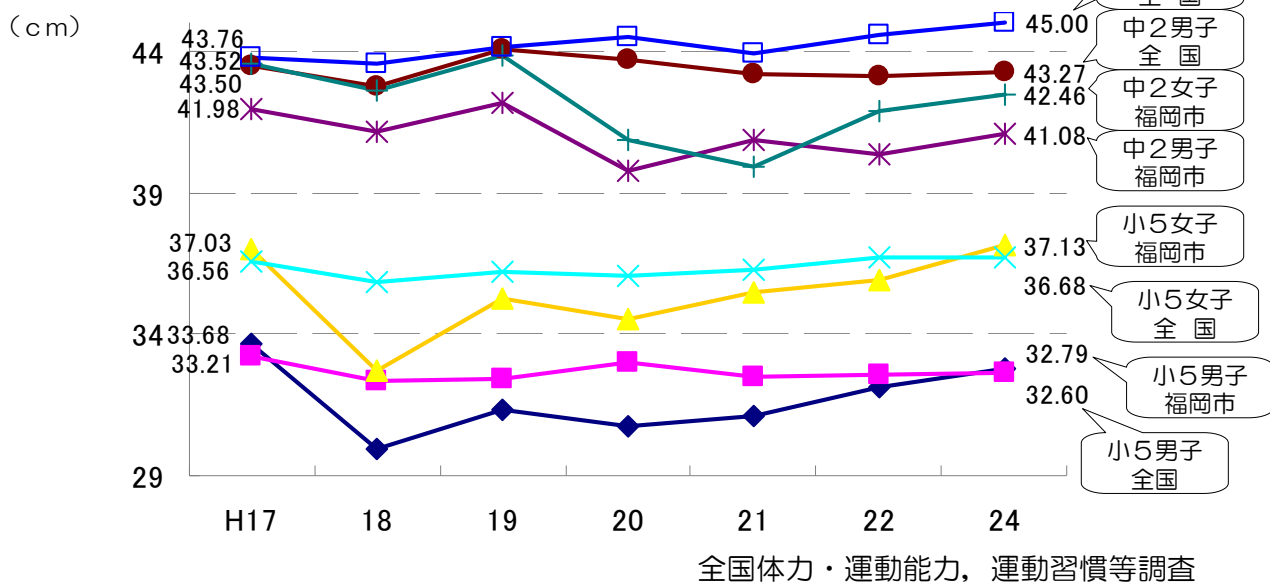
I-7-2 上体おこしの推移（筋持久力・筋力）



■近年，本市の中2女子の平均が向上傾向にある。小5男女及び中2男子の平均は，ほぼ横ばい傾向である。

I-7-3 長座体前屈の推移（柔軟性）

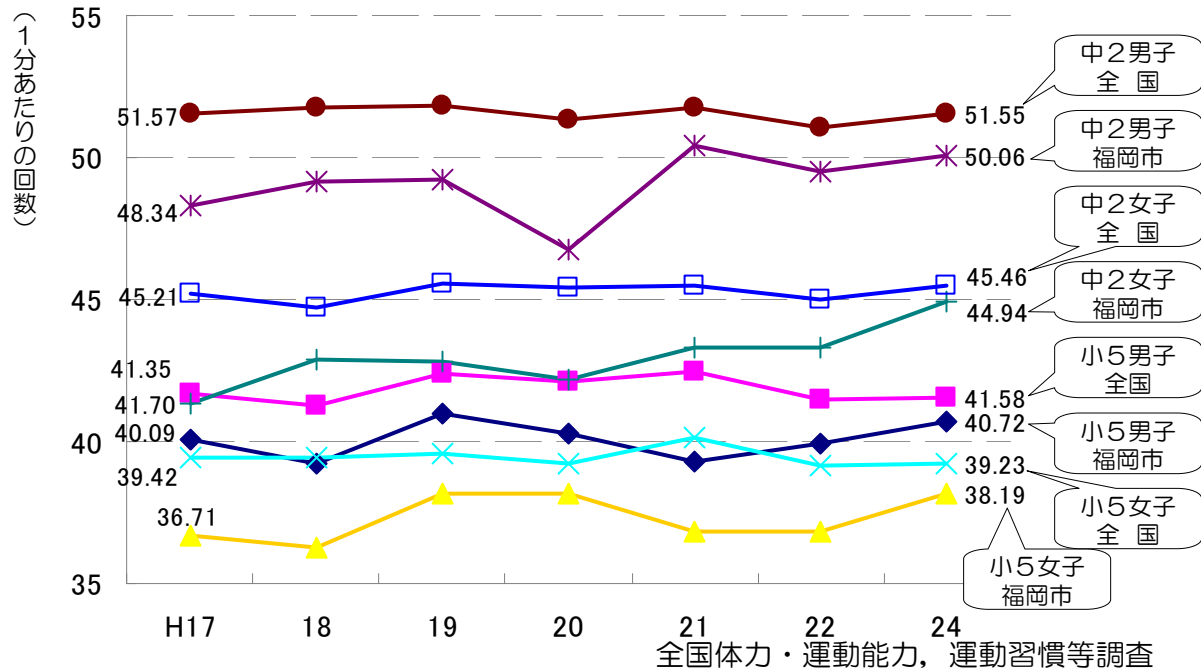
平成23年度は東日本大震災のため実施されていない



■小5女子が全国平均を上回っている。小5男子及び中2男女も全国平均を下回ってはいるが，向上傾向にある

I-7-4 反復横跳びの推移（敏捷性）

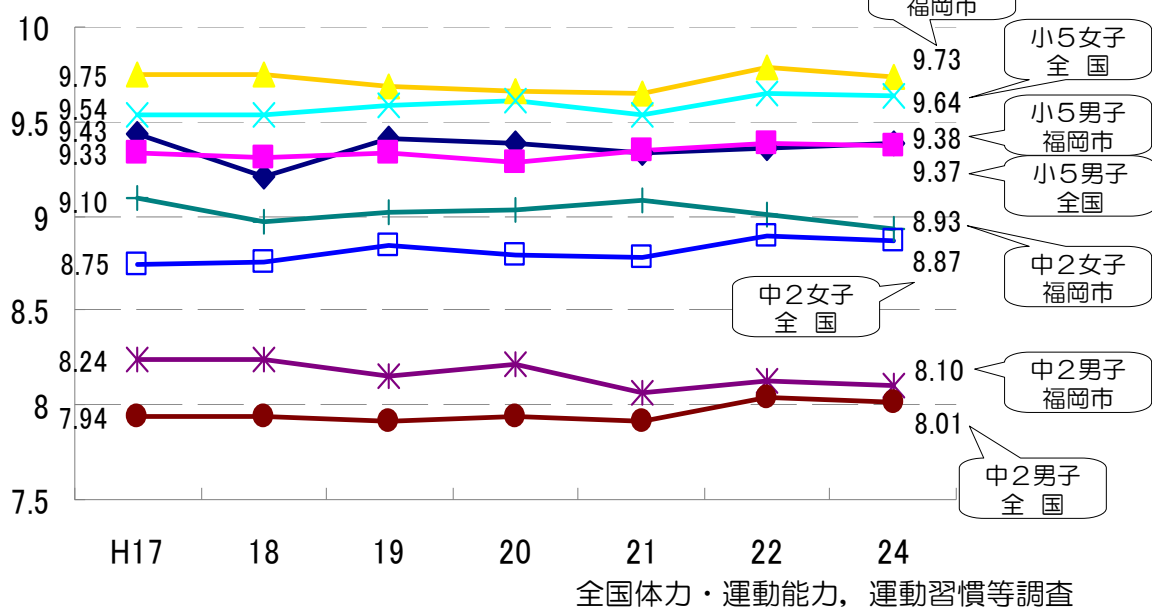
平成23年度は東日本大震災のため実施されていない



■どの学年も全国平均を下回っているが，近年向上傾向にあり，その差は小さくなってきている。

Iー7ー5 50メートル走の推移（スピード）

（秒） 平成23年度は東日本大震災のため実施されていない

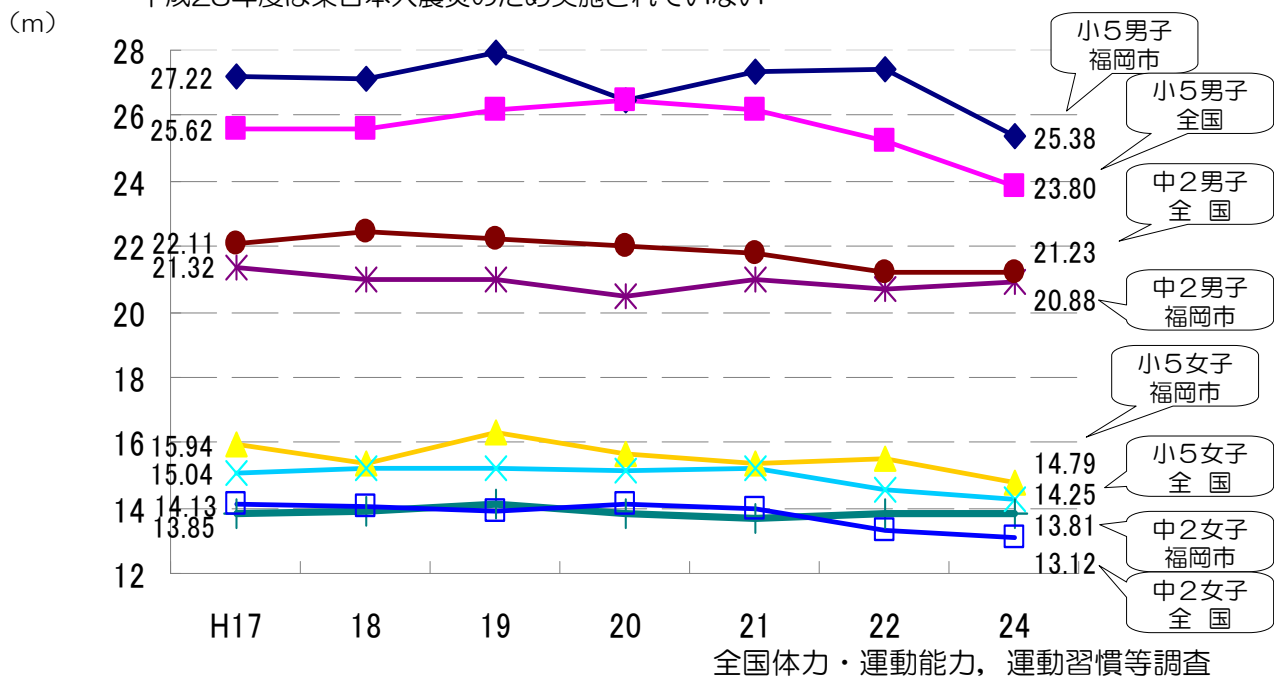


■どの学年も全国平均を下回っているが、近年その差は小さくなってきている。

Iー7ー6 ソフトボール（小）・ハンドボール（中）投げの推移

（巧緻性・筋パワー）

平成23年度は東日本大震災のため実施されていない



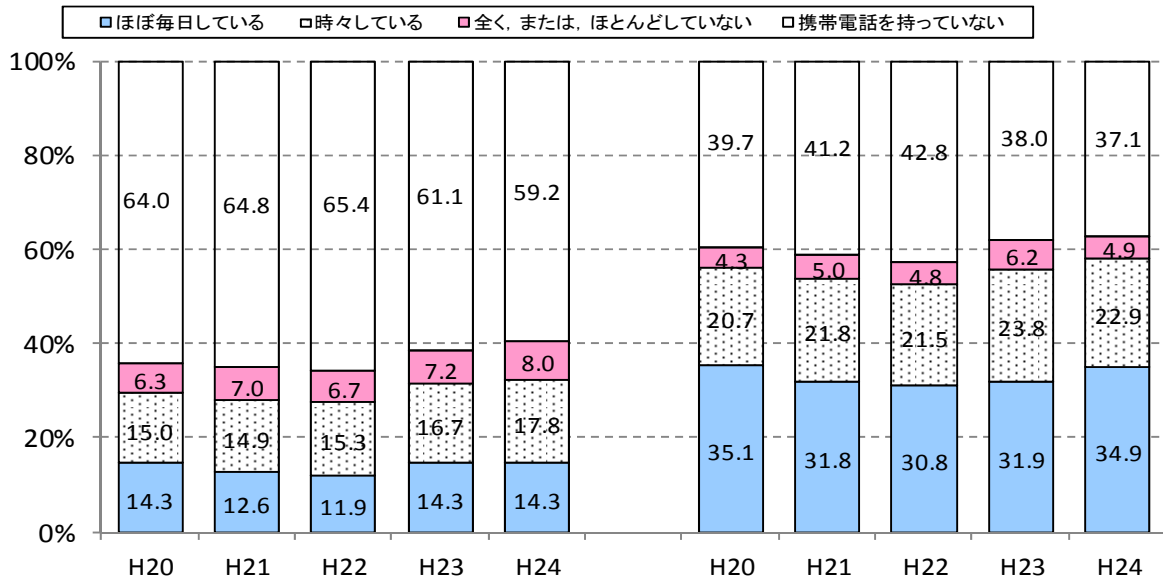
■近年、全体にやや低下傾向にある。小5男子・女子、中2女子は、全国平均を上回っている。

I-8 メディアとの接触

I-8-1 携帯電話の使用状況（通話やメール）

小 6

中 3



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

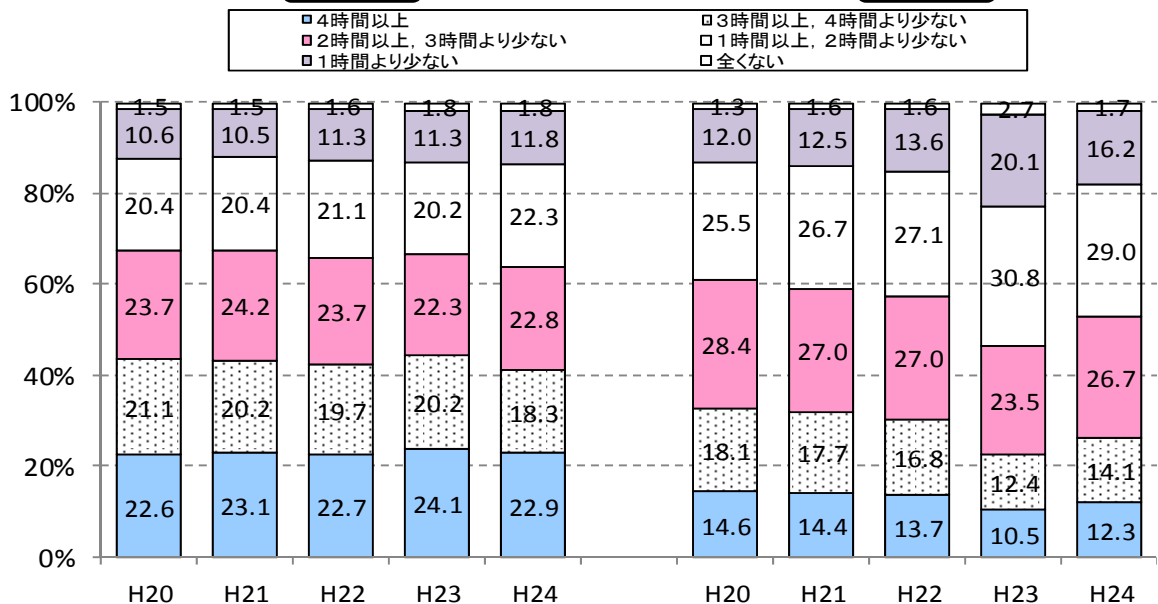
■「携帯電話を持っていない」小学校6年，中学校3年の割合は，ともに減少傾向にある。

I-8-2 普段（月～金曜日）のテレビ・ビデオ等の視聴時間

小 6

※テレビゲームをする時間は除く

中 3

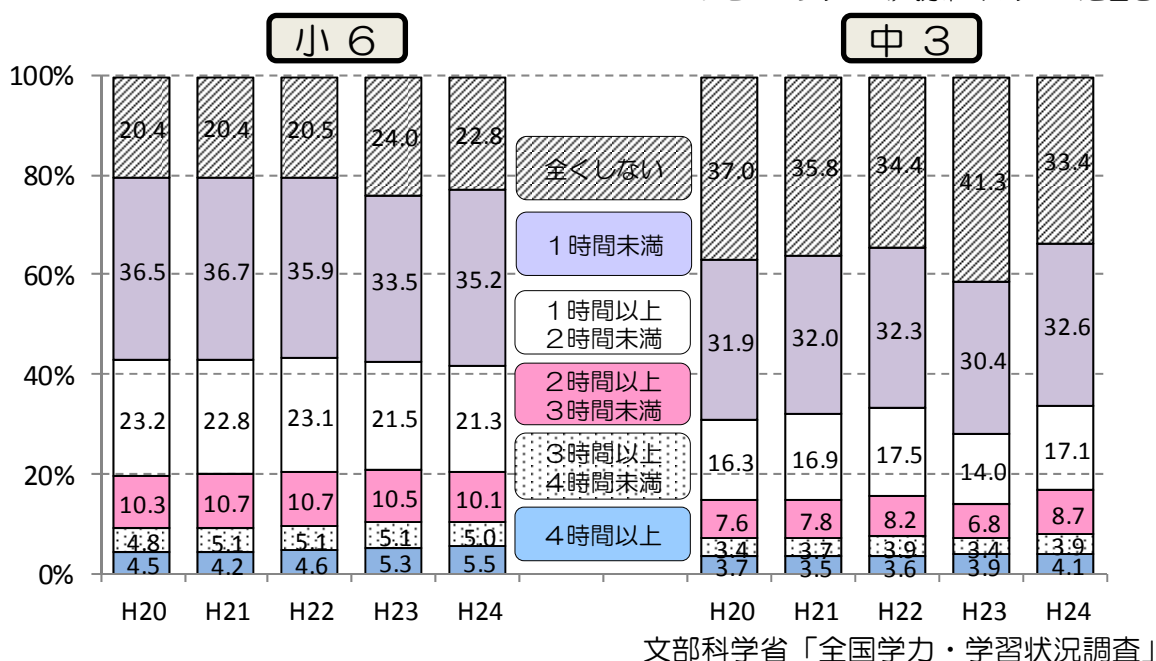


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■2時間以上視聴している小学校6年，中学校3年の割合は，ともに減少傾向にある。

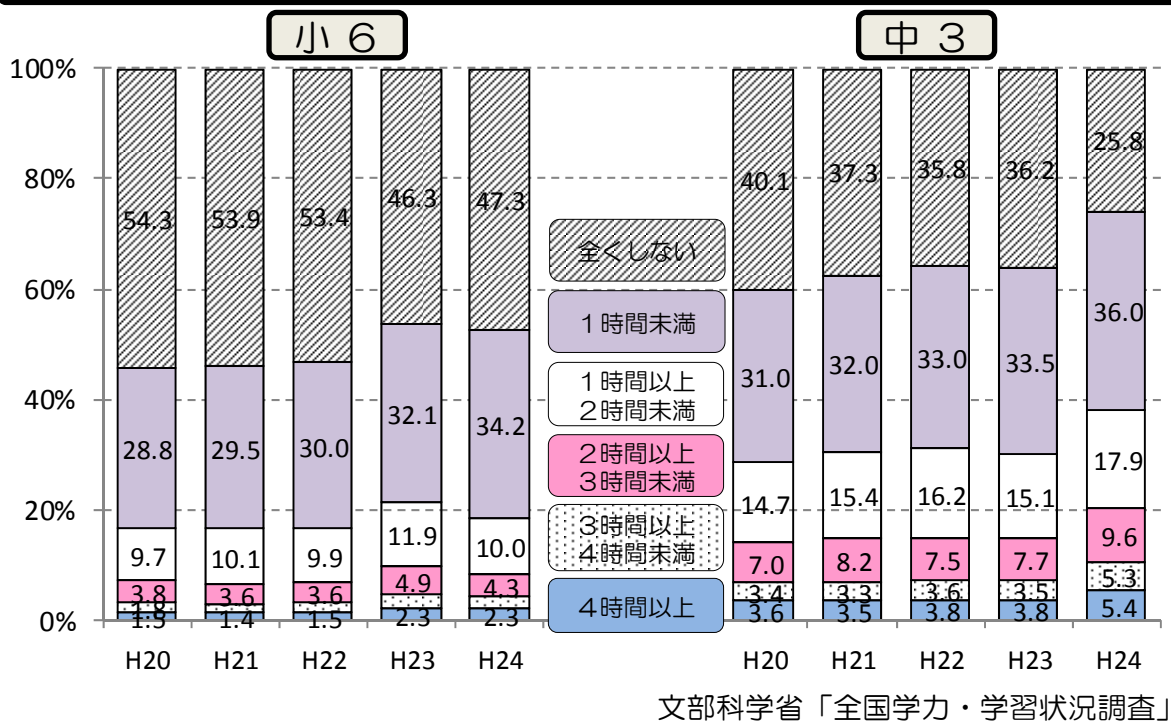
I-8-3 普段（月～金曜日）のテレビゲーム時間

※コンピュータゲーム、携帯性のゲームを含む



○平成23年度（調査時期が異なる）を除き、大きな変化は見られない。

I-8-4 普段（月～金曜日）のインターネット時間

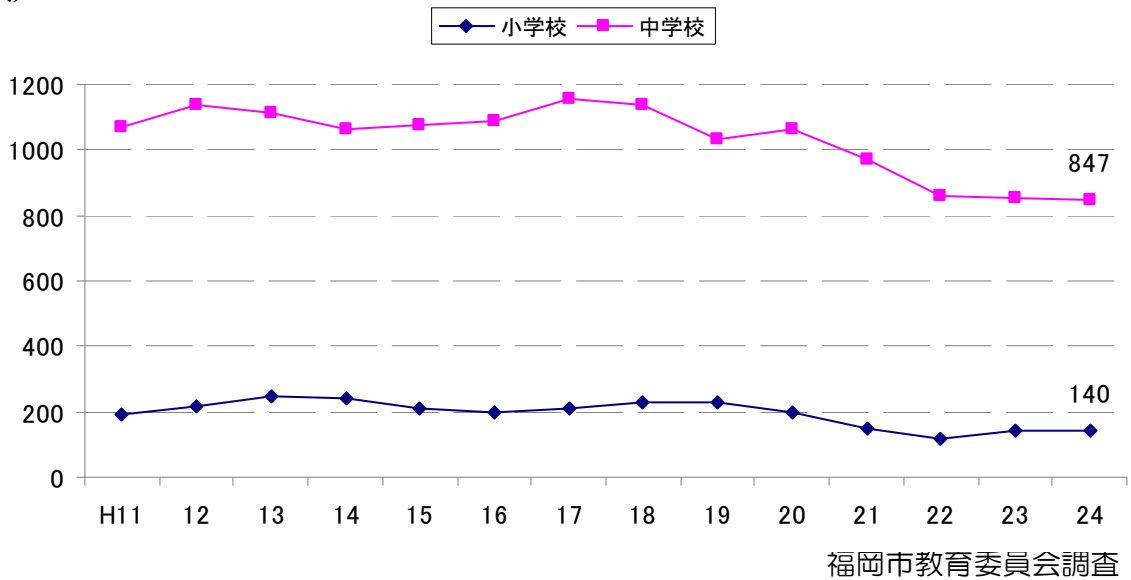


■「全くしない」小学校6年，中学校3年の割合は，ともに減少傾向にある。

I-9 不登校・いじめ・暴力行為

I-9-1 不登校児童生徒数（年間30日以上欠席）

(人)

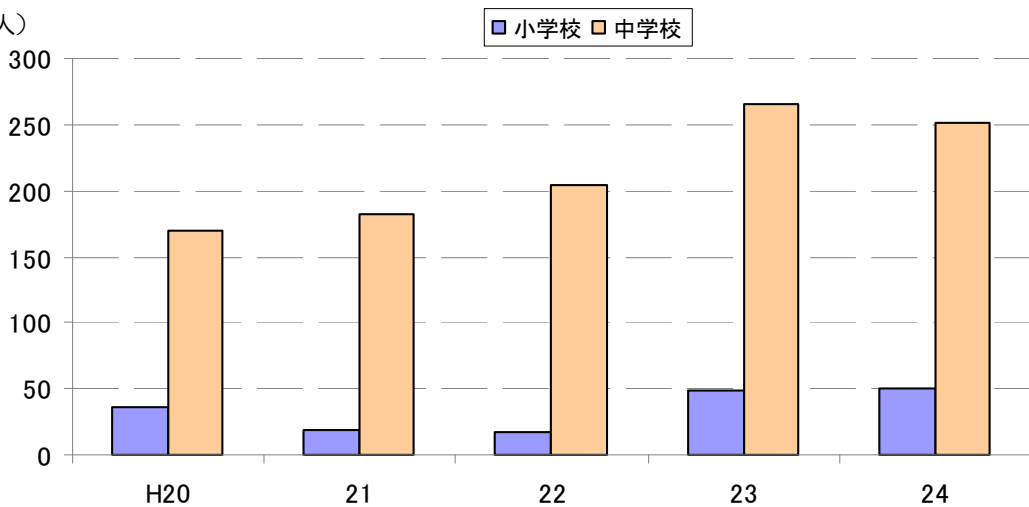


■不登校生徒数は、小・中学校ともに減少傾向にあるが、近年ほぼ横ばいとなっている。

I-9-2 不登校児童生徒の復帰の状況

復帰とは・・・指導の結果、登校する又は登校できるようになった児童生徒
個々の児童生徒の状況に応じて継続的に登校できるようになったと認められる者を復帰とする

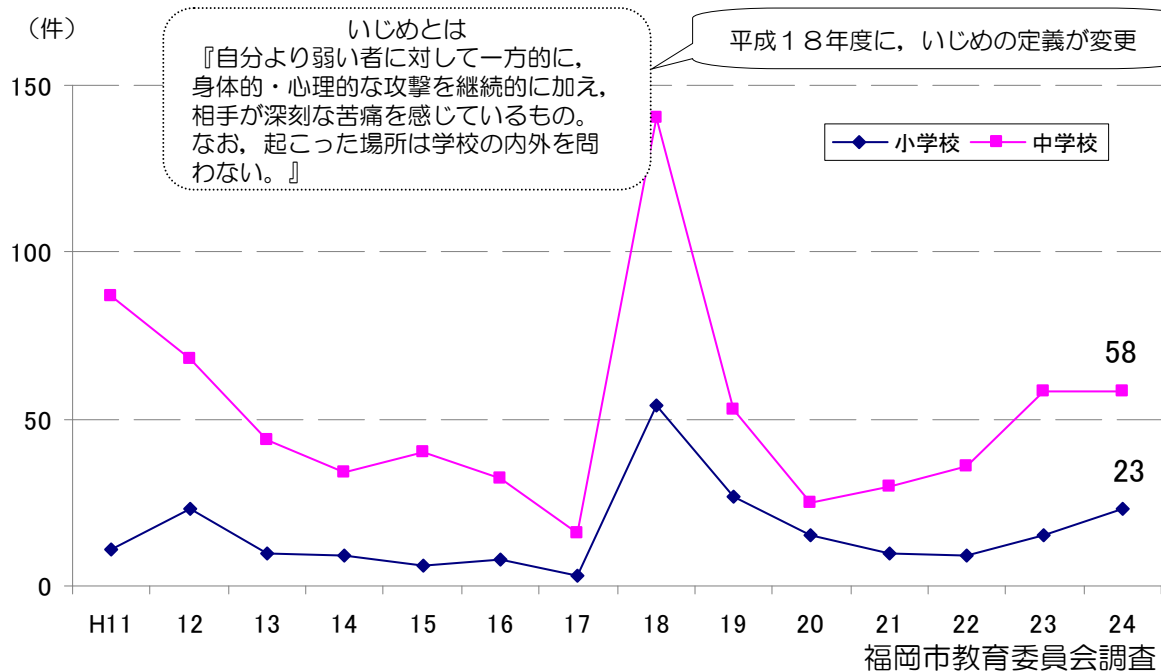
(人)



福岡市教育委員会調査

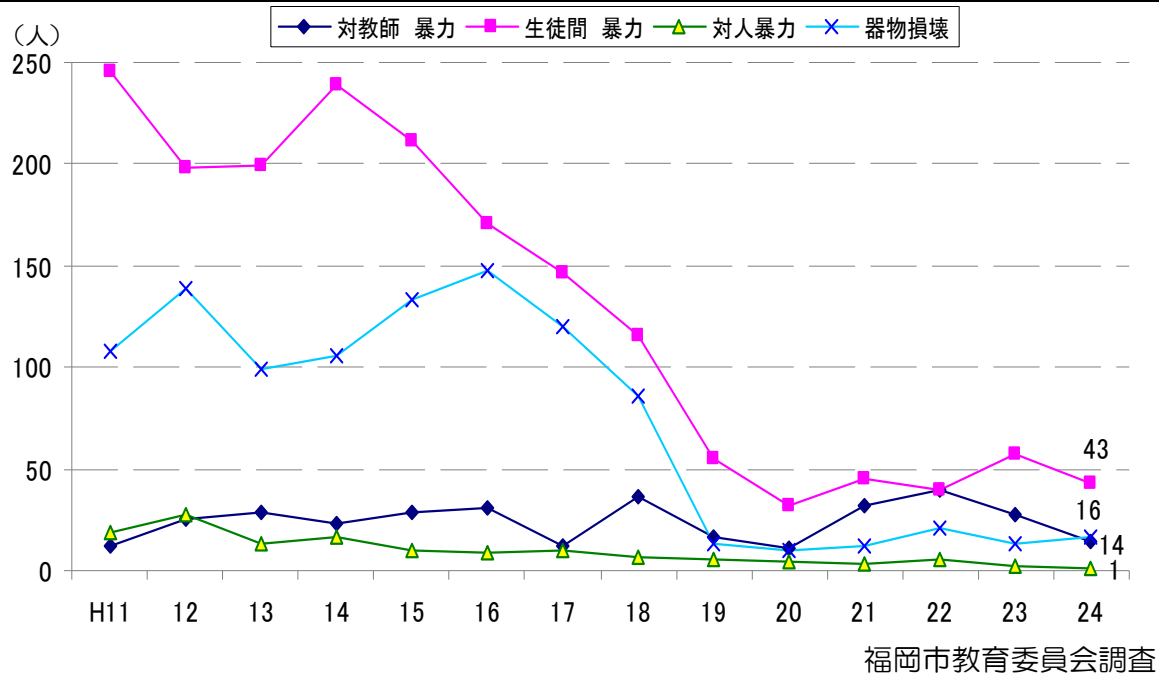
■不登校児童生徒の復帰は、小・中学校ともに増加傾向にある。

I-9-3 いじめの発生状況（認知件数）



■平成18年度にいじめの定義が変更された時点では増加したが、平成19年度には減少した。ここ数年は、小、中学校ともに増加傾向にある。

I-9-4 暴力行為の発生状況（小・中学校）

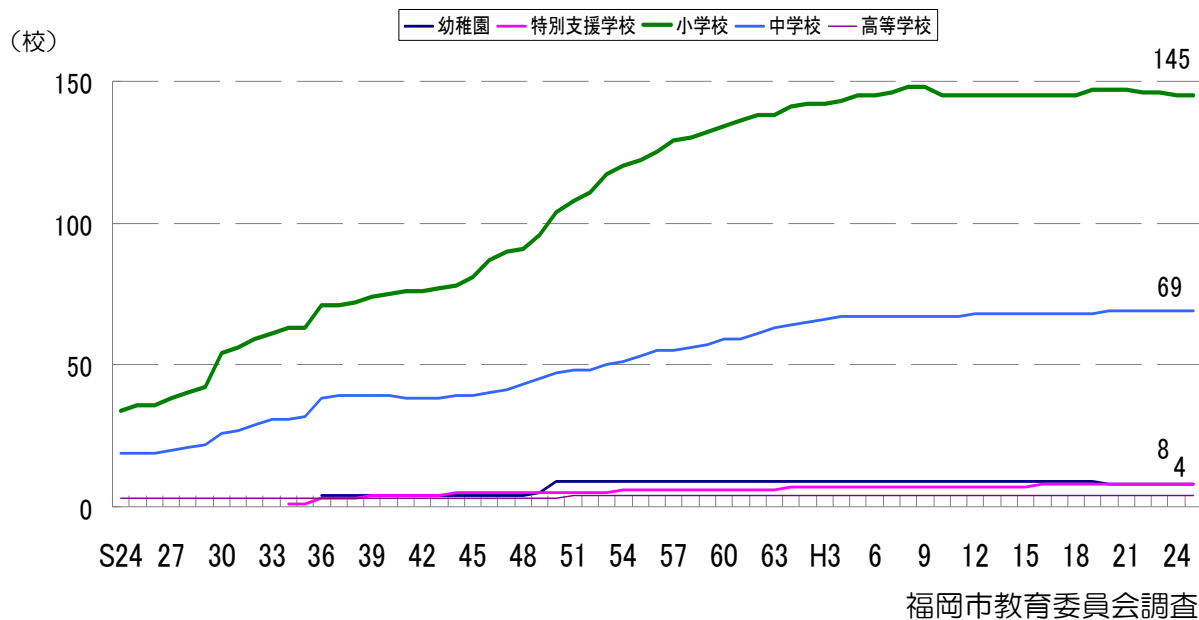


■ここ数年、暴力行為の発生は低い水準で推移している。

Ⅱ 学 校

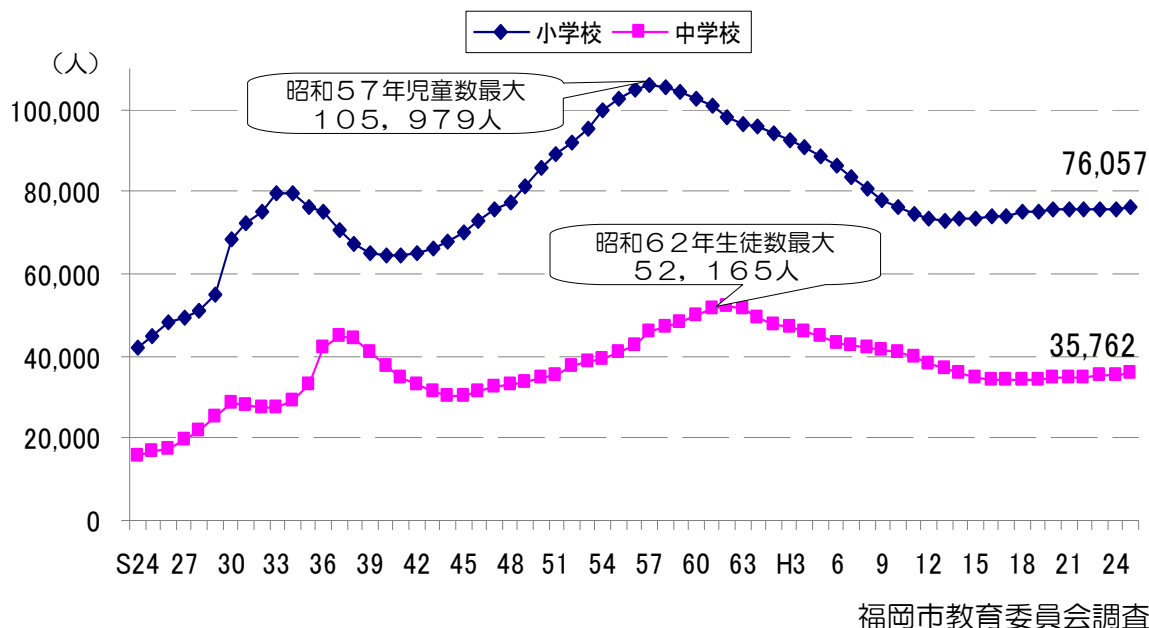
Ⅱ－１ 学校数等

Ⅱ－１－１ 学校数の推移



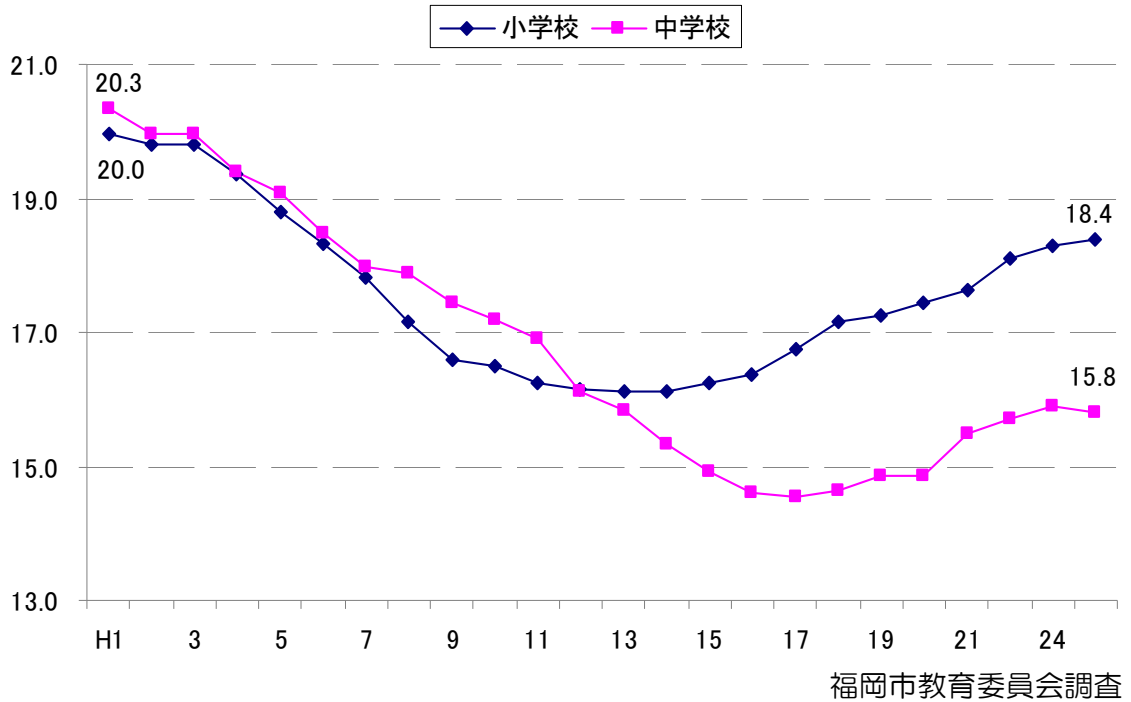
■市立学校は、幼稚園8（休園を含む）、特別支援学校8、小学校145、中学校69、高等学校4となっている。

Ⅱ－１－２ 児童生徒数の推移



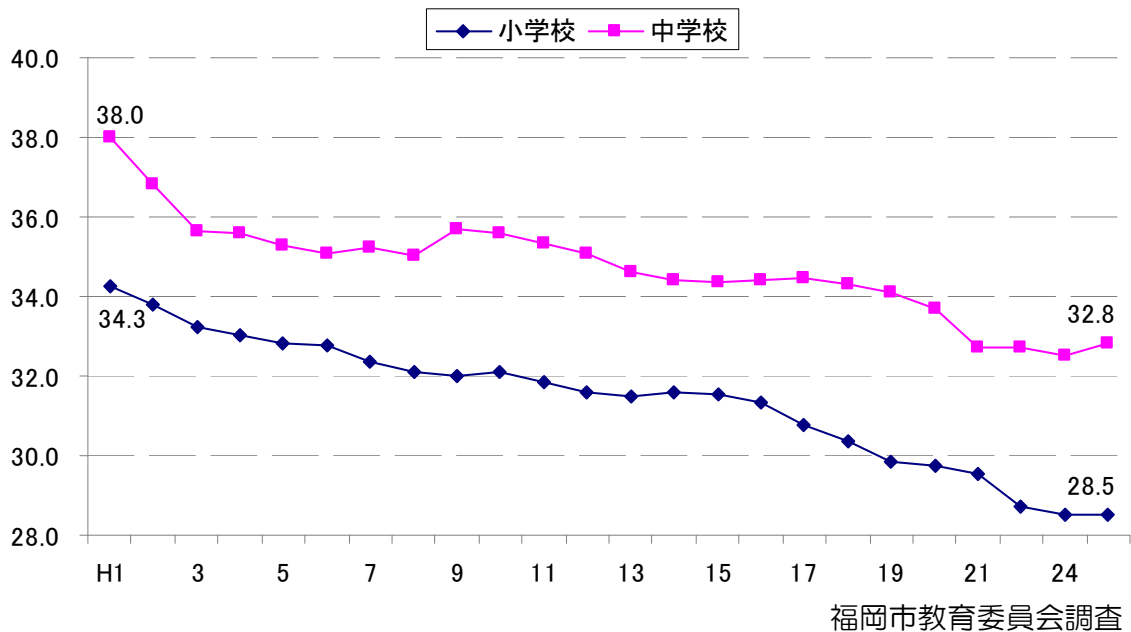
■児童生徒数は、小学校が昭和57年、中学校が昭和62年をピークに減少傾向となっていたが、近年は、ほぼ横ばいとなっている。

Ⅱ－１－３ １校あたりの学級数の推移



■近年、小学校、中学校ともに増加傾向にある。

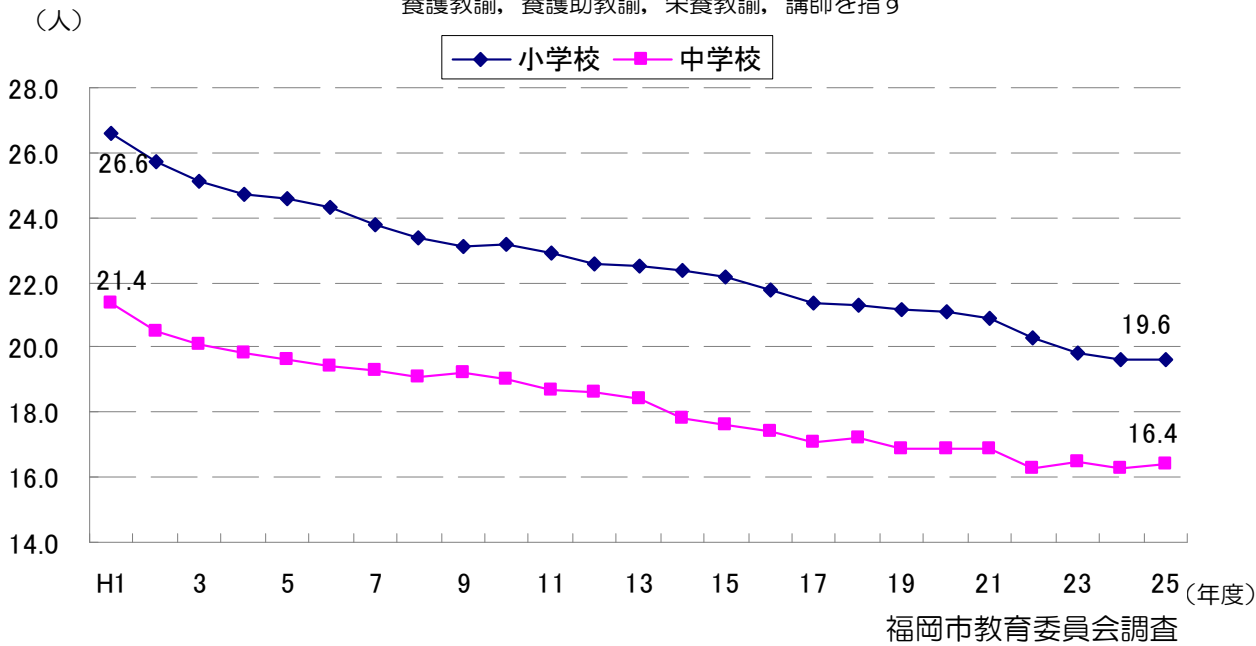
Ⅱ－１－４ １学級あたりの児童生徒数の推移



■近年、中学校はほぼ横ばいで、小学校はやや減少傾向にある。

Ⅱ－１－５ 教員１人あたりの児童生徒数の推移

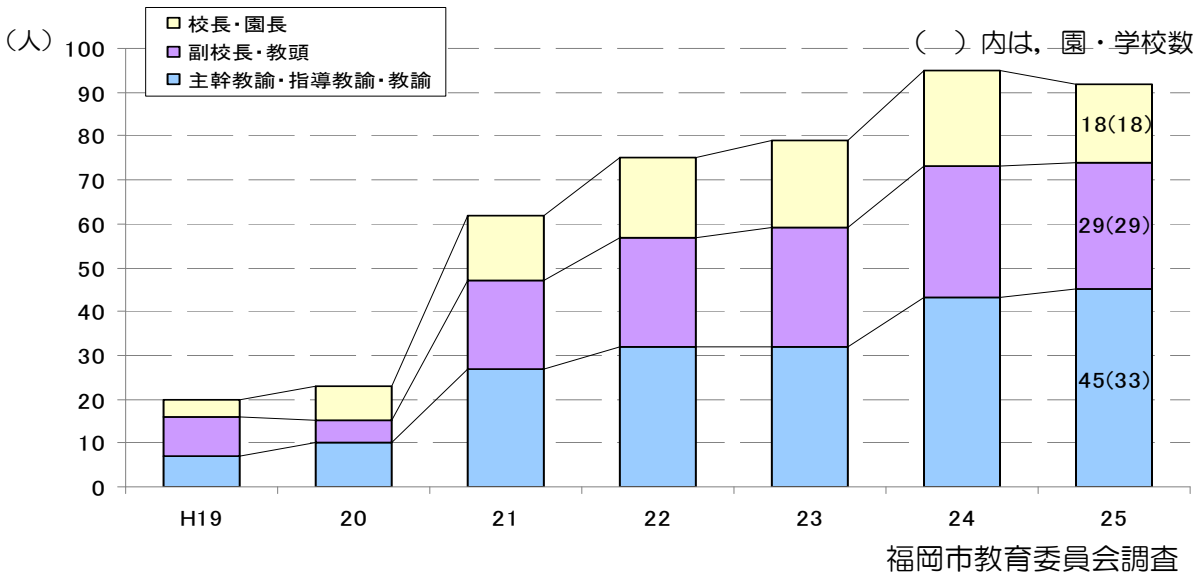
※「教員」とは、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師を指す



■教員１人あたりの児童生徒数は、小学校・中学校とも減少傾向にある。

Ⅱ－１－６ 異校種間人事交流の状況

※「異校種間人事交流」とは、小学校と中学校、中学校と高等学校など、異なる学校種の間で人事異動を行うこと

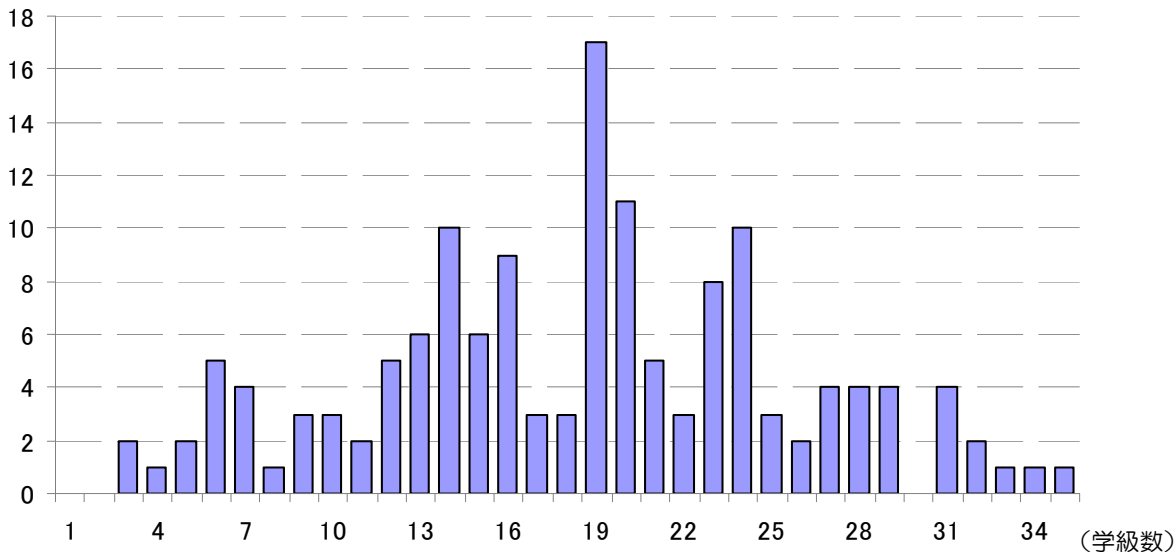


■平成１９年度から始まった異校種間人事交流は、校長・園長、教頭、教諭のすべての職種で増加している。

Ⅱ－２ 学校施設の状況

Ⅱ－２－１ 規模別学校数（平成25年度小学校） ※特別支援学校は除く

（校）

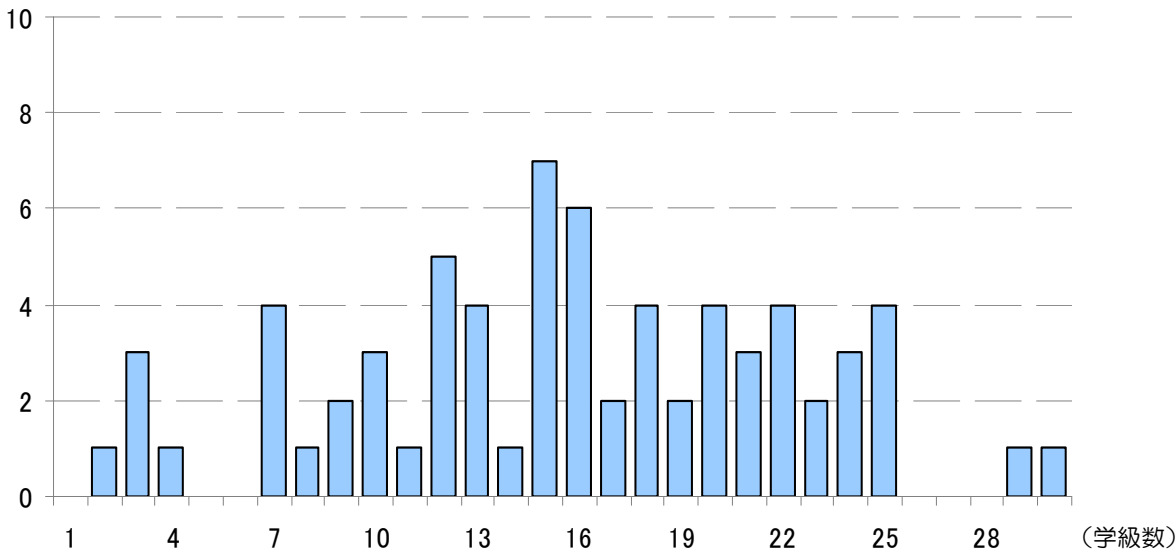


福岡市教育委員会調査

■ 小学校の学級規模は、19学級がもっとも多い。平均学級数は18.4クラス

Ⅱ－２－２ 規模別学校数（平成25年度中学校） ※特別支援学校は除く

（校）



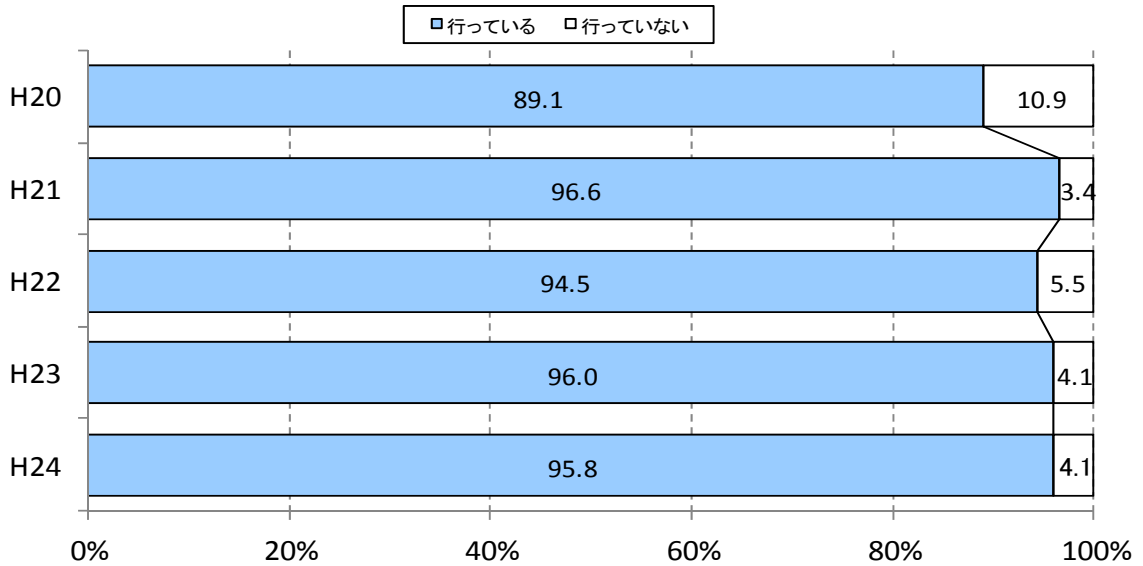
福岡市教育委員会調査

■ 中学校の学級規模は、15学級がもっとも多い。平均学級数は15.8クラス

Ⅱ－３ 特色ある教育

Ⅱ－３－１ 「朝読書」などの一斉読書の時間の設定（小学校）

「行っている」とは・・・不定期に行っている場合も含む

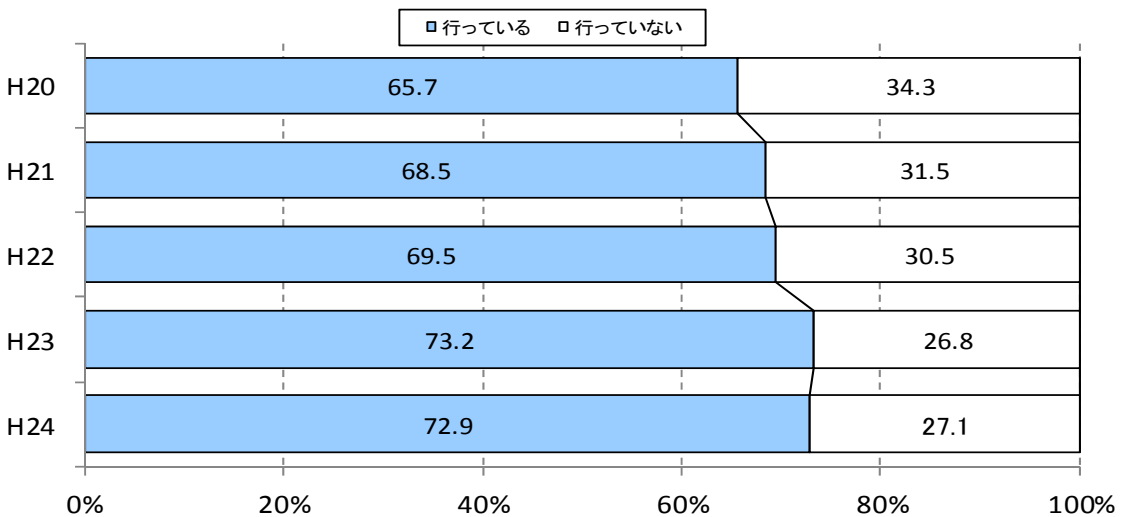


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○一斉読書の時間を設定している小学校の割合は、95%程度で推移している。

Ⅱ－３－１ 「朝読書」などの一斉読書の時間の設定（中学校）

「行っている」とは・・・不定期に行っている場合も含む

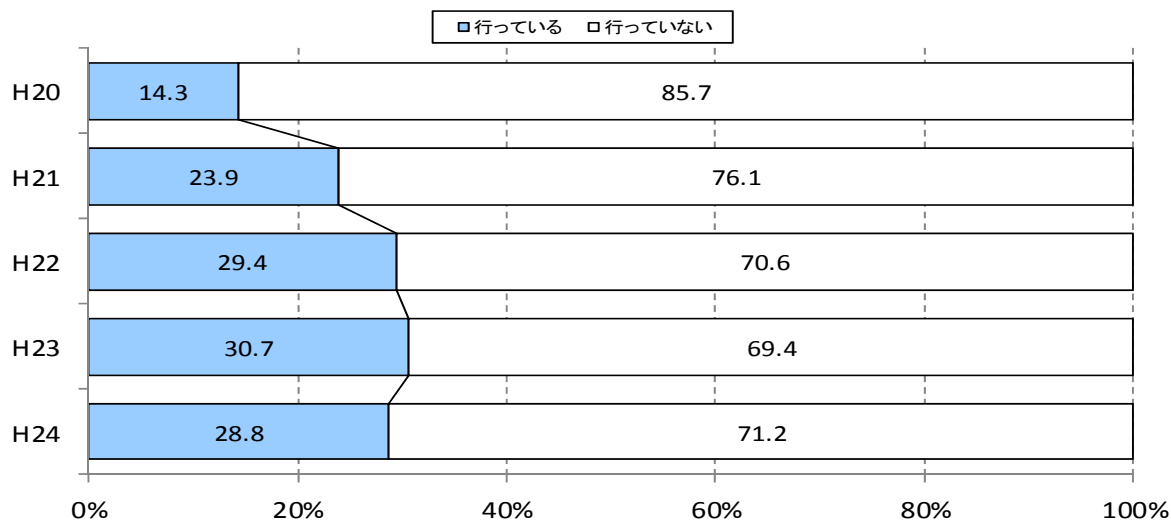


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○一斉読書の時間を設定している中学校の割合は、増加傾向にある。

Ⅱ－３－２ 放課後を利用した補充的な学習サポート（小学校）

「行っている」とは・・・年に数回程度の場合も含む

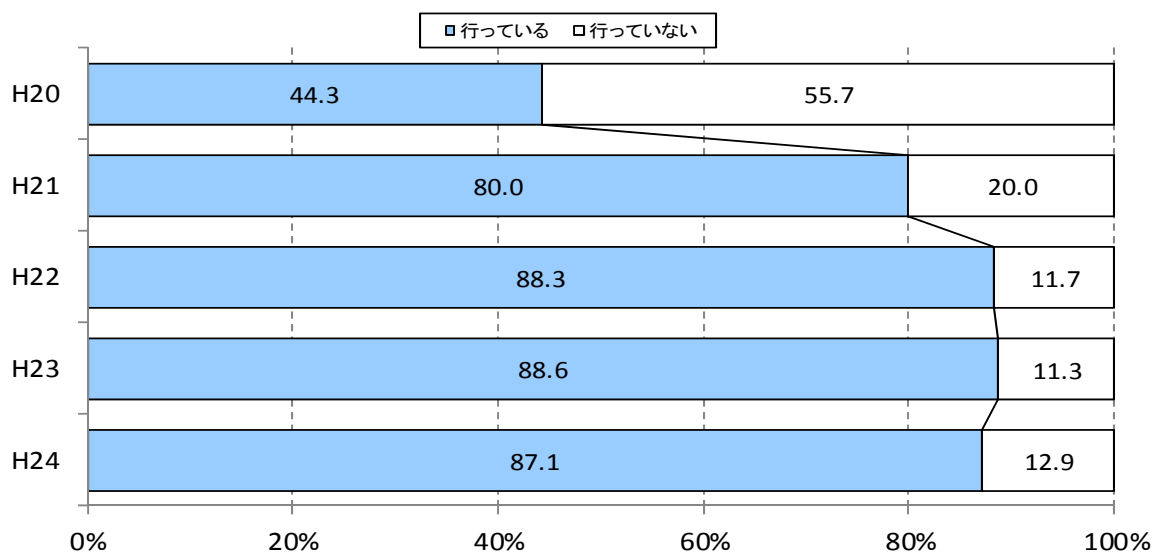


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○放課後を利用した補充的な学習サポートを行っている小学校の割合が、平成24年度の調査ではやや減少した。

Ⅱ－３－２ 放課後を利用した補充的な学習サポート（中学校）

「行っている」とは・・・年に数回程度の場合も含む

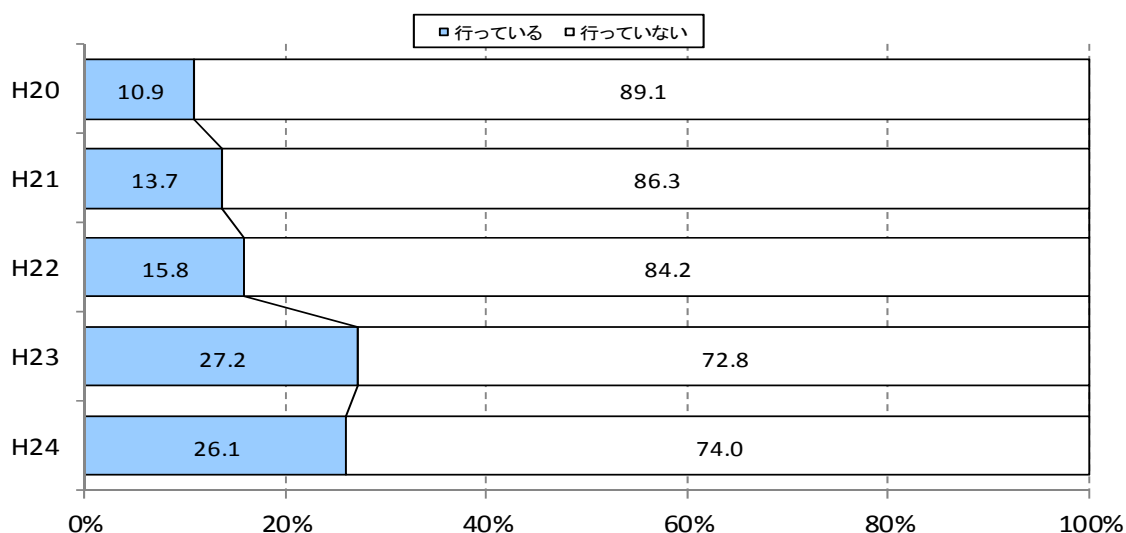


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○放課後を利用した補充的な学習サポートを行っている中学校の割合が、平成24年度の調査ではやや減少した。

Ⅱ－３－３ 長期休業日を利用した補足的な学習サポート（小学校）

「行っている」とは・・・１日以上行っている場合を指す

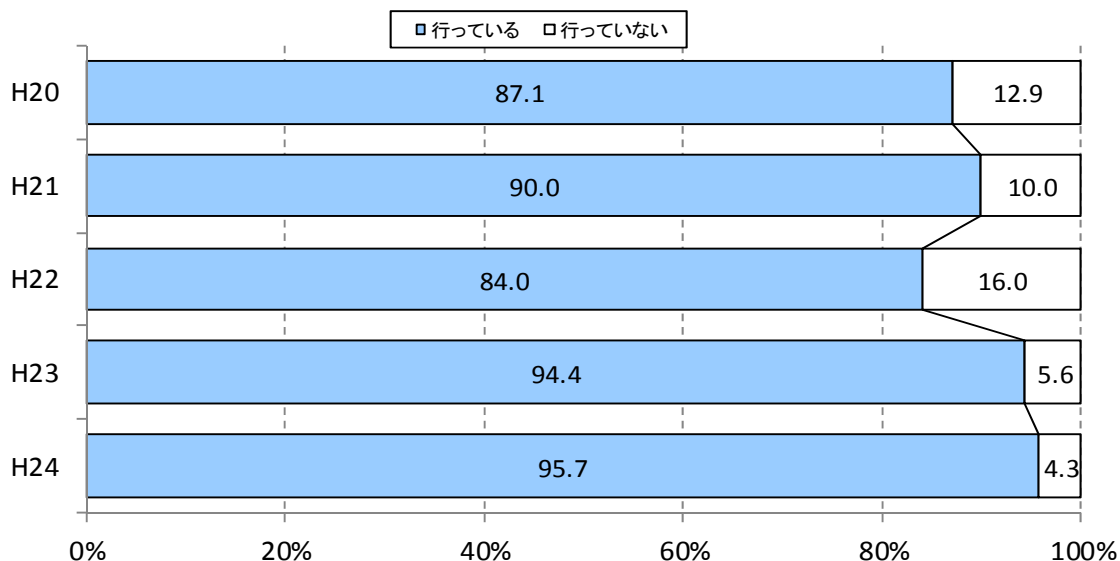


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○長期休業日を利用した補足的な学習サポートを行っている小学校の割合は、増加傾向にある。

Ⅱ－３－３ 長期休業日を利用した補足的な学習サポート（中学校）

「行っている」とは・・・１日以上行っている場合を指す

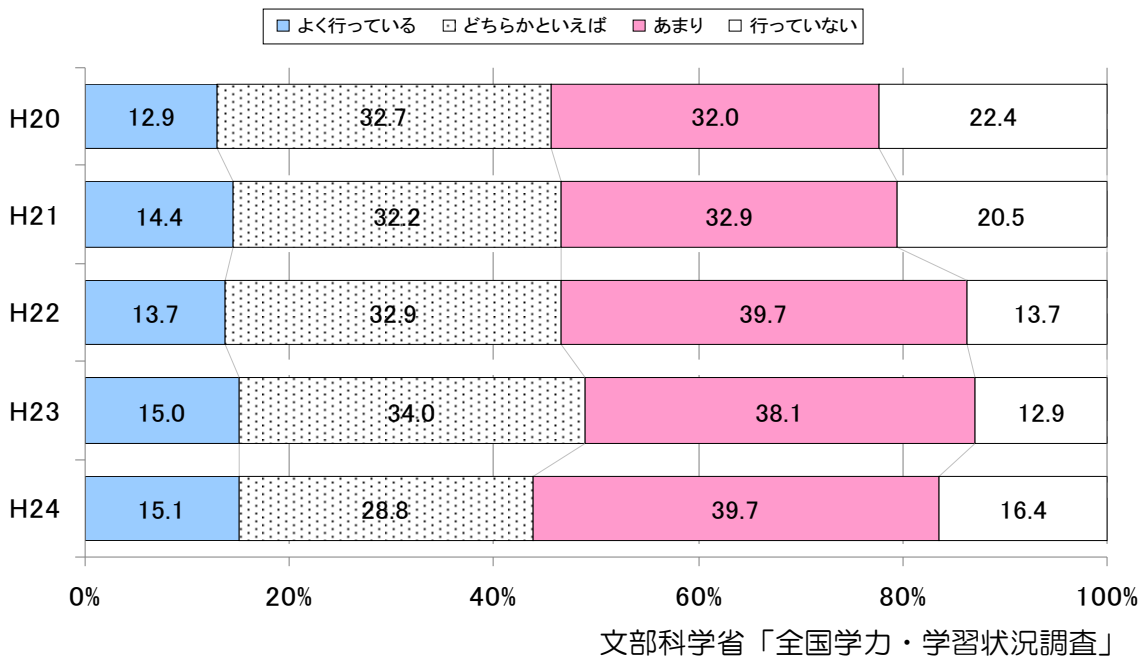


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○長期休業日を利用した補足的な学習サポートを行っている中学校の割合は、増加傾向にある。

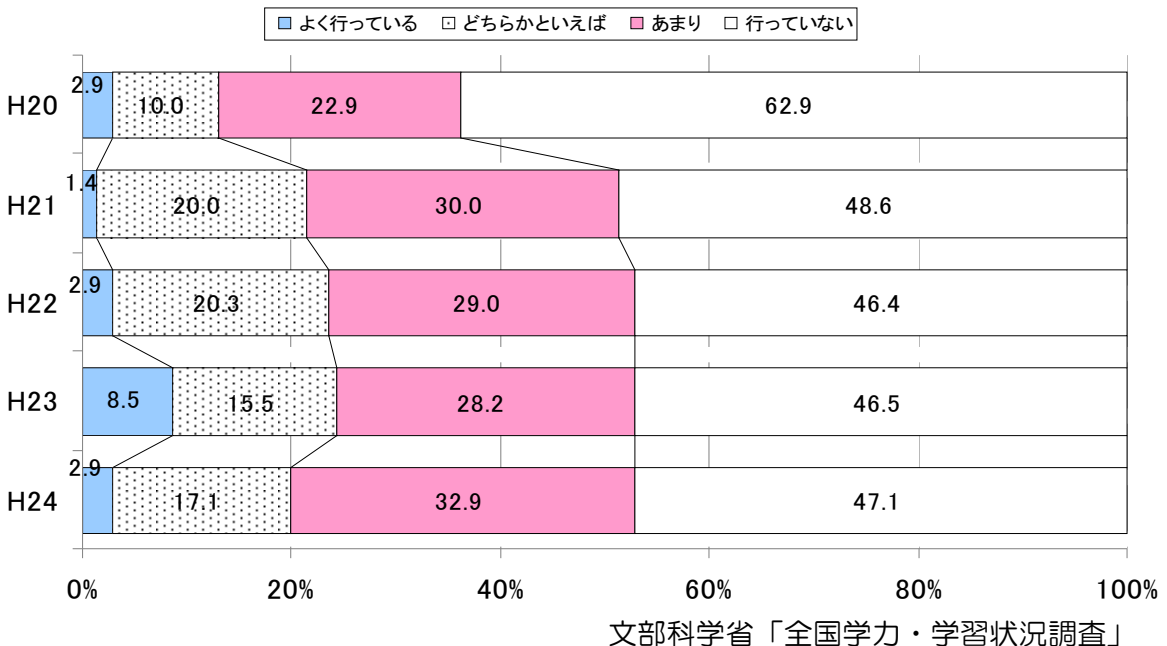
Ⅱ－４ 地域の人材活用状況

Ⅱ－４－１ ボランティア等による授業サポート補助（小学校）



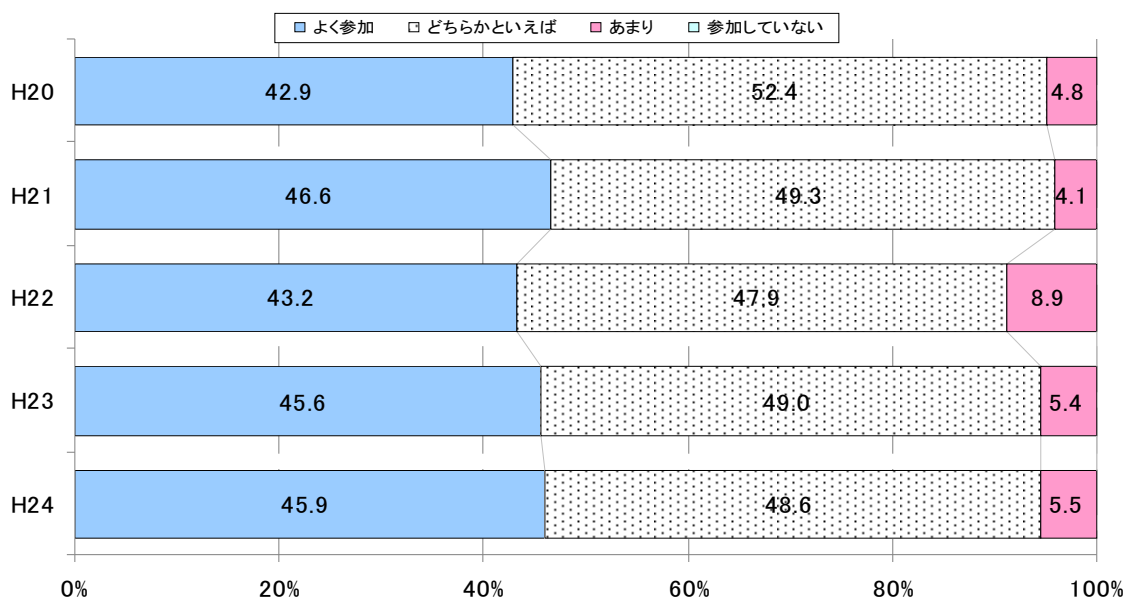
○ボランティア等による授業サポート補助を行っていない小学校の割合は、減少傾向にある。

Ⅱ－４－１ ボランティア等による授業サポート補助（中学校）



○ボランティア等による授業サポート補助を行っていない中学校の割合は、減少傾向にある。

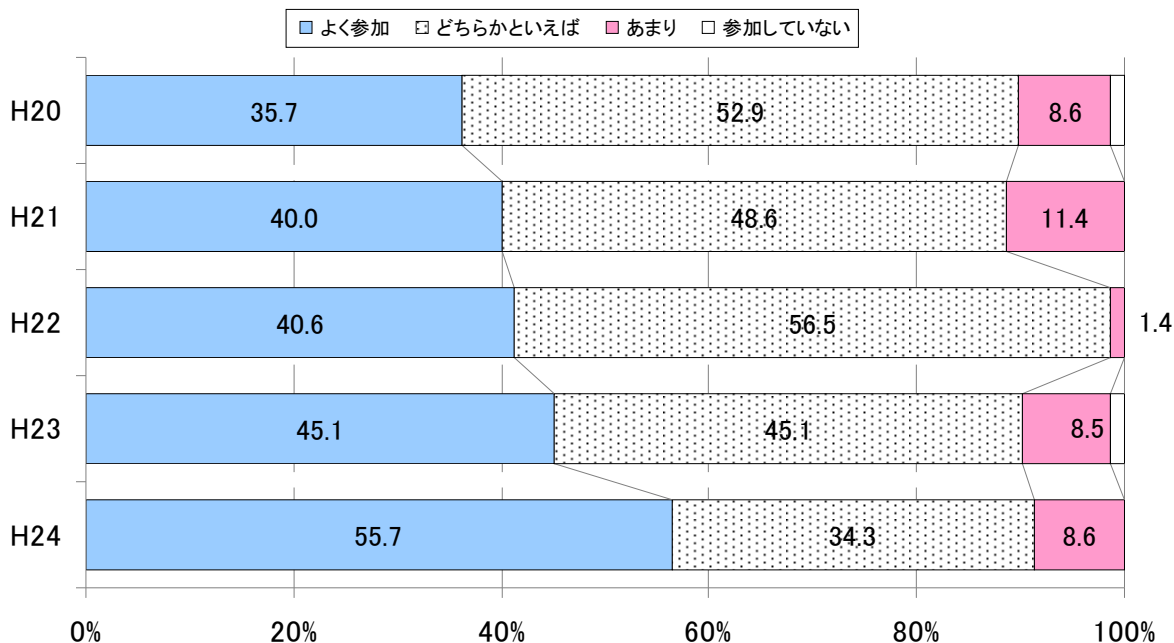
Ⅱ－４－２ ＰＴＡや地域の人ボランティア参加状況（小学校）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○小学校の半数近くが、PTAや地域の人が「よく参加している」と回答している。

Ⅱ－４－２ ＰＴＡや地域の人ボランティア参加状況（中学校）

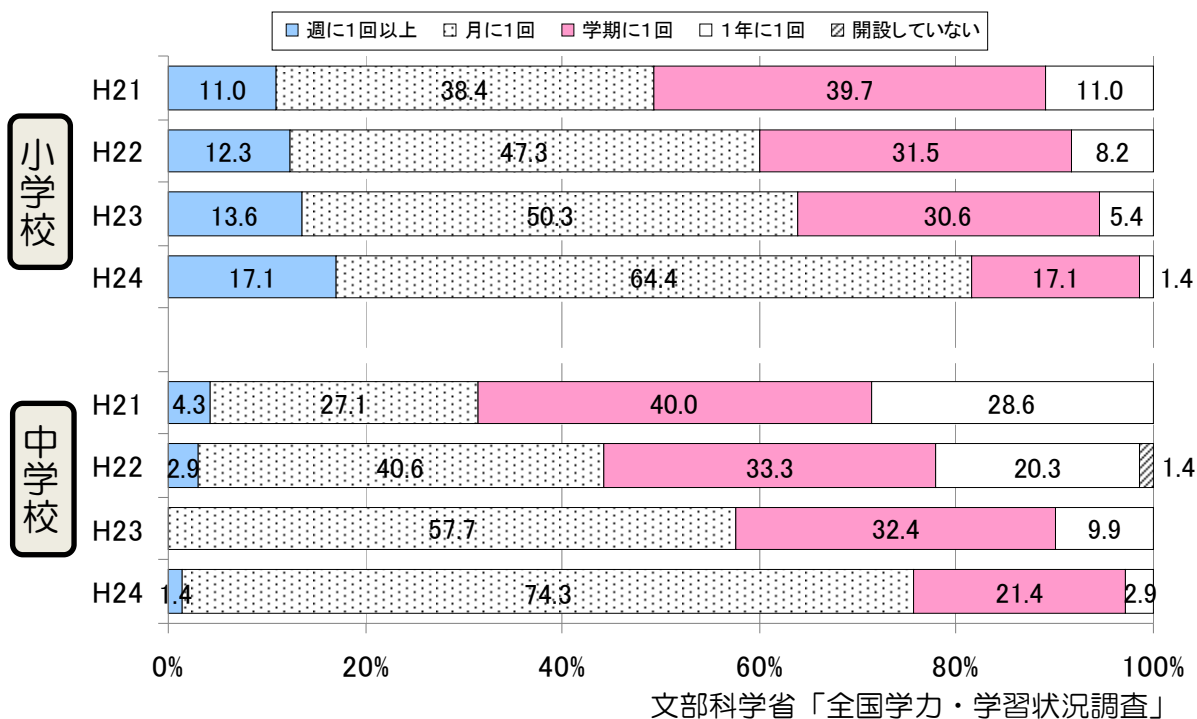


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○PTAや地域の人が「よく参加している」と回答する中学校の割合が増加傾向にある。

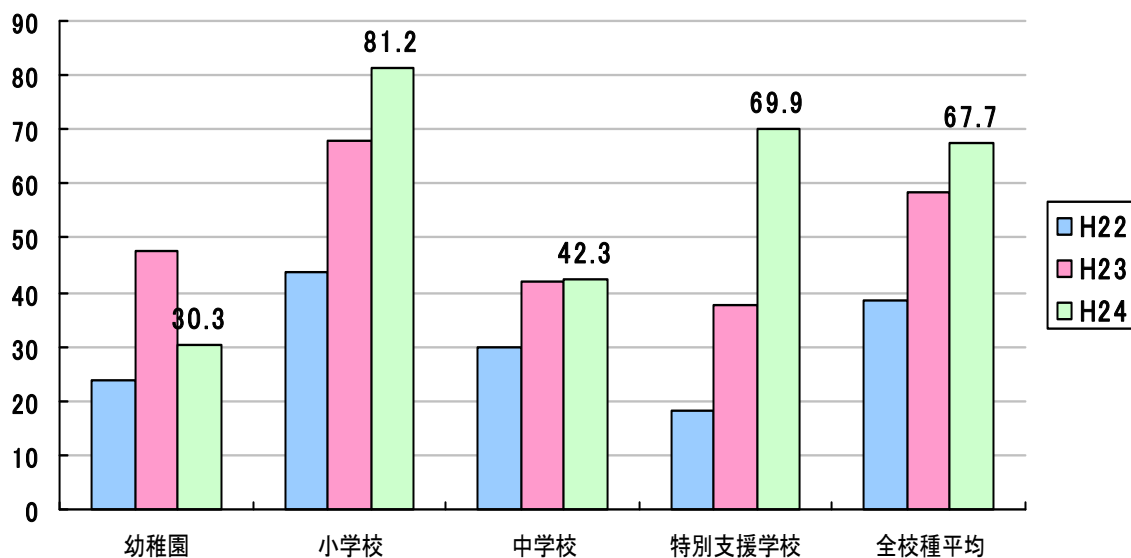
Ⅱ－５ 学校情報の提供

Ⅱ－５－１ ホームページの更新状況



○「月に1回」ホームページを更新している小、中学校の割合は、増加傾向にある。

Ⅱ－５－２ ホームページの更新回数（校種別）



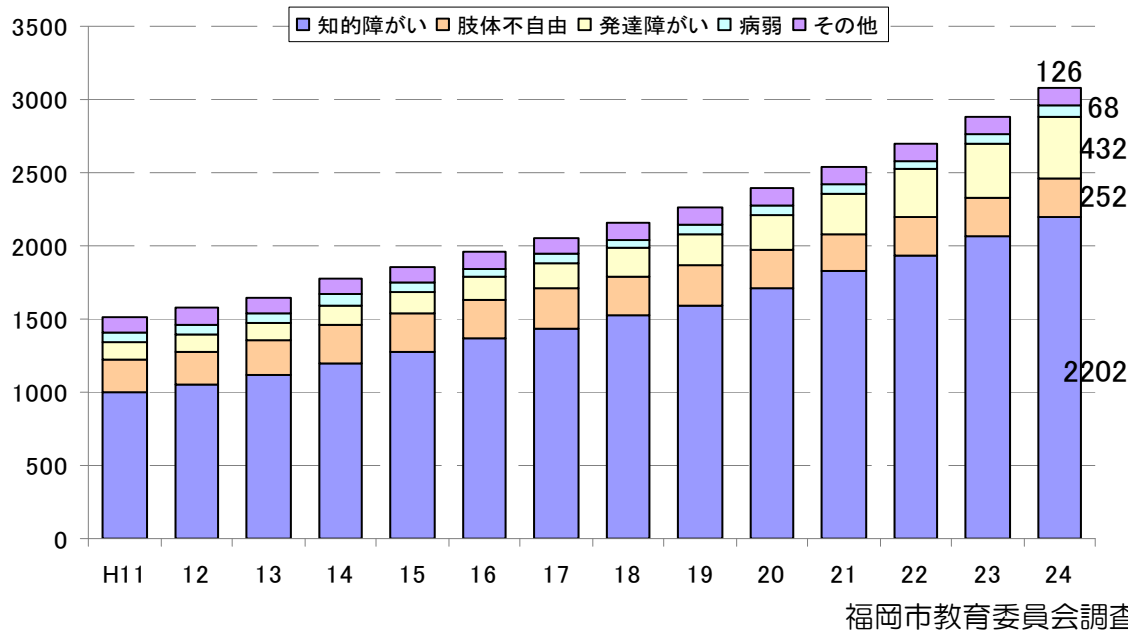
福岡市教育委員会調査

○各校種ともホームページの更新回数は増加傾向にあり、今後は内容の充実が課題である。

Ⅱ－６ 特別支援教育

Ⅱ－６－１ 障がいのある児童生徒数

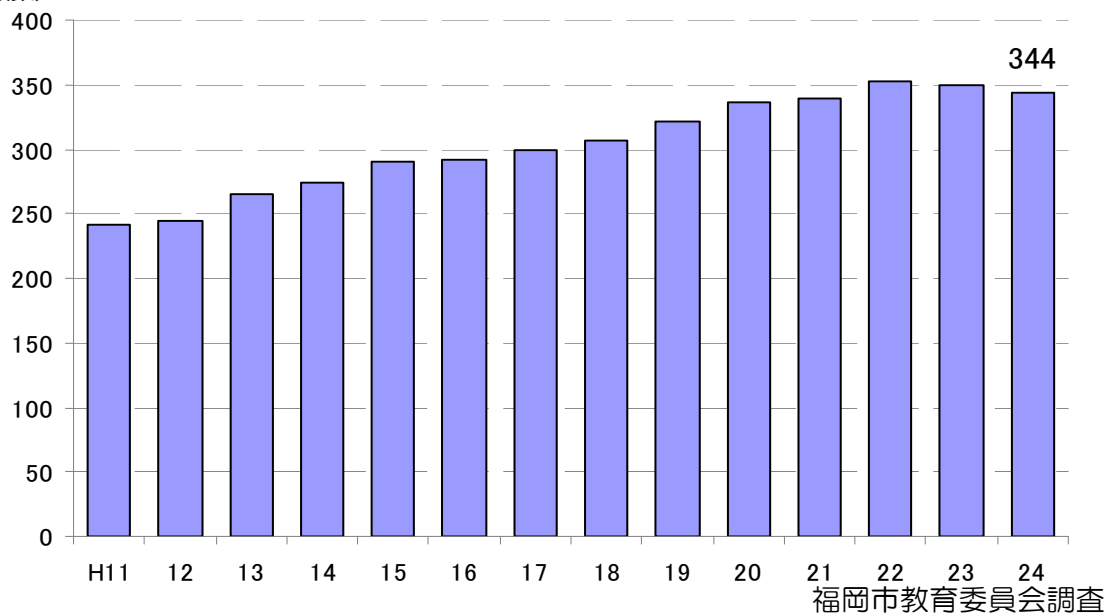
(人) ※その他・・・弱視，言語障がい，難聴



■知的障がいのある児童生徒数が，年々増加している。

Ⅱ－６－２ 特別支援学校の学級数（小・中・高等部）

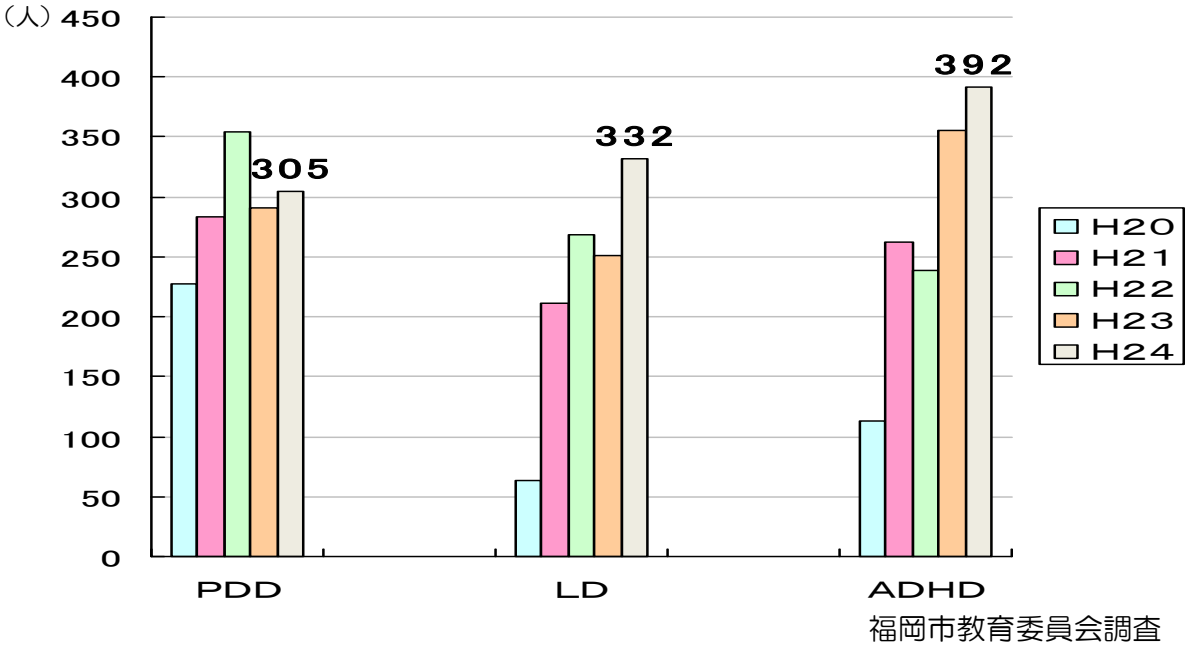
(学級数)



■特別支援学校の児童生徒数は増加しているが，学級数は横ばい状況にある。

Ⅱ－６－３ 通常学級における発達障がいのある児童数（小学校）

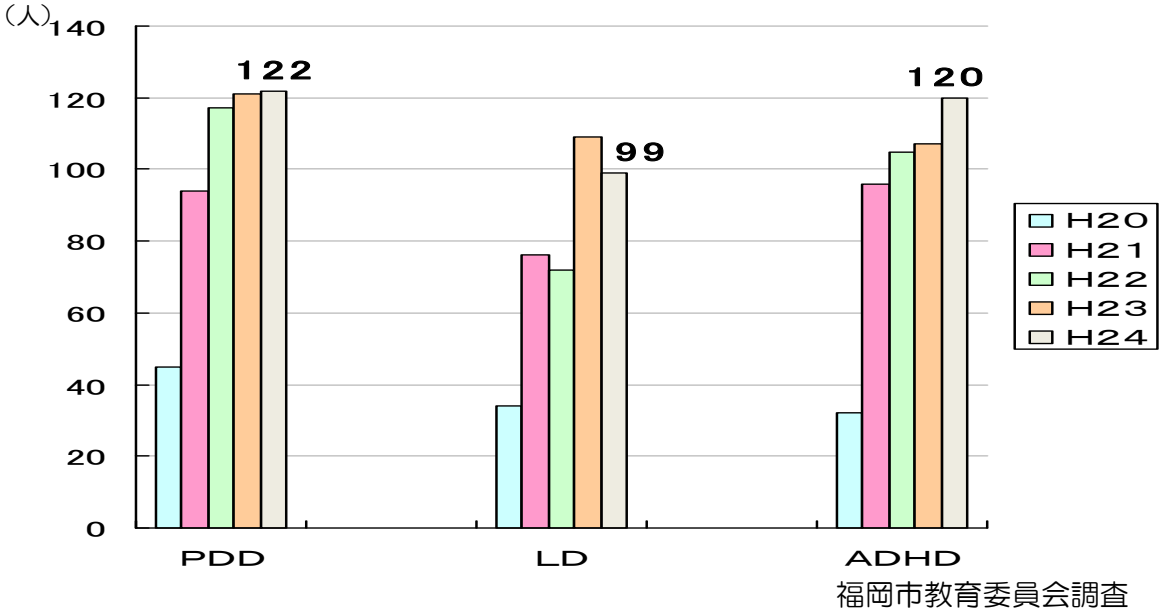
※PDD・・・広汎性発達障がい，LD・・・学習障がい，ADHD・・・注意欠陥多動性障がい



■平成24年度の通常学級における発達障がいのある児童（LD・ADHD）の伸びが大きい。

Ⅱ－６－３ 通常学級における発達障がいのある生徒数（中学校）

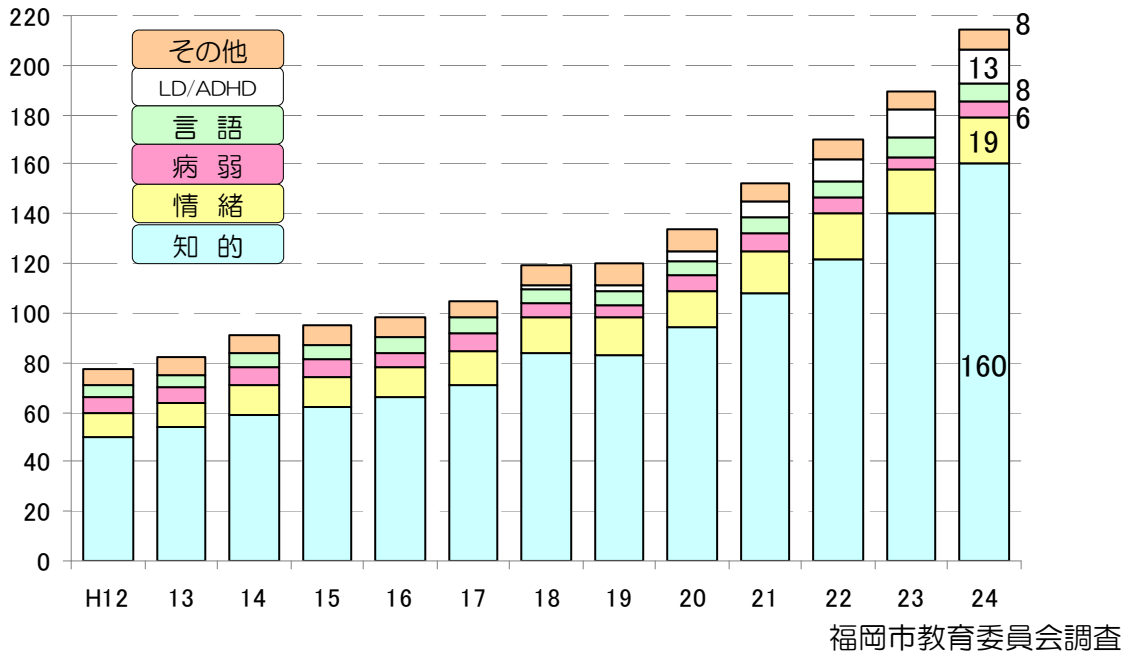
※PDD・・・広汎性発達障がい，LD・・・学習障がい，ADHD・・・注意欠陥多動性障がい



■平成24年度の通常学級における発達障がいのある生徒数は，ADHDの伸びが大きい。

Ⅱ－６－４ 特別支援学級の設置状況（小学校）

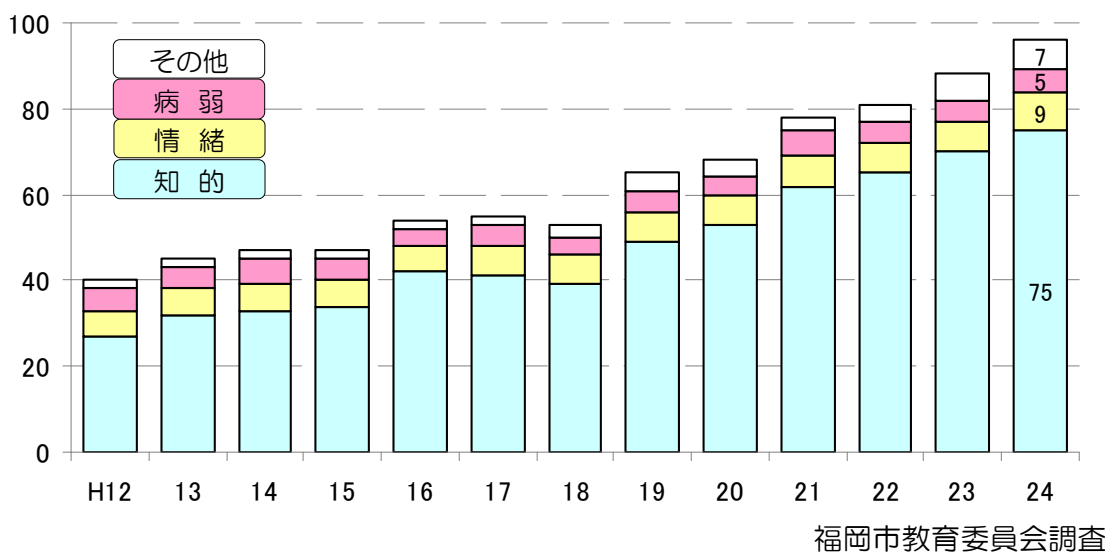
（学級数） ※学級数には、通級指導教室を含みます。
※その他・・・肢体不自由、弱視、難聴



■通常の小学校における特別支援学級の設置は、年々増加している。なかでも、知的障がい学級が大きく増加している。

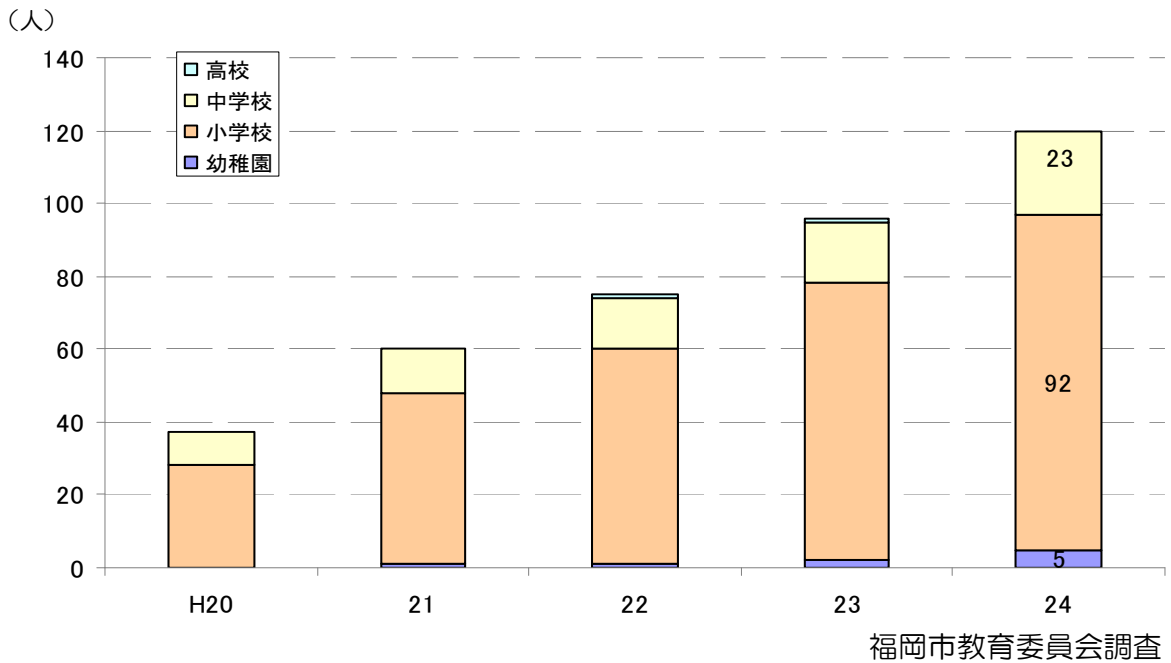
Ⅱ－６－４ 特別支援学級の設置状況（中学校）

（学級数） ※学級数には、通級指導教室を含みます。
※その他・・・肢体不自由、LD/ADHD



■通常の中学校における特別支援学級の設置は、年々増加している。小学校同様、知的障がい学級が大きく増加している。

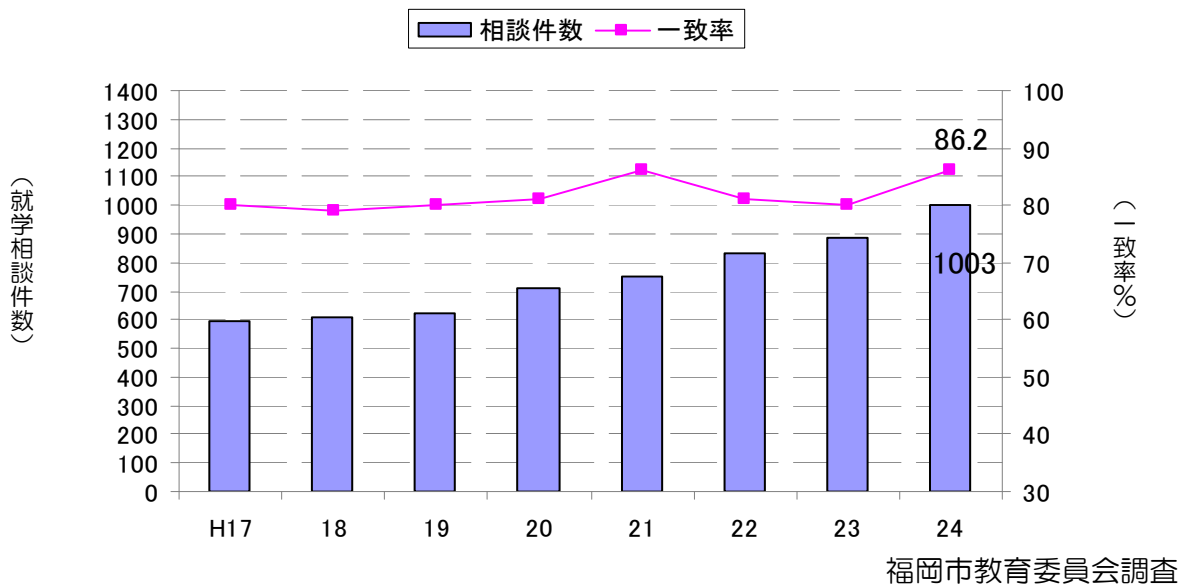
Ⅱ－６－５ 特別支援教育支援員の配置状況



■特別支援教育支援員の配置数は、年々増加している。特に小学校で増加傾向にある。

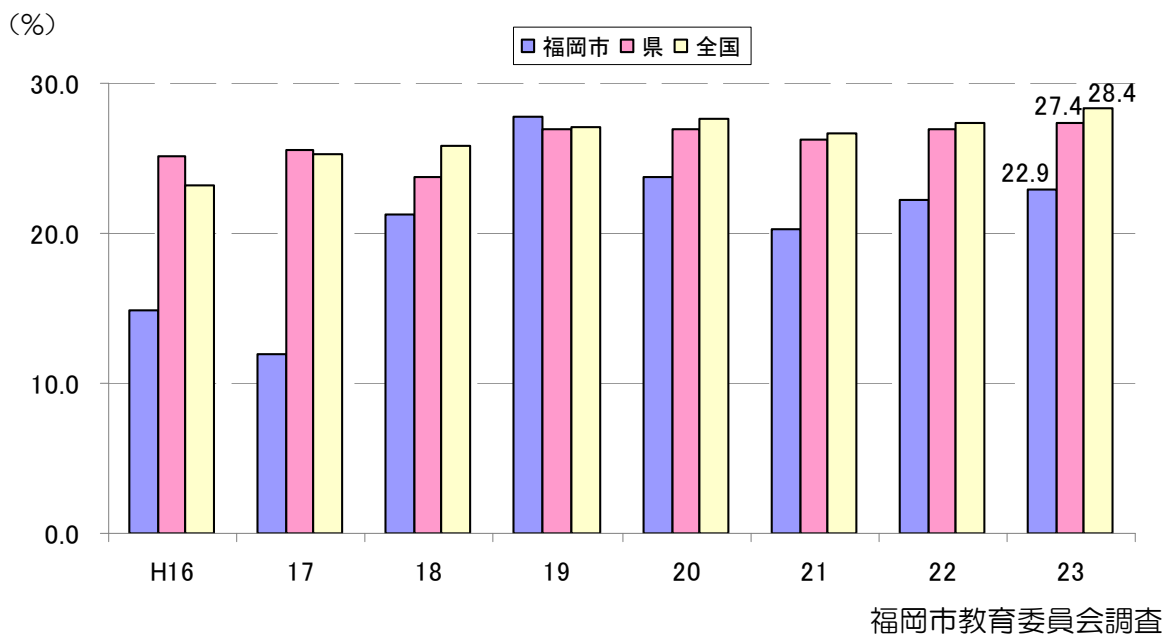
Ⅱ－６－６ 就学相談数と一致率

※一致率・・・就学指導委員会の判断通りに児童生徒の就学先が決定した割合



■就学相談数は増加傾向にある。平成24年度においては、就学相談の結果、就学指導委員会の判断と保護者の意向が一致した割合が高くなっている。

Ⅱ－６－７ 特別支援学校高等部就職率

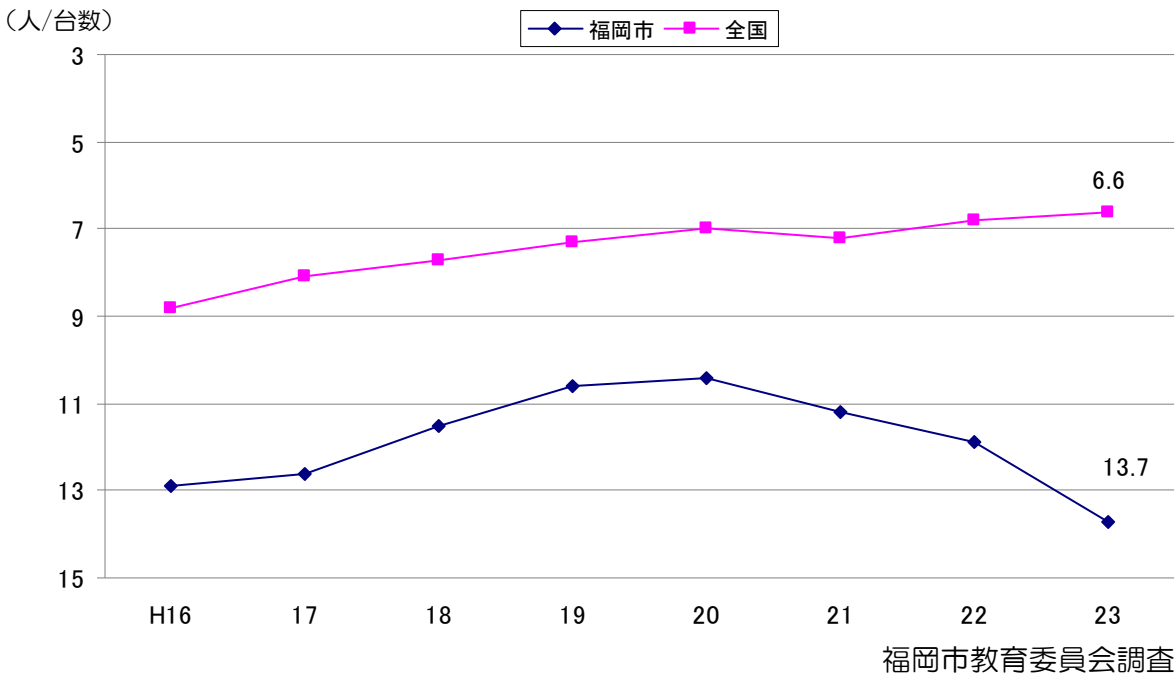


■前年度に比べ、特別支援学校高等部の就職率は、増加傾向にある。



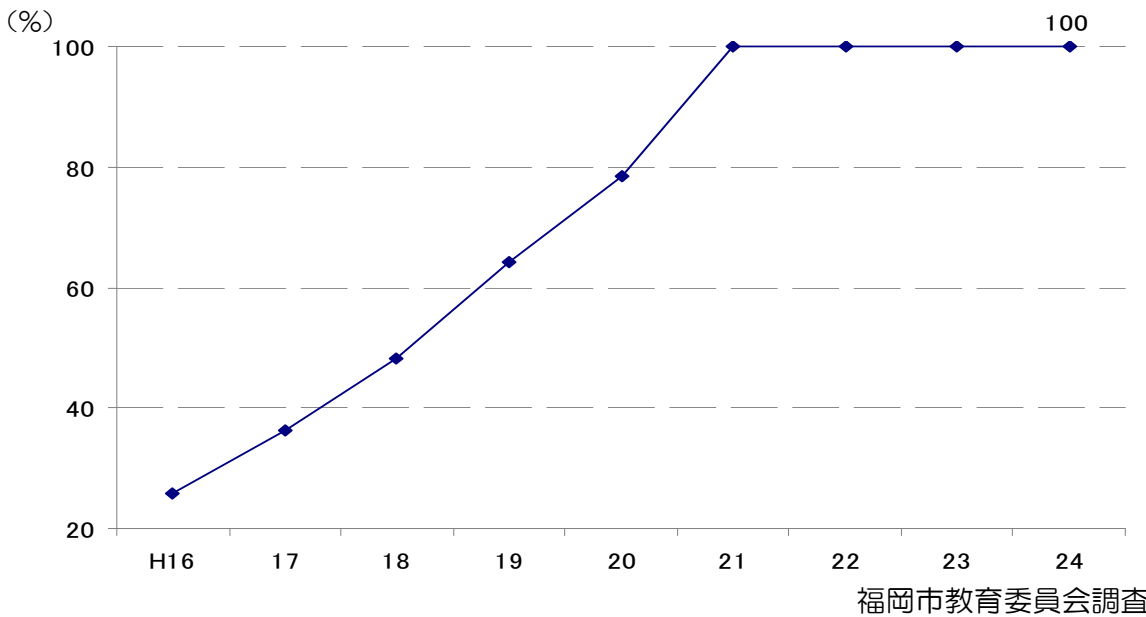
Ⅱー7 ICT環境

Ⅱー7ー1 コンピュータ1台あたりの児童生徒数



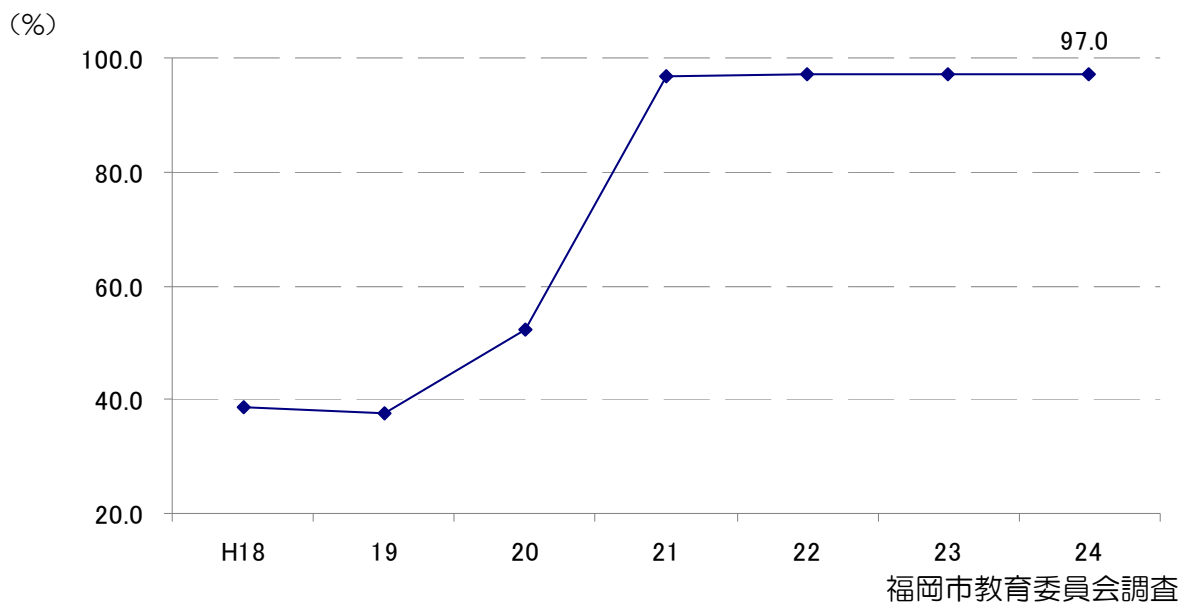
■コンピュータ1台あたりの児童生徒数は、全国平均に比べてかなり多い。

Ⅱー7ー2 普通教室における校内LAN整備率



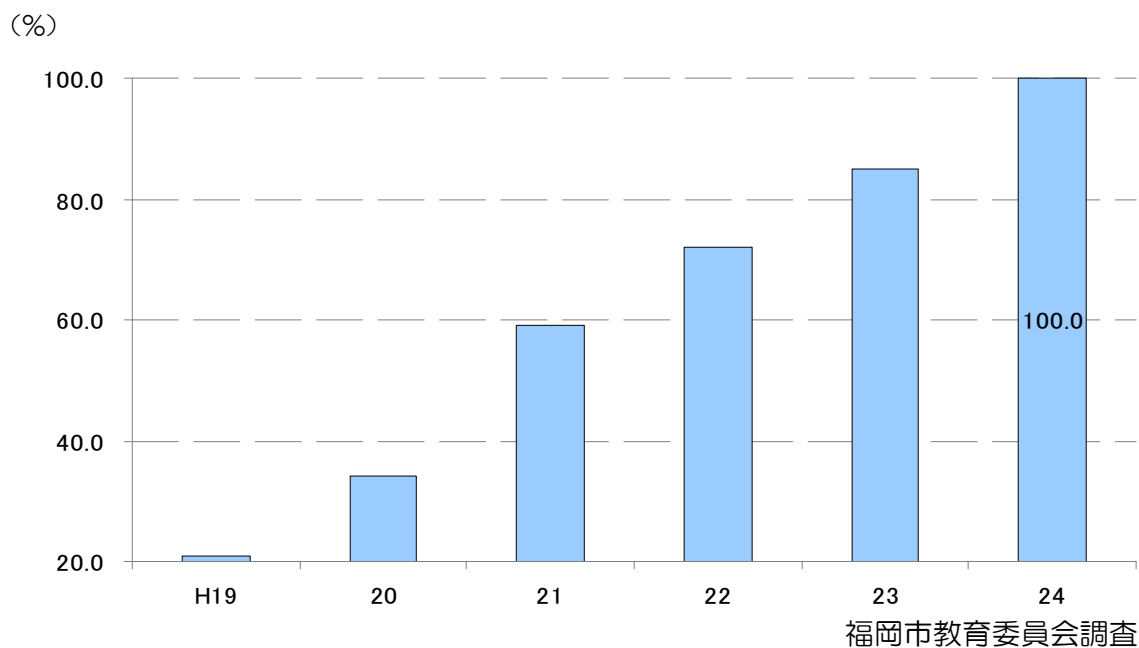
■普通教室における校内LAN整備率は、100%であるが、一部未整備の教室がある。

Ⅱ－７－３ 超高速インターネット接続率



■超高速インターネット接続(30Mbps以上)は、通信速度の速い光ファイバ回線へ移行している。

Ⅱ－７－４ 校務用コンピュータ整備率



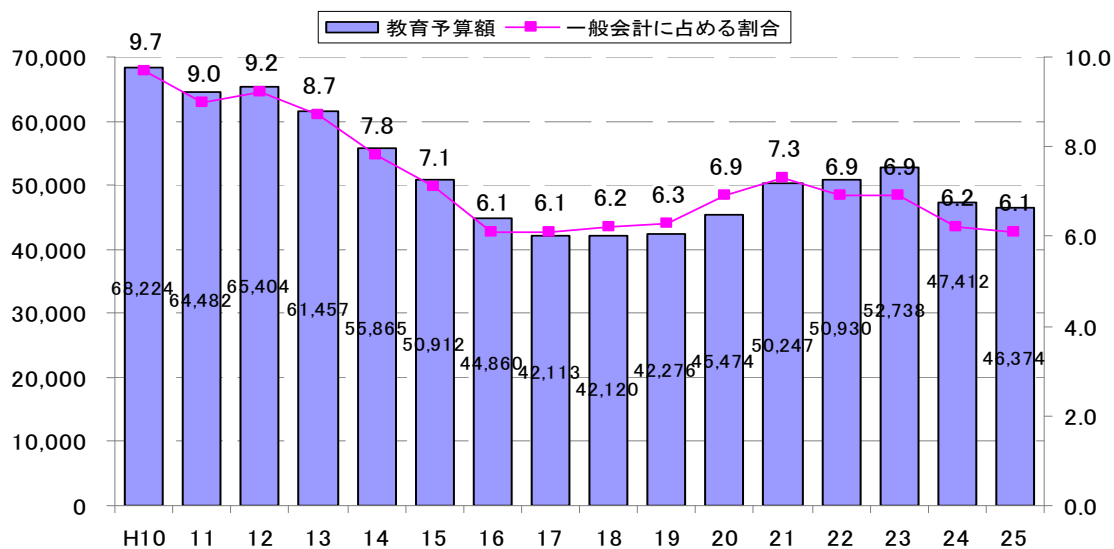
■校務用コンピュータの整備率は、平成24年度100%を達成している。

Ⅱ－８ その他の状況

Ⅱ－８－１ 福岡市の教育予算の推移

(予算額：百万円)

(%)

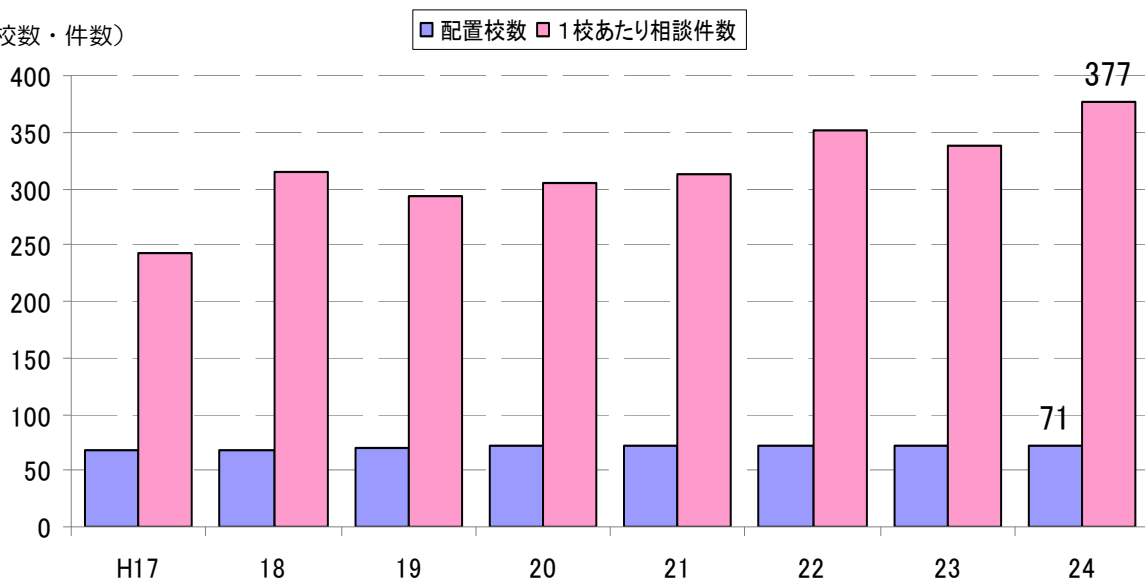


※平成24年度から美術館、博物館、アジア美術館、文化財部は、経済観光文化局へ移管
福岡市教育委員会調査

■教育予算は、平成18年度から増加傾向となっていたが、平成24年度から美術館、博物館、アジア美術館、文化財部が経済観光文化局へ移管し、減少している。

Ⅱ－８－２ スクールカウンセラー（SC）への相談等の状況

(校数・件数)

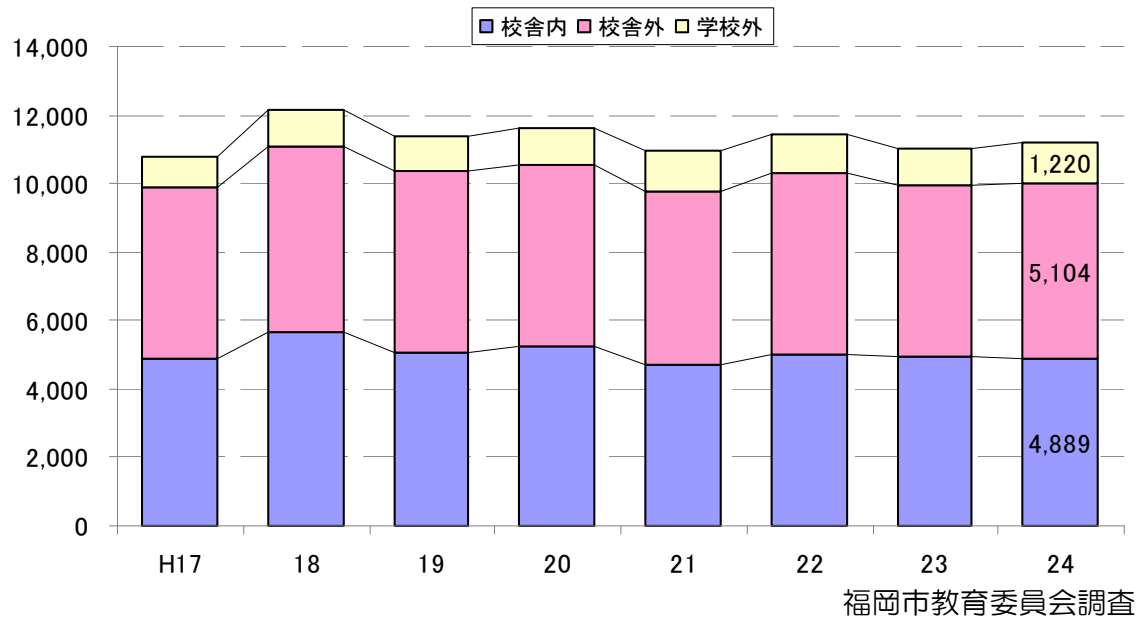


福岡市教育委員会調査

■SCの配置校数は平成21年度以降変化がない。SCへの相談件数は、平成24年度1校あたり377件で、年々増加の傾向にある。

Ⅱ－８－３ 学校災害の状況（市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校）

(件) ※学校災害・・・学校の管理下の事由による負傷，疾病等



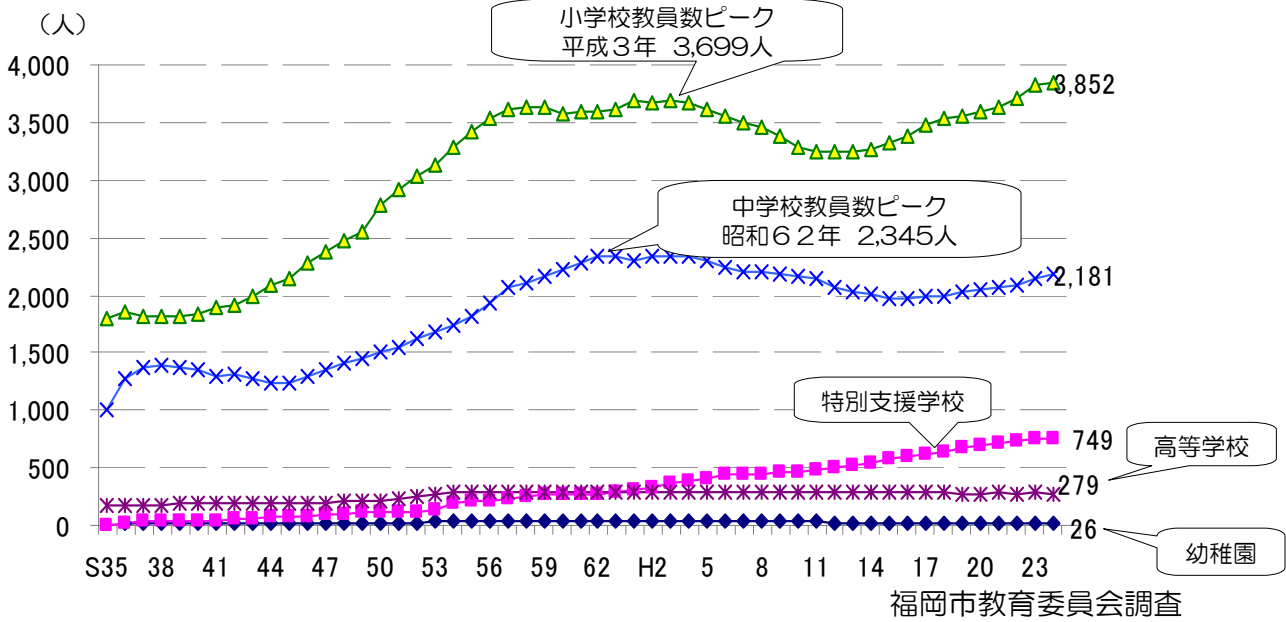
■学校災害は年間１万件ほどで推移しており，平成24年度は，前年度よりわずかに増加している。



Ⅲ 教職員

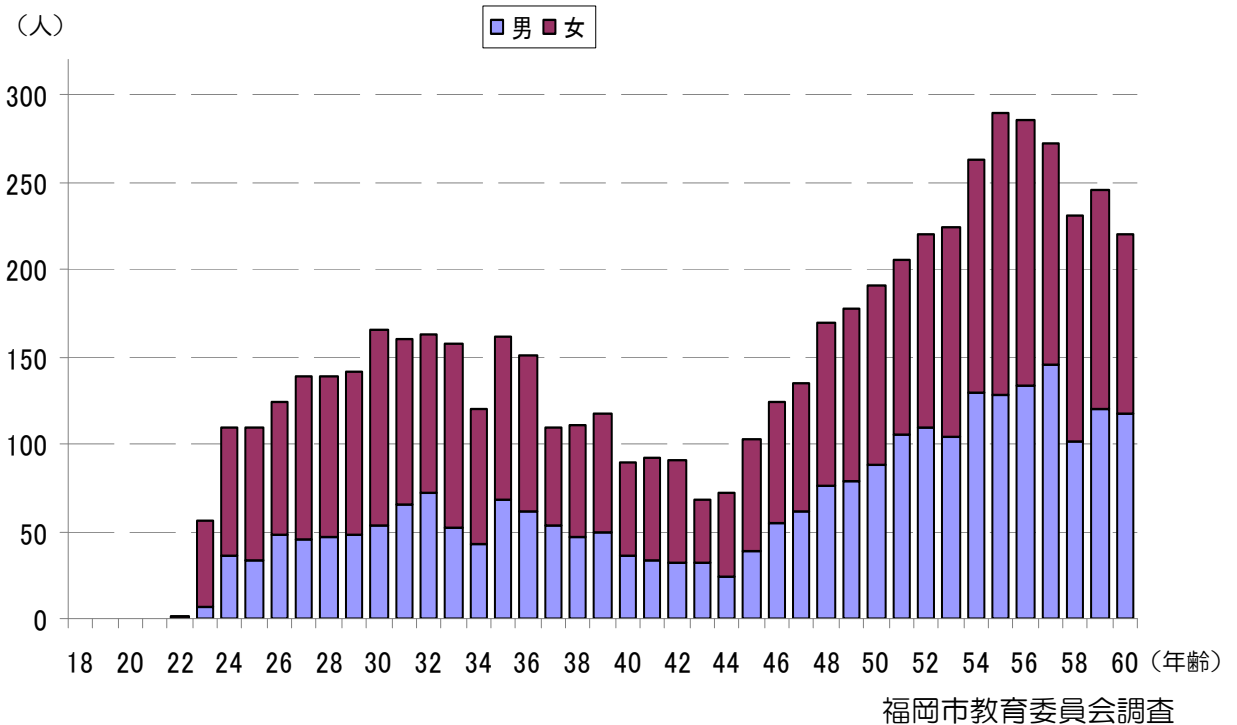
Ⅲ－１ 教職員

Ⅲ－１－１ 福岡市立学校教員数の推移



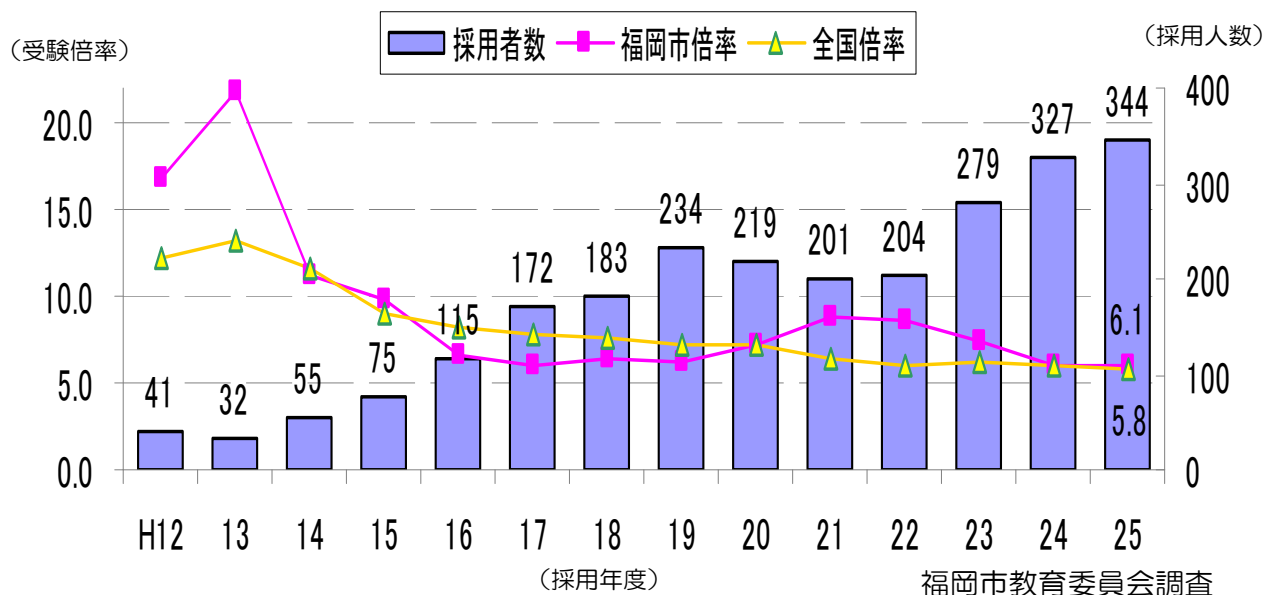
■福岡市立学校教員数は、平成24年度で幼稚園26名、高等学校279名、特別支援学校749名、中学校2,181名、小学校3,852名となっている。

Ⅲ－１－２ 教員の年齢構成（平成25年5月現在）



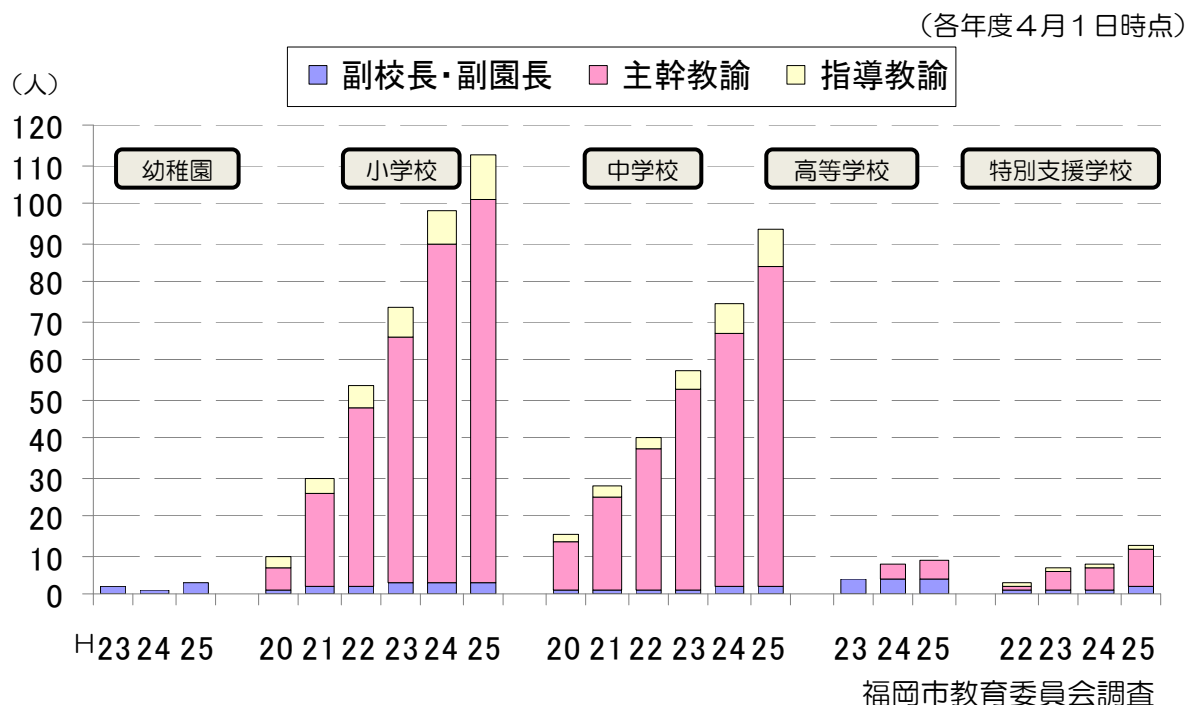
■教員の年齢は、50代が最も多く、43前後が最も少ない構成となっている。

Ⅲ－１－３ 新規採用教員数と受験倍率



■新規採用教員数は、平成24年度以降は300名を超えている。福岡市の受験倍率は平成21年度から低下傾向であったが、平成24年度から横ばいである。

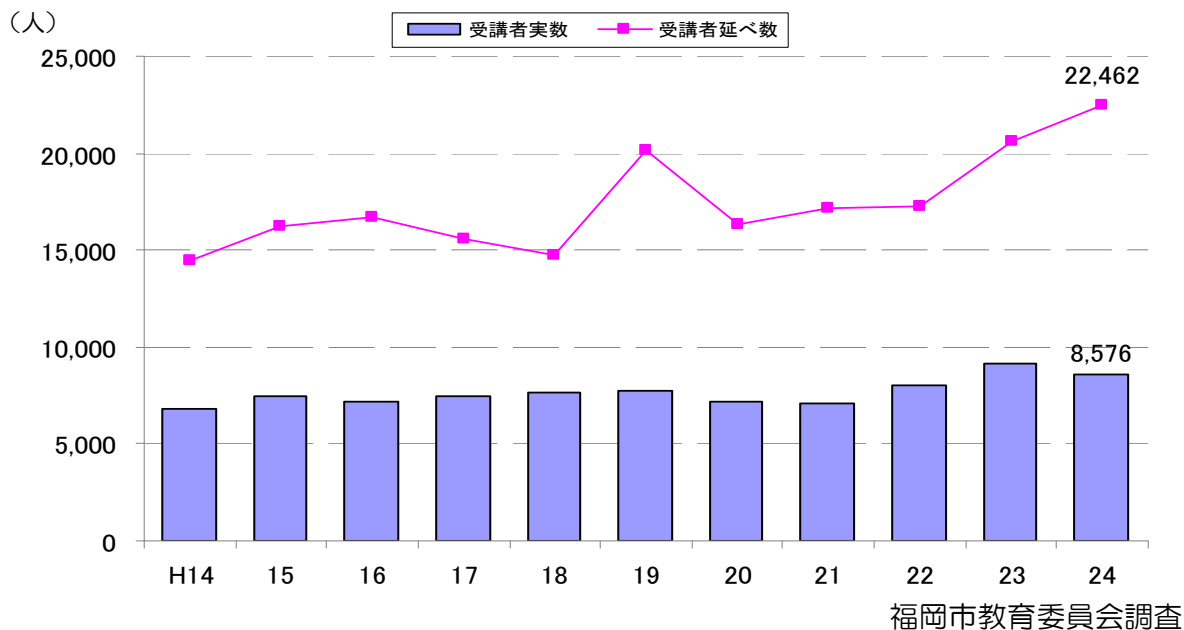
Ⅲ－１－４ 副校長・主幹教諭・指導教諭の配置人数



■副校長・主幹教諭・指導教諭などの新たな職は、年々増加している。平成23年度からは、幼稚園、及び高等学校にも配置している。

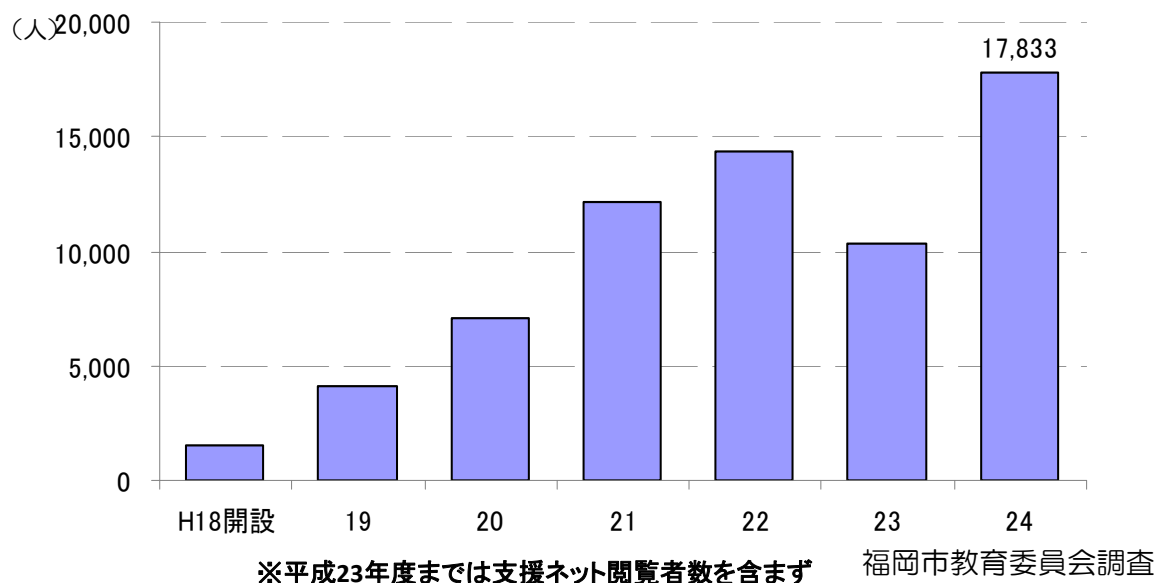
Ⅲ－２ 教職員の研修状況

Ⅲ－２－１ 教育センター研修講座受講者数の推移



■若手・中堅教員の人材育成を目指し断続研修（福岡市教師道場）を新設した。それに伴い、平成24年度の受講者延べ数が昨年度を超えている。

Ⅲ－２－２ 授業力向上支援センター利用者数の推移

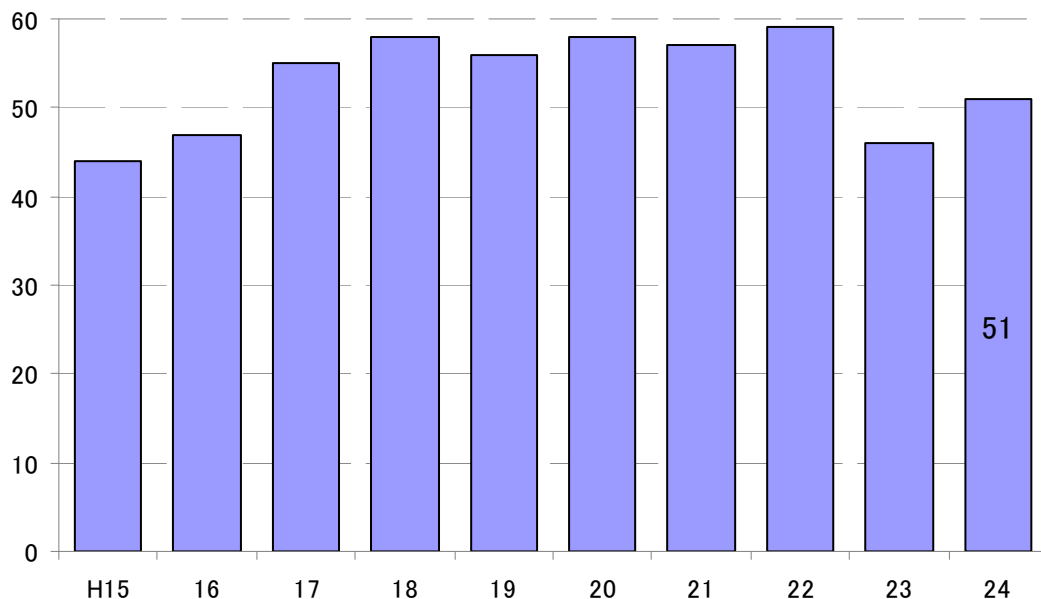


■平成18年度に開設された授業力向上支援センターの利用者数は、この数年、10,000人を超えている。

Ⅲ－３ 教員の休職状況

Ⅲ－３－１ 精神性疾患を原因とする病気休職者（教員）の推移

休職者数（人）

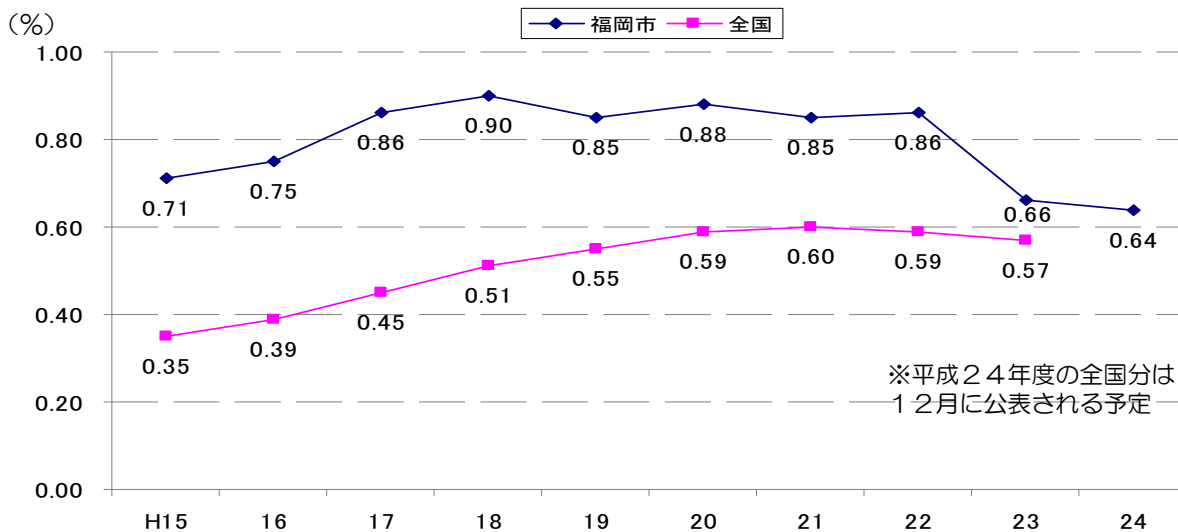


※対象者：小・中・高・特別支援学校における校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、常勤講師

福岡市教育委員会調査

■精神性疾患を原因とする病気休職者は、平成22年までは、60人弱で推移していたが、平成23年度から休職者数は減少傾向となっている。

Ⅲ－３－２ 精神性疾患を原因とする病気休職者（教員）の割合



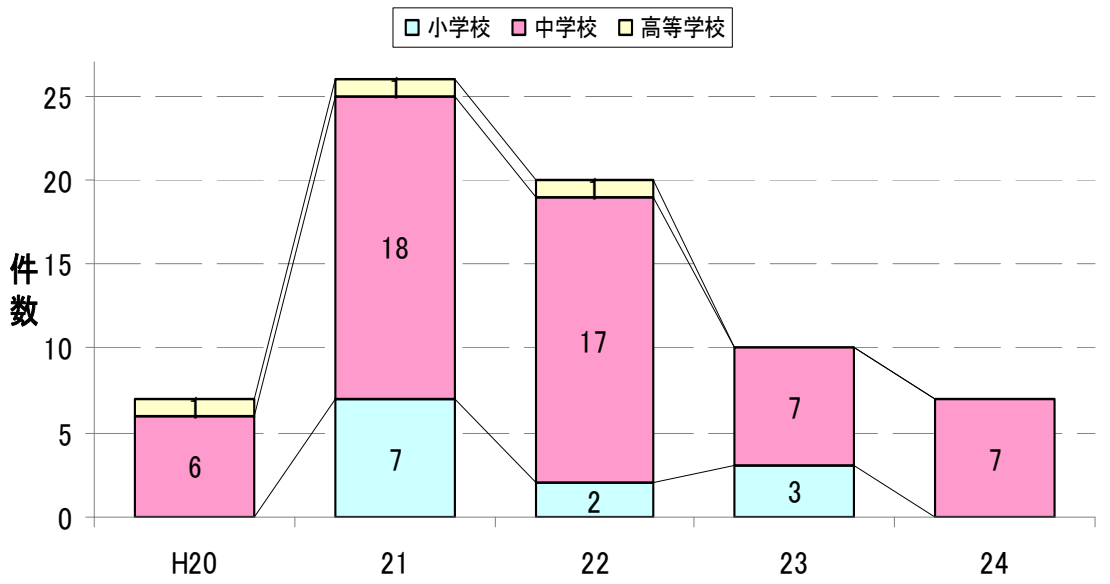
※平成24年度の全国分は12月に公表される予定

福岡市教育委員会調査

■精神性疾患を原因とする病気休職者の割合は、平成23年度からは減少傾向に転じている。

Ⅲ－４ 体罰・処分

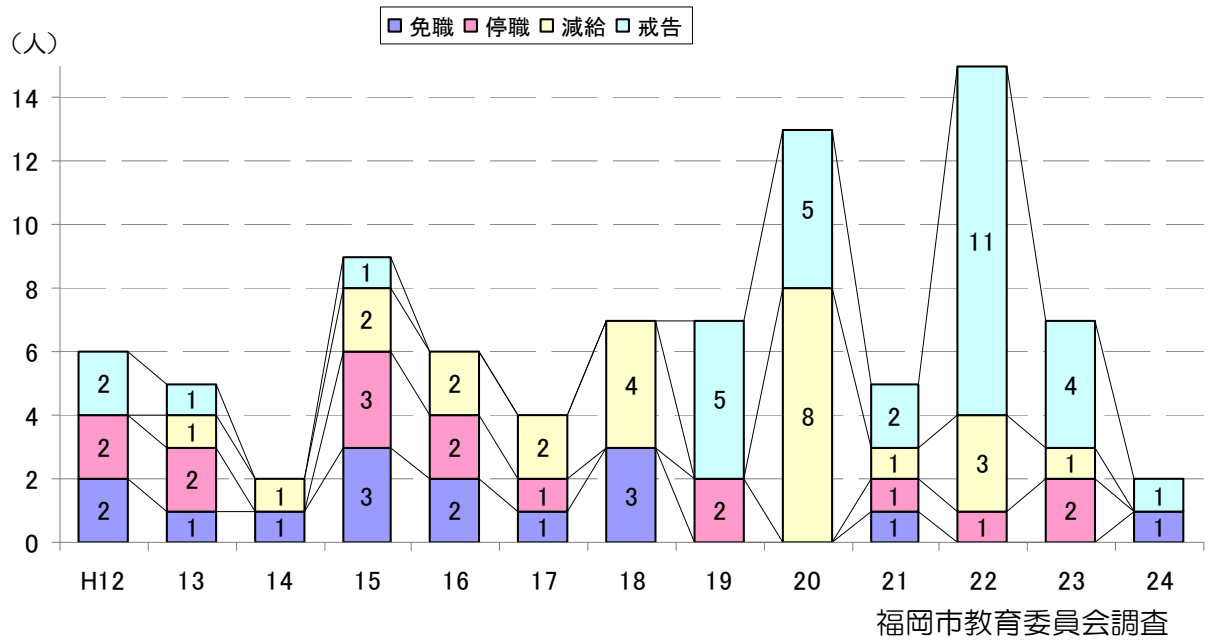
Ⅲ－４－１ 体罰による処分件数



福岡市教育委員会調査

■体罰の件数については、減少傾向となっている。学校別では、中学校が大半を占めている。

Ⅲ－４－２ 懲戒処分者数（教職員）の状況



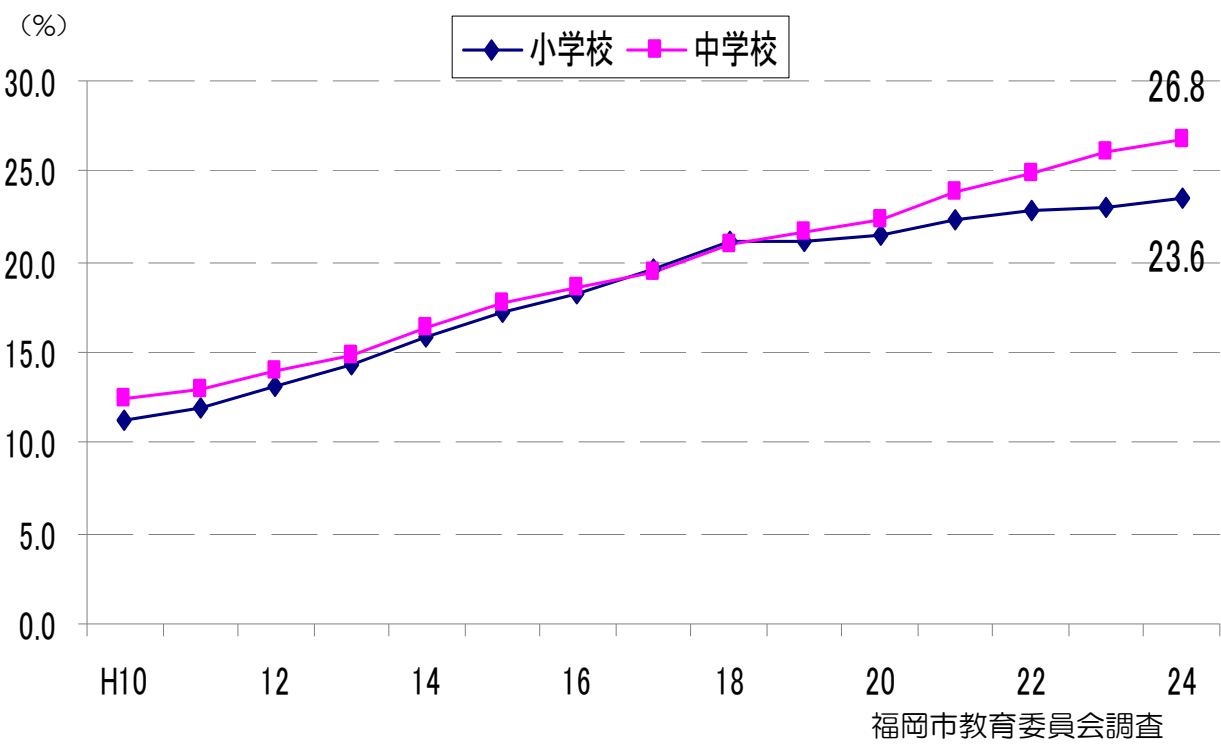
福岡市教育委員会調査

■年度により大きく異なるが、平成24年度は懲戒処分者数が減少している。

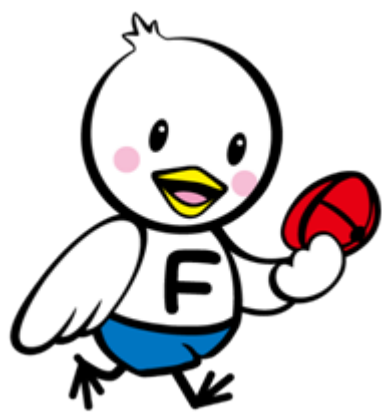
IV 家庭・地域等

Ⅳ－１ 家庭状況

Ⅳ－１－１ 就学援助対象児童生徒数の割合

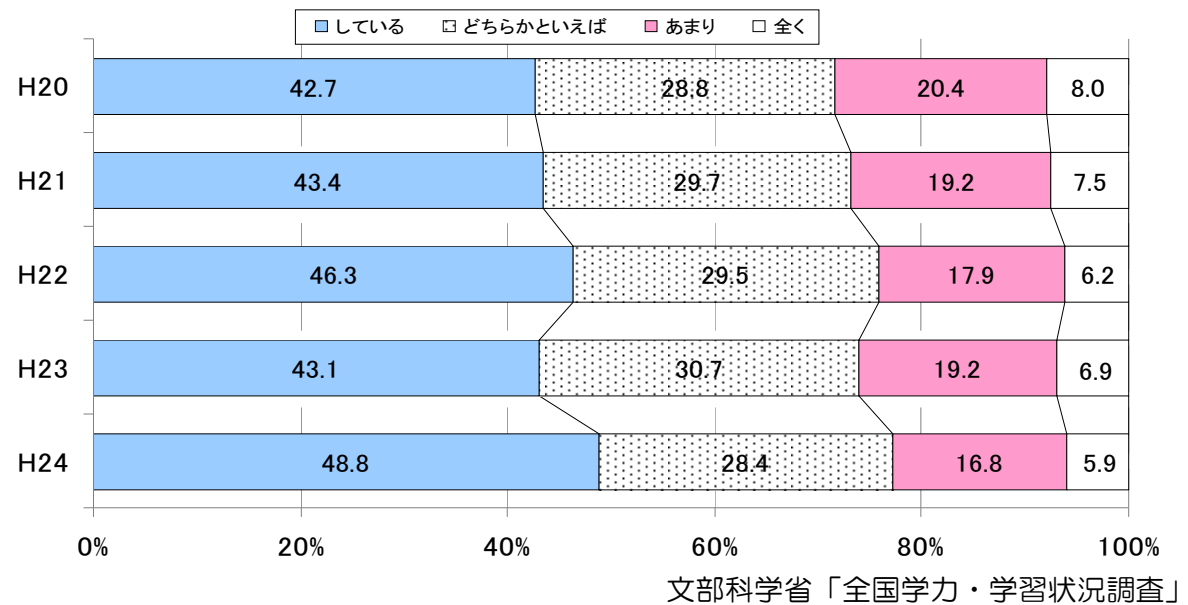


■ 就学援助対象児童生徒数は、近年、増加傾向が続いている。



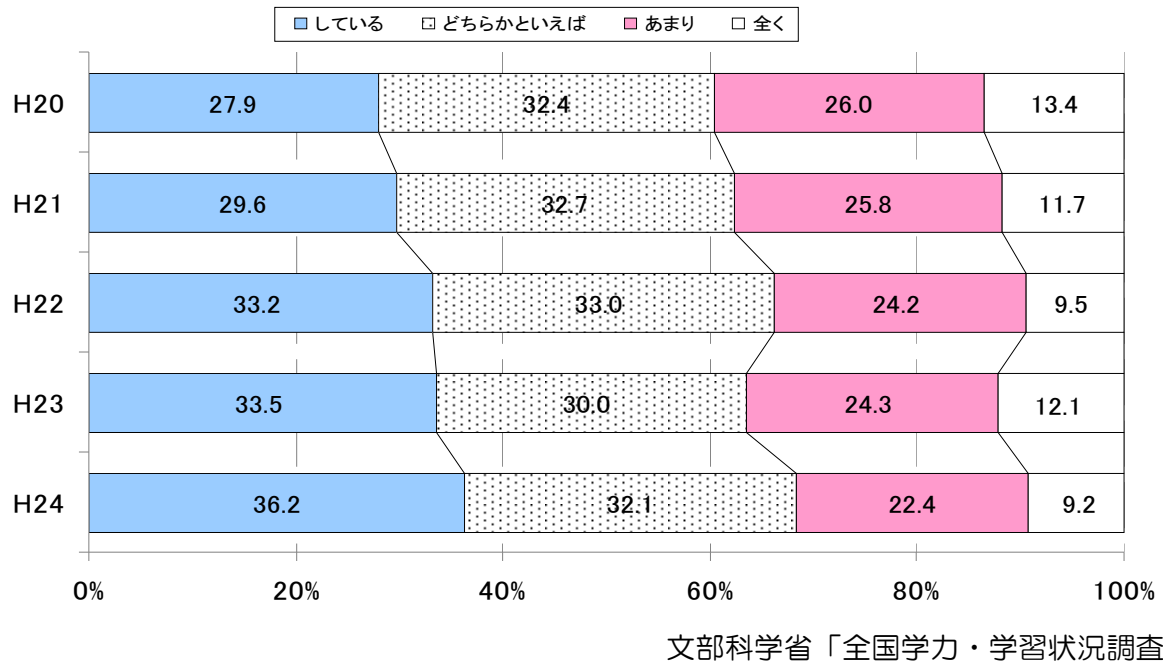
Ⅳ－２ 子どもとのかかわり

Ⅳ－２－１ 学校の出来事についての会話（小学校６年）



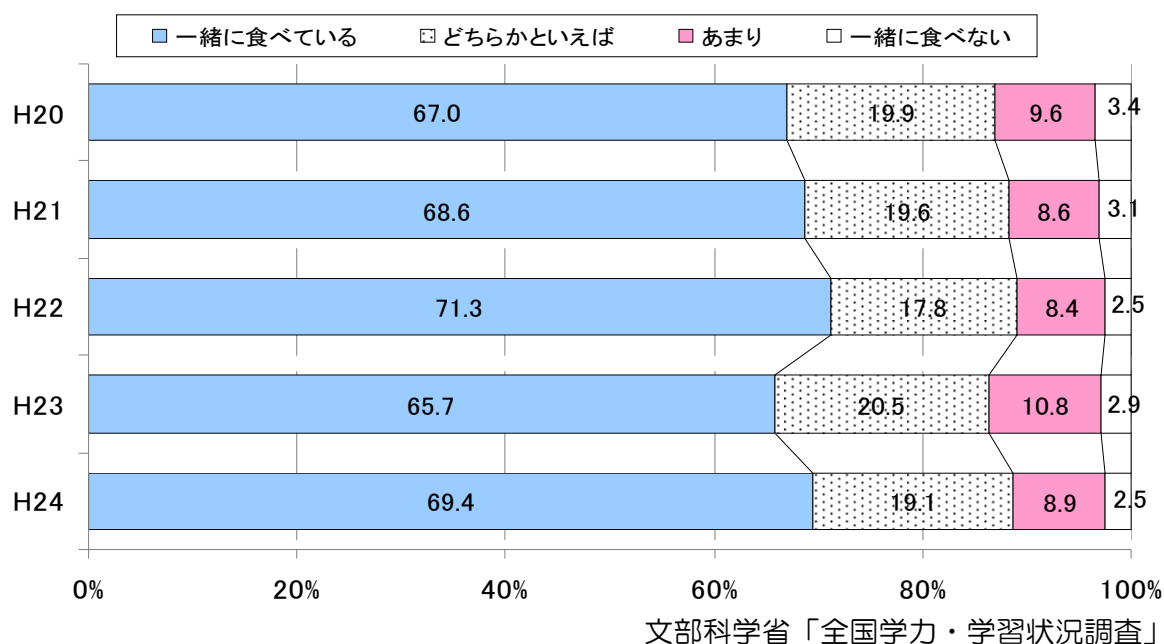
○学校の出来事について家庭で会話を「している」小学校６年の割合は、増加傾向にある。

Ⅳ－２－１ 学校の出来事についての会話（中学校３年）



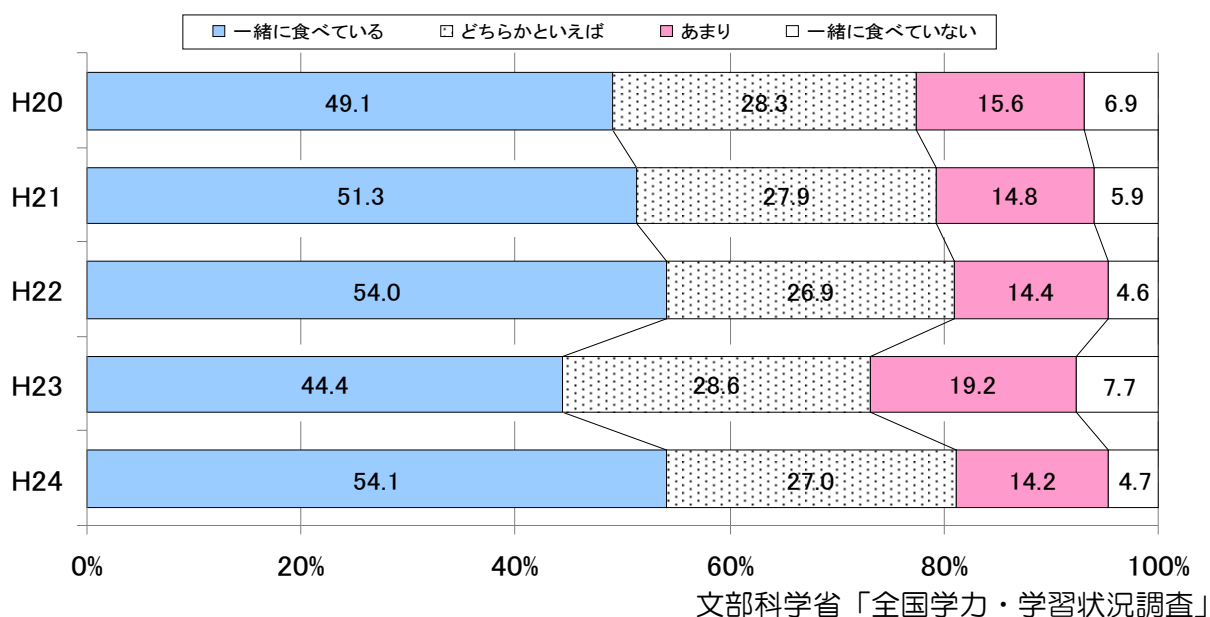
○学校の出来事について家庭で会話を「している」中学校３年の割合は、増加傾向にある。

Ⅳ－２－２ 普段（月～金曜日）の家の人との夕食（小学校６年）



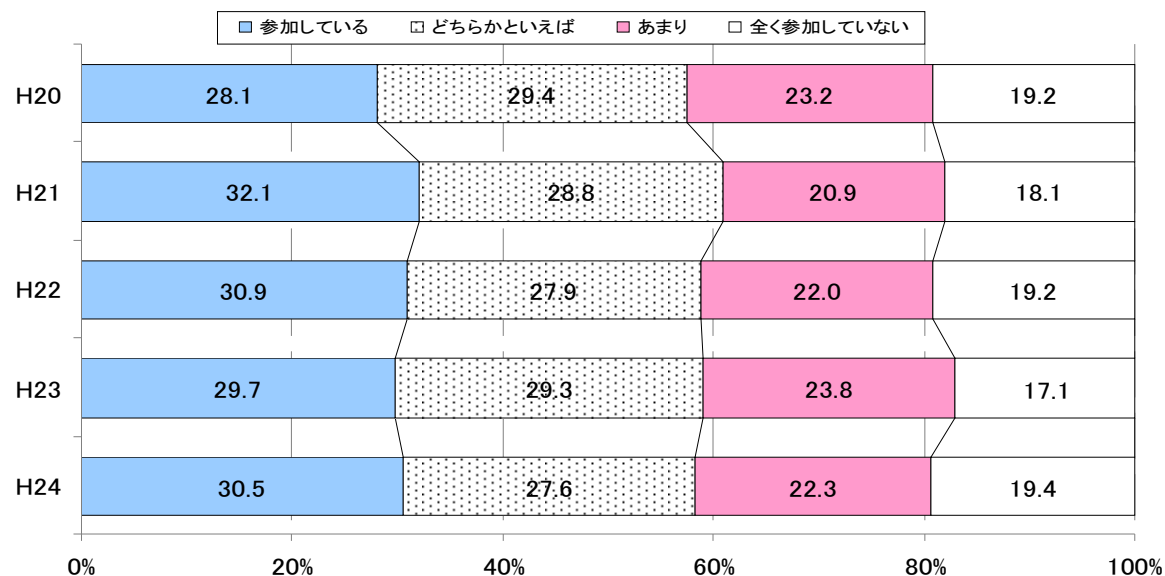
○「普段、家の人と一緒に夕食を食べている」小学校６年の割合は、やや増加傾向にある。

Ⅳ－２－２ 普段（月～金曜日）の家の人との夕食（中学校３年）



○「普段、家の人と一緒に夕食を食べている」中学校３年の割合は、増加傾向にある。

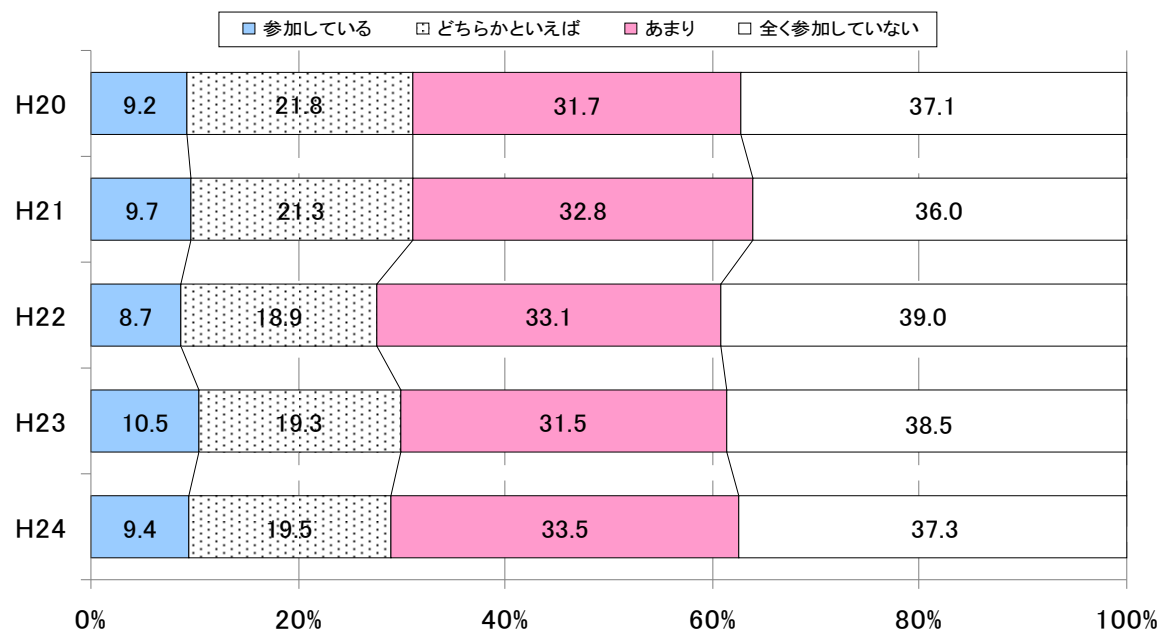
Ⅳ－２－３ 地域行事への参加（小学校６年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○約６０％の小学校６年生が、地域行事へ「参加している」「どちらかといえば参加している」と回答し、ここ数年大きな変化は見られない。

Ⅳ－２－３ 地域行事への参加（中学校３年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

○地域行事へ「参加している」「どちらかといえば参加している」と回答している中学校３年の割合は３０％前後で、参加していない割合の方が大きい。

福岡市教育データブック（平成２５年度版）

平成２５年７月

編集・発行 福岡市教育委員会総務部教育政策課

福岡市中央区天神１丁目８番１号

電話 092-733-5552

